

(2025 (令和7) 年7月～8月実施)

第52回

市民アンケート調査報告書

—— あなたと市政を結ぶ ——



浜松市

目 次

I 調査概要

1 調査目的	1
2 調査内容	1
3 調査の設計	1
4 回収結果	1
5 報告書内のデータの記述について	2
6 図表の数値の統計的な見方	2
7 回答者の属性	4

II 調査結果

1 F S C®森林認証について	7
2 子育て情報について	11
3 みどりについて	18
4 みちづくりについて	24
5 カーボンニュートラルについて	30
6 消費生活について	37
7 ユニバーサルデザイン・男女共同参画について	49
8 人権について	58
9 骨髄移植推進補助金制度について	64
10 「はままつ健幸クラブ」について	71
11 スポーツの推進について	75
12 多文化共生・国際交流連携について	81
13 デジタルを活用したまちづくりについて	87
14 市制記念日について	91
15 広報はままつについて	93
16 S D G s について	97

付録 調査票

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心・ニーズなどを把握するため実施し、1970（昭和 45）年度から始まり、本年度で 52 回目※になります。調査結果は、今後の市政運営に関わるさまざまな基礎資料として活用しています。

※1970（昭和 45）年度 1 回目、1973（昭和 48）年度 2 回目、1975（昭和 50）年度 3 回目、
1977（昭和 52）年度 4 回目（以降毎年実施）

2 調査内容

- (1) F S C®森林認証について
- (2) 子育て情報について
- (3) みどりについて
- (4) みちづくりについて
- (5) カーボンニュートラルについて
- (6) 消費生活について
- (7) ユニバーサルデザイン・男女共同参画について
- (8) 人権について
- (9) 骨髄移植推進補助金制度について
- (10) 「はままつ健幸クラブ」について
- (11) スポーツの推進について
- (12) 多文化共生・国際交流連携について
- (13) デジタルを活用したまちづくりについて
- (14) 市制記念日について
- (15) 広報はままつについて
- (16) S D G s について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 満 18 歳以上の市民 3,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送、郵送回答および Web 回答の併用
- (5) 調査期間 2025（令和 7）年 7 月 31 日～8 月 25 日
- (6) 委託機関 株式会社 東京商工リサーチ

4 回収結果

発送数 3,000 人
有効回収数 1,623 人（郵送 1,193 件 Web 430 件）
回答率 54.1%

5 報告書内のデータの記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「n」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューター処理の都合上、省略している箇所がある。
- (5) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

6 図表の数値の統計的な見方

«本報告書の調査対象者は市民 666,682 人»

本調査は、住民基本台帳による満18歳以上の浜松市在住の人口 669,682 人（＝母集団、2025（令和7）年6月1日現在）を対象としている。ただ、全員の意識や実態を調べる全数調査には莫大な費用や労力、時間がかかることから、実際に調査したのは無作為に抽出した 3,000 人である。無作為に標本を抽出する理由は、得られた標本が、調査対象者 666,682 人の性別、年齢別、居住区別などの属性でみた場合、どこかの属性に回答が偏らず、その「縮図」になるようにするためである。有効回答数は 1,623 人だった。

«報告書の調査結果に付随する標本誤差について»

この報告書の集計結果は、あくまで調査対象者の一部を調べた結果であることから、調査対象者である母集団 666,682 人全員の意識や実態の真の値に対してプラスマイナスの誤差（標本誤差）を含んでいる。標本調査は、母集団の真の値を知ることはできないが、標本調査の理論では、得られた標本の値が真の値に対してどれだけの範囲の誤差を伴っているかを明らかにすることができる。

標本誤差の計算式は、次のとおり。

標本誤差の計算式

$$\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{母集団数} - \text{回答者数}}{\text{母集団数} - 1} \times \frac{\text{回答割合}(\%) \times (1 - \text{回答割合}(\%))}{\text{回答者数}}}$$

※母集団数は、住民基本台帳による満18歳以上の浜松市の人口 666,682 人（2025（令和7）年6月1日現在）、回答者数は、図表中に「n」として記載

標本誤差の計算式では、回答者の数（回答者数）、調べたい設問に対する回答者の回答比率（回答割合）などによって誤差が変わることが分かる。【参考表】は、回答者数と回答割合の2つの要素を考慮した場合、調査結果に対する標本誤差が母集団の真の値に対してどの程度の誤差を持っているのかを示した表である。

≪標本誤差の範囲設定の信頼度について≫

また、標本誤差の計算式の冒頭にある「1.96」という値は、各集計結果に含まれる【参考表】で示した標本誤差の範囲設定の信頼度を95%にするための係数である。この係数によって、100回同じ調査を繰り返しても95回は母集団の真の値が、集計結果の±の誤差の範囲の中に存在することを意味している。信頼度を95%に設定することは、国や都道府県などの公的機関や大学など研究機関が行う各種社会調査で通常最もよく用いられている設定値である。

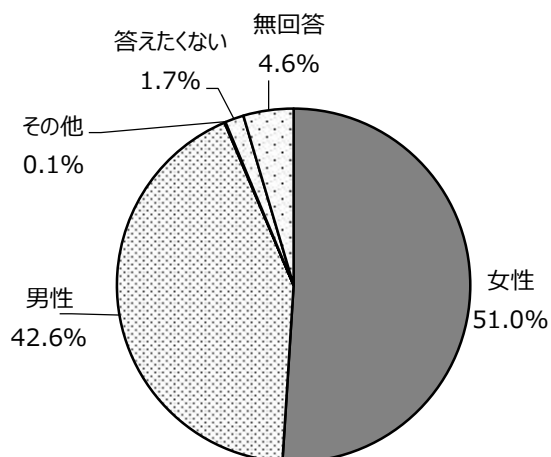
【参考表】各設問に対する回答数（標本 n）及び回答比率（%）に含まれる標本誤差の一覧（±値）

（見方）ある設問のある選択肢の回答数が300人で、その選択肢を選んだ人の割合が25%だった場合、表で網掛けをした標本数（n=300）と回答比率（%）25%が交わる点の標本誤差は「±4.9%」となる。これは浜松市の調査対象全体（母集団）の真の値が、この標本調査の回答比率25%±4.9%の範囲（20.1%～29.9%）の間に存在する確率（信頼度）が95%であることを意味している。

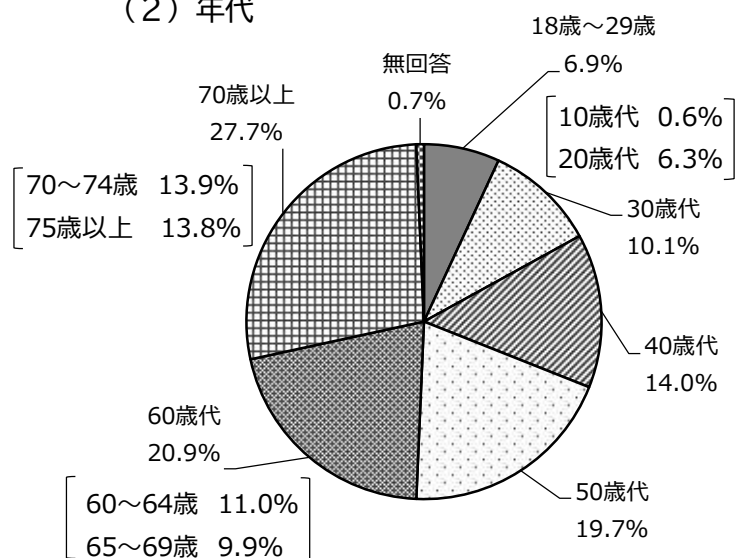
		標本数（n） ※各設問に対する回答数										
		100	200	300	400	500	700	800	1,000	1,500	1,700	2,000
※各設問に対する回答比率（p）	5%	4.3%	3.0%	2.5%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%	1.3%	1.1%	1.0%	1.0%
	10%	5.9%	4.2%	3.4%	2.9%	2.6%	2.2%	2.1%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%
	15%	7.0%	4.9%	4.0%	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%	2.2%	1.8%	1.7%	1.6%
	20%	7.8%	5.5%	4.5%	3.9%	3.5%	3.0%	2.8%	2.5%	2.0%	1.9%	1.8%
	25%	8.5%	6.0%	4.9%	4.2%	3.8%	3.2%	3.0%	2.7%	2.2%	2.1%	1.9%
	30%	9.0%	6.3%	5.2%	4.5%	4.0%	3.4%	3.2%	2.8%	2.3%	2.2%	2.0%
	35%	9.3%	6.6%	5.4%	4.7%	4.2%	3.5%	3.3%	3.0%	2.4%	2.3%	2.1%
	40%	9.6%	6.8%	5.5%	4.8%	4.3%	3.6%	3.4%	3.0%	2.5%	2.3%	2.1%
	45%	9.7%	6.9%	5.6%	4.9%	4.4%	3.7%	3.4%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%
	50%	9.8%	6.9%	5.7%	4.9%	4.4%	3.7%	3.5%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%
	55%	9.7%	6.9%	5.6%	4.9%	4.4%	3.7%	3.4%	3.1%	2.5%	2.4%	2.2%
	60%	9.6%	6.8%	5.5%	4.8%	4.3%	3.6%	3.4%	3.0%	2.5%	2.3%	2.1%
	65%	9.3%	6.6%	5.4%	4.7%	4.2%	3.5%	3.3%	3.0%	2.4%	2.3%	2.1%
	70%	9.0%	6.3%	5.2%	4.5%	4.0%	3.4%	3.2%	2.8%	2.3%	2.2%	2.0%
	75%	8.5%	6.0%	4.9%	4.2%	3.8%	3.2%	3.0%	2.7%	2.2%	2.1%	1.9%
	80%	7.8%	5.5%	4.5%	3.9%	3.5%	3.0%	2.8%	2.5%	2.0%	1.9%	1.8%
	85%	7.0%	4.9%	4.0%	3.5%	3.1%	2.6%	2.5%	2.2%	1.8%	1.7%	1.6%
	90%	5.9%	4.2%	3.4%	2.9%	2.6%	2.2%	2.1%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%
	95%	4.3%	3.0%	2.5%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%	1.3%	1.1%	1.0%	1.0%

7 回答者の属性

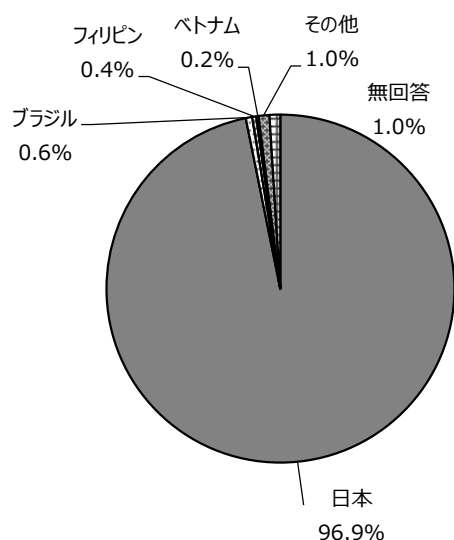
(1) 性別



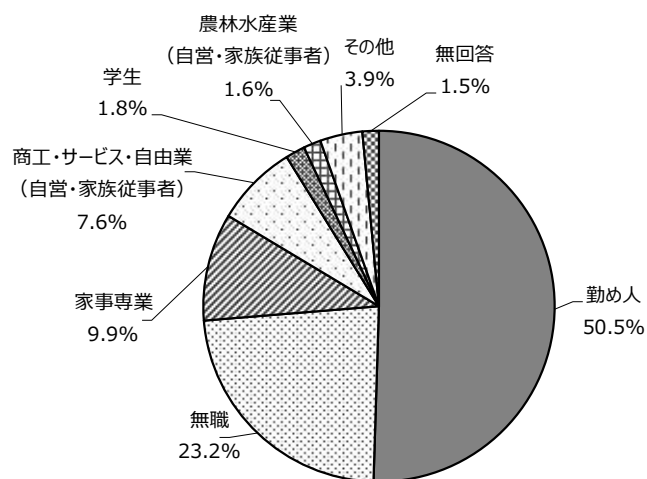
(2) 年代



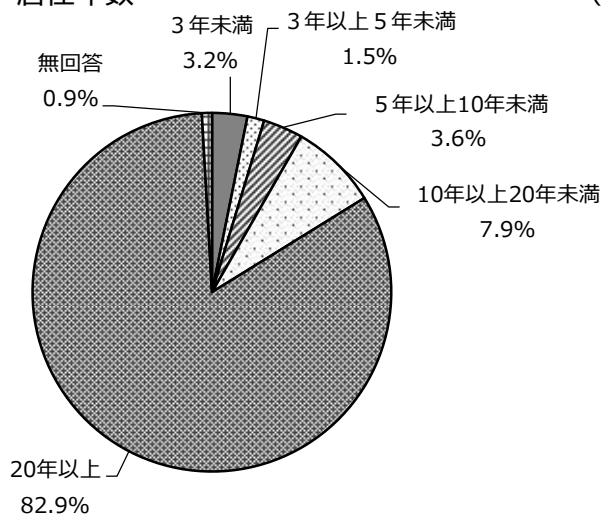
(3) 国籍・地域



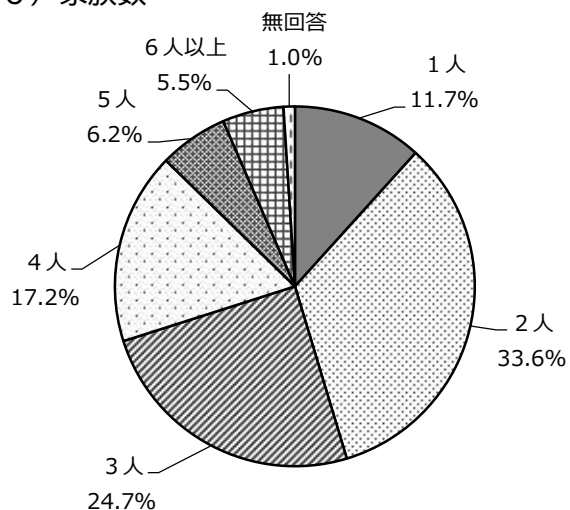
(4) 職業



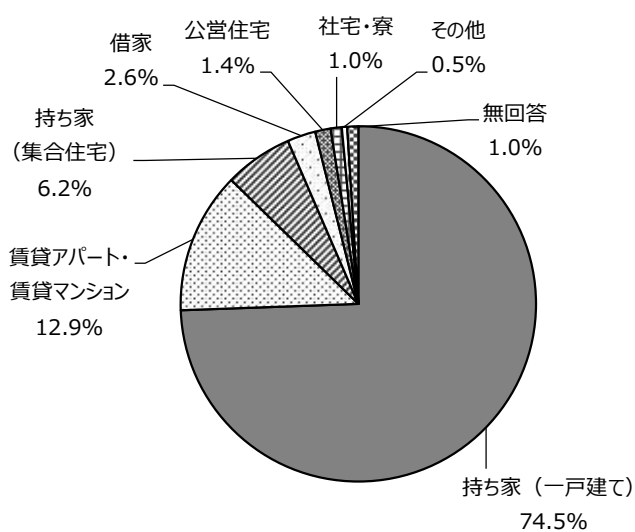
(5) 居住年数



(6) 家族数

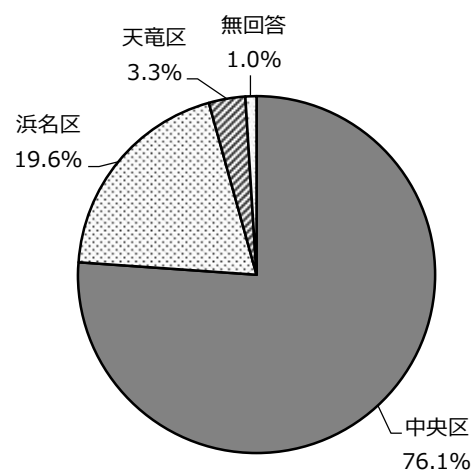


(7) 居住形態



(8) 行政区

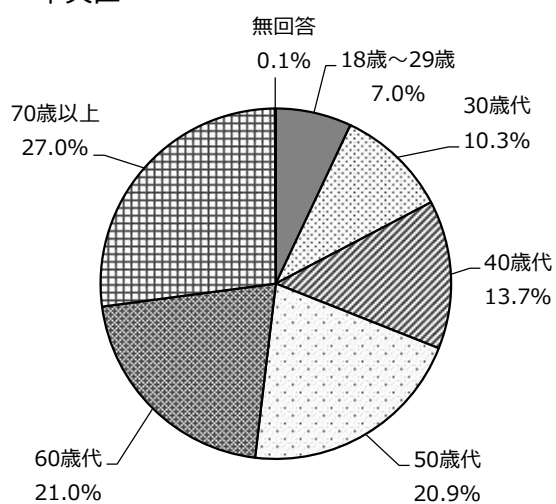
n=1,623



(9) 行政区別年代

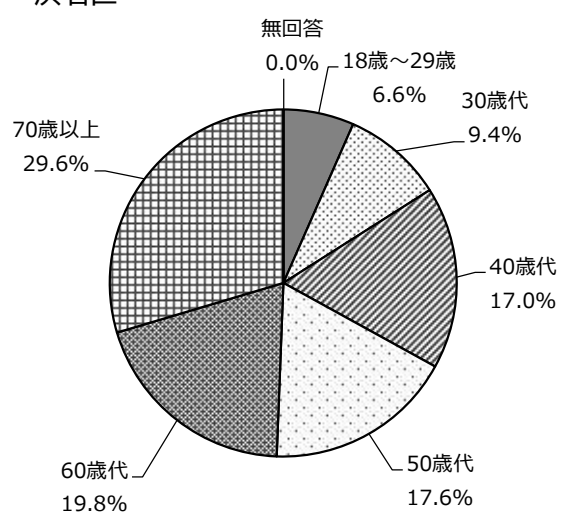
中央区

n=1,235



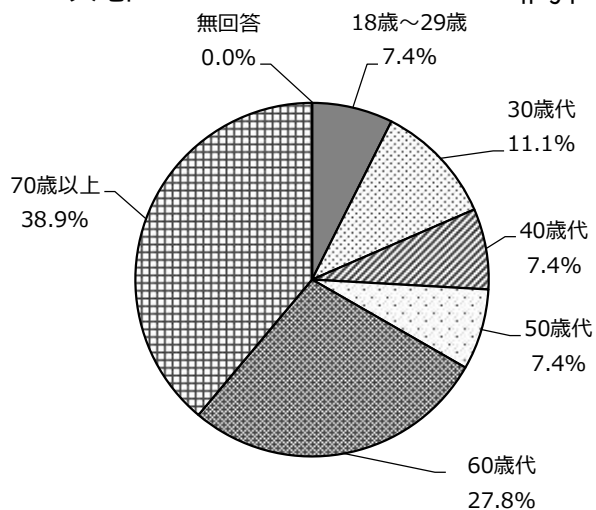
浜名区

n=318



天竜区

n=54



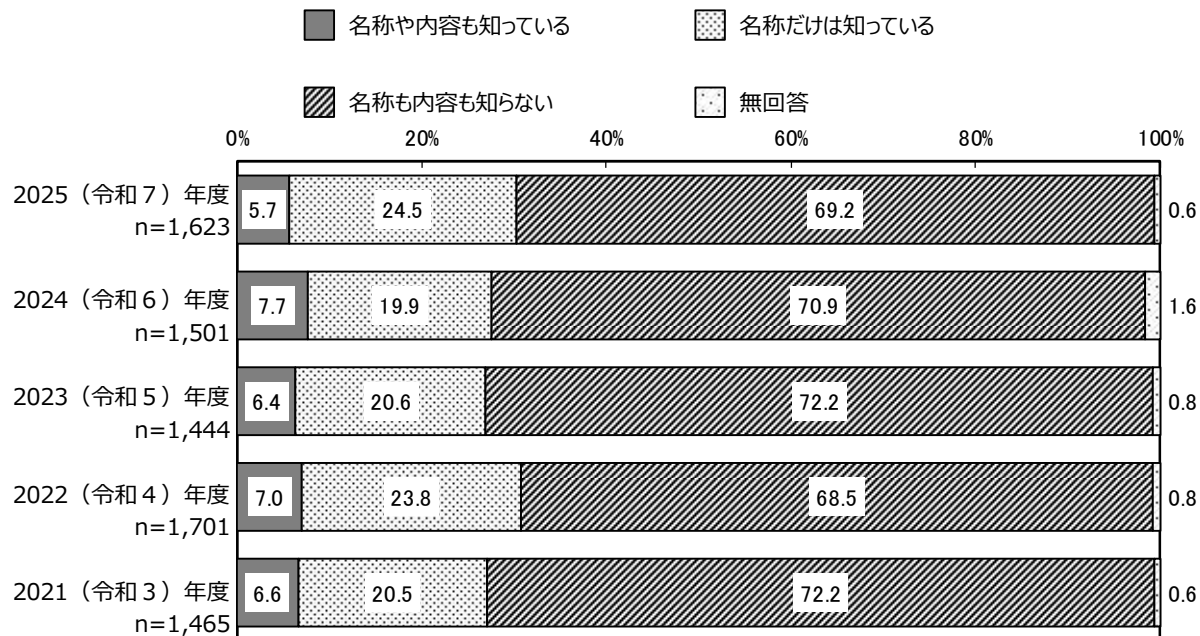
Ⅱ 調査結果

1 FSC®森林認証について

問1 あなたは「FSC®森林認証※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

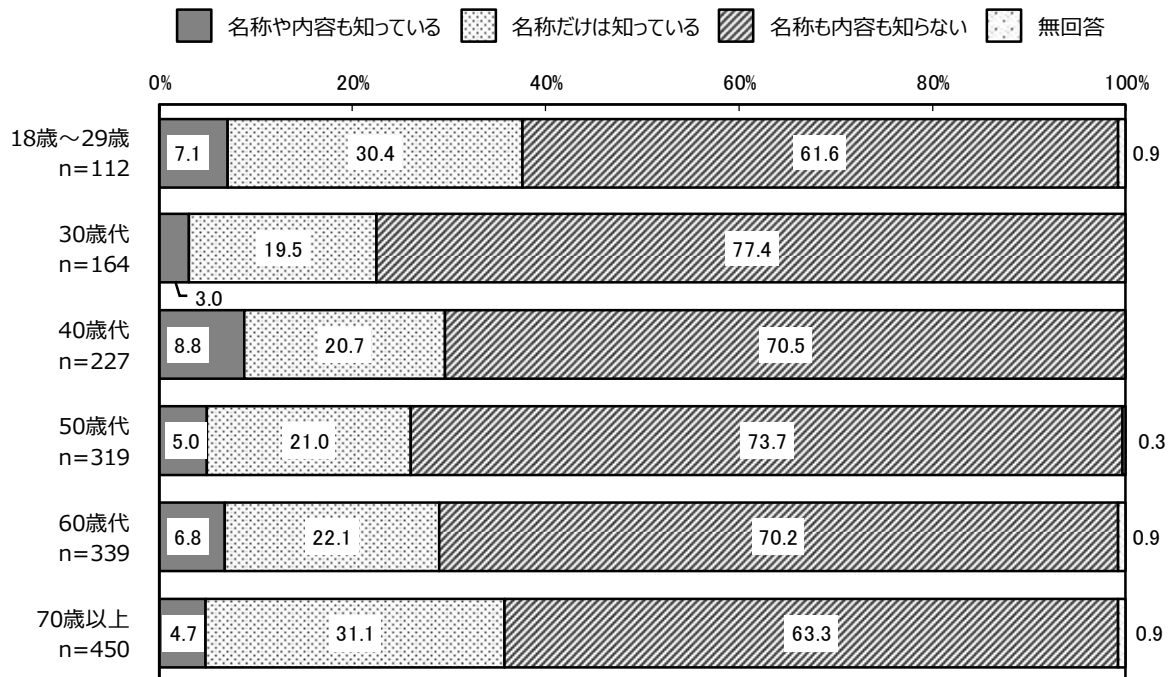
※「FSC®森林認証」とは森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。

「FSC®森林認証」を『知っている』人は30.2%

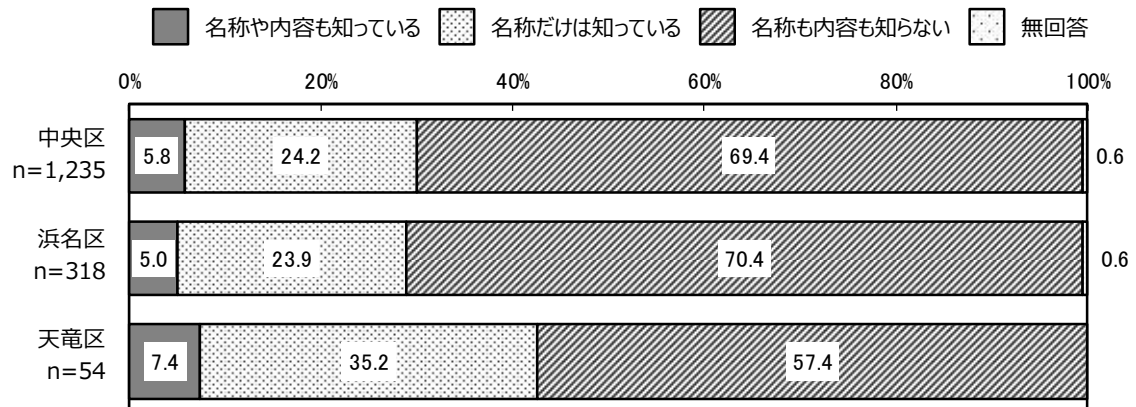


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は30.2%となり、「名称も内容も知らない」の69.2%を39.0ポイント下回った。2024（令和6）年度との比較では、『知っている』は2.6ポイント増加となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、18歳～29歳が37.5%と最も高く、次いで70歳以上が35.8%となった。最も低い30歳代が22.5%となり、最も高い18歳～29歳とは、15.0ポイントの差がみられた。
- 行政区別でみると、天竜区が42.6%と最も高い。次いで中央区が30.0%、浜名区が28.9%となった。

【年代別】

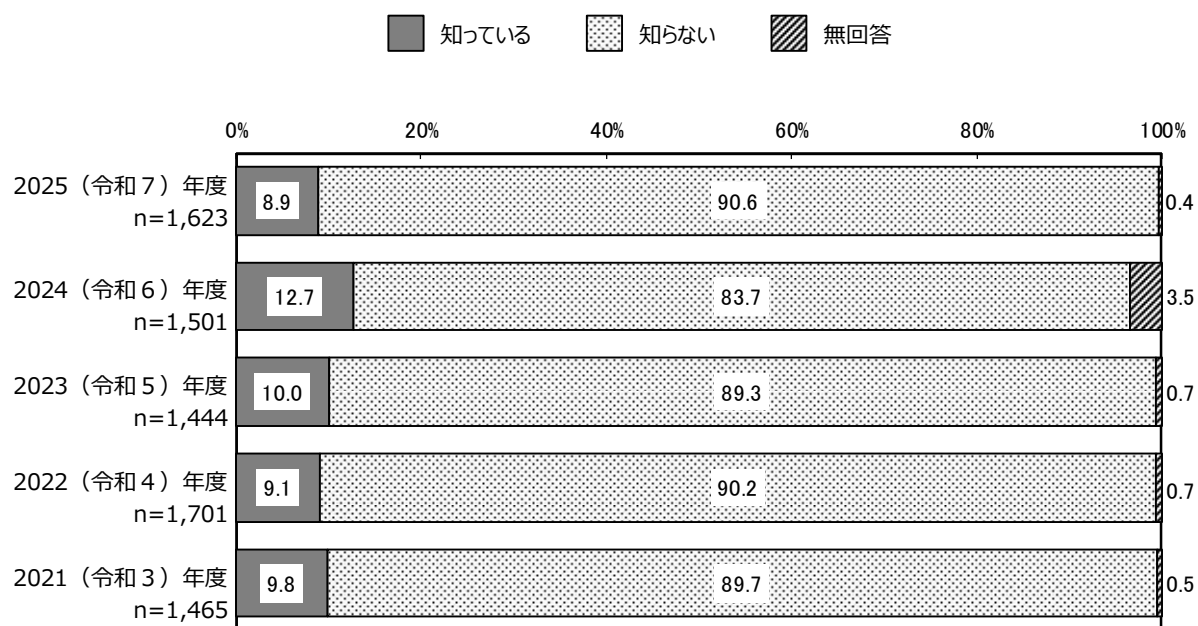


【行政区別】



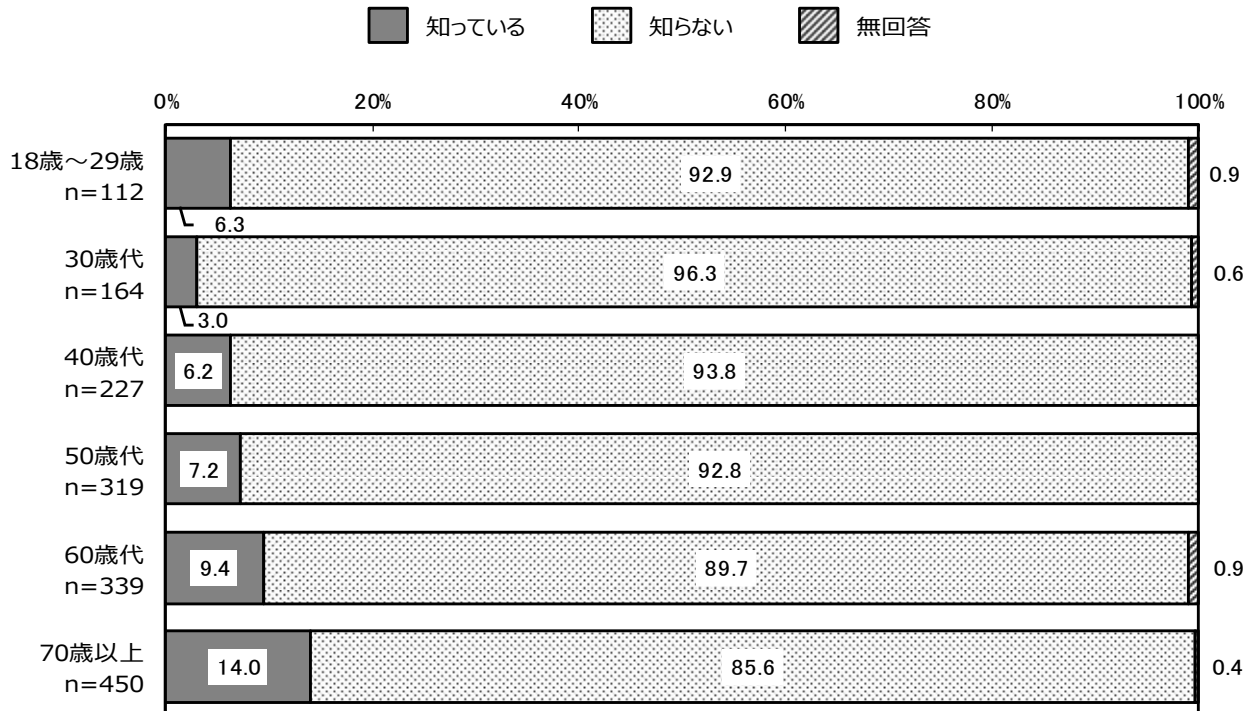
問2 あなたは、浜松市が「F S C®森林認証」の森林を市町村別で最も広い面積
(約 49,859ha※)を有していることをご存じですか。(1つだけ○を付けてください)
※2025(令和7)年4月1日現在

浜松市に市町村別で最も広い面積の「F S C®森林認証」の森林があることを「知っている」人は8.9%

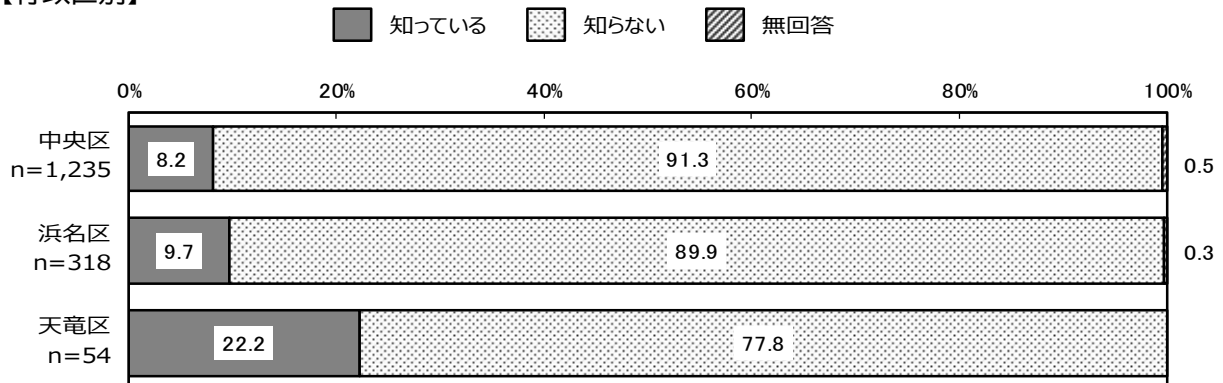


- 「知っている」が8.9%となり、「知らない」の90.6%を81.7ポイント下回った。2024(令和6)年度との比較では、「知っている」は3.8ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「知っている」の割合は、70歳以上が14.0%と最も高く、次いで60歳代が9.4%となった。最も低い30歳代が3.0%となり、最も高い70歳以上とは、11.0ポイントの差がみられた。
- 行政区別でみると、天竜区が22.2%と最も高い。次いで浜名区が9.7%、中央区が8.2%となった。

【年代別】

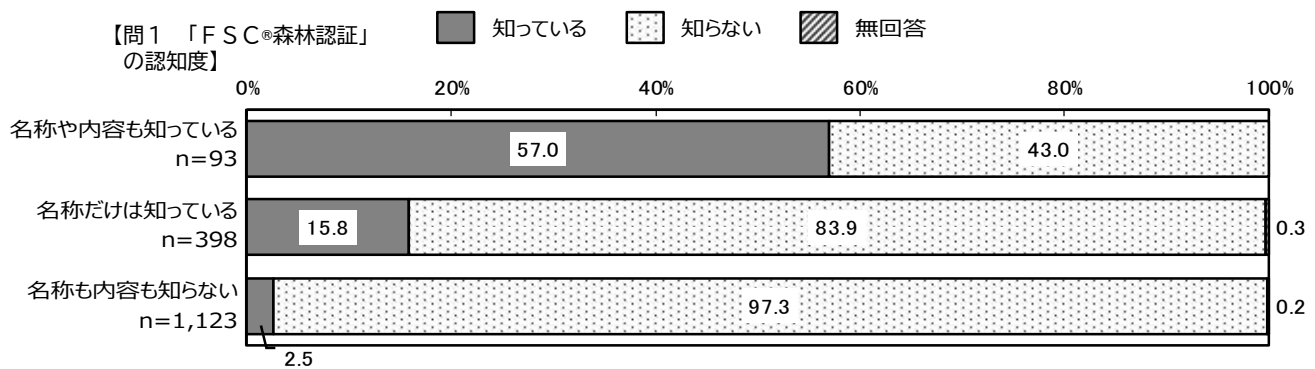


【行政区別】



【問1と問2の設問間クロス集計】

【問2 浜松市に市町村別で最大面積の「FSC®森林認証」の森林があることの認知度】



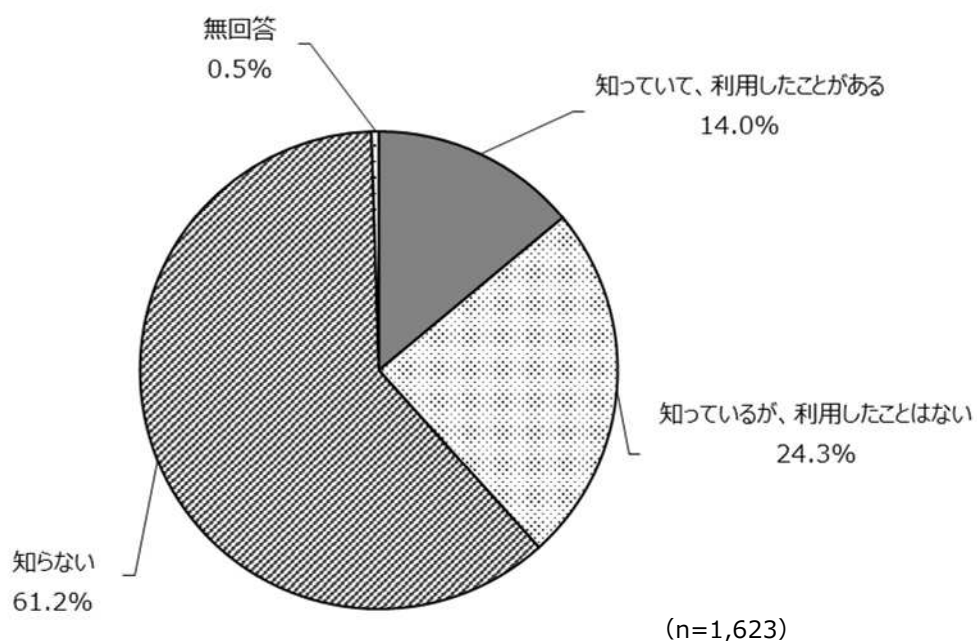
2 子育て情報について

問3 あなたは「浜松市子育て情報サイトぴっぴ※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

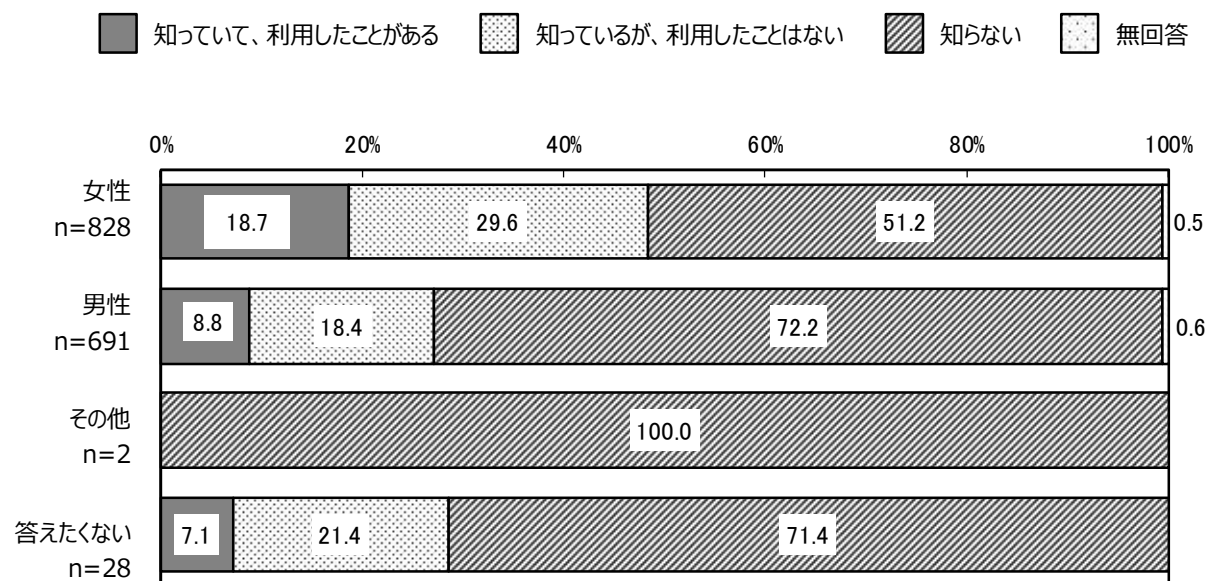
※「浜松市子育て情報サイトぴっぴ」とは、行政情報と民間情報をミックスし、子育て情報をまとめて得ることができる官民融合 Web サイトです。

「浜松市子育て情報サイトぴっぴ」を『知っている』人は 38.3%

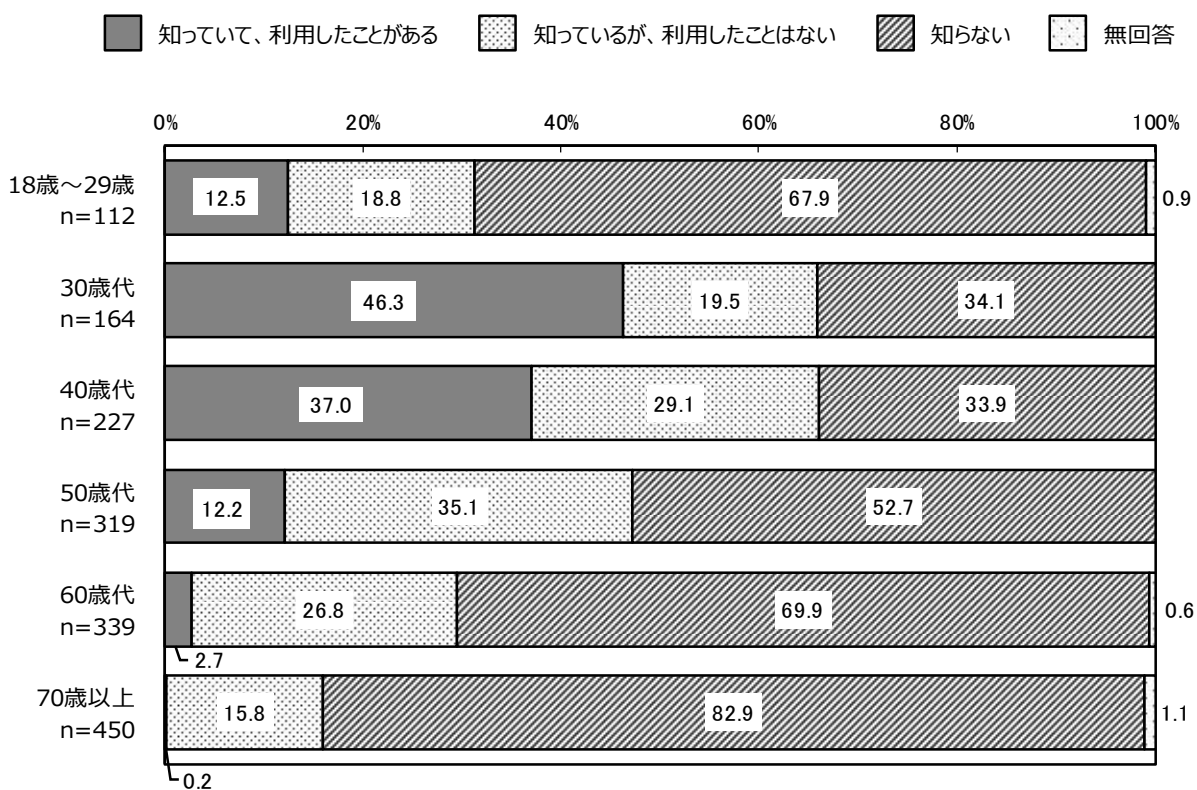


- 「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は 38.3%となり、「知らない」の 61.2%を 22.9 ポイント下回った。
- 性別でみると、『知っている』の割合は、女性が 48.3%となり、男性の『知っている』27.2%を 21.1 ポイント上回った。
- 年齢別でみると、40 歳代が 66.1%と最も高く、次いで 30 歳代が 65.8%となった。

【性別】



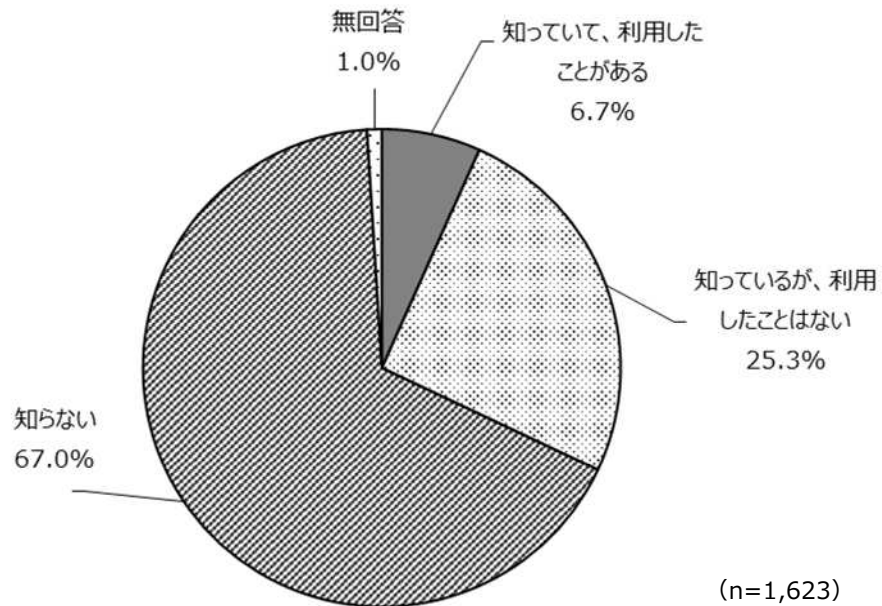
【年代別】



問4 あなたは「はままつ子育てガイド※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

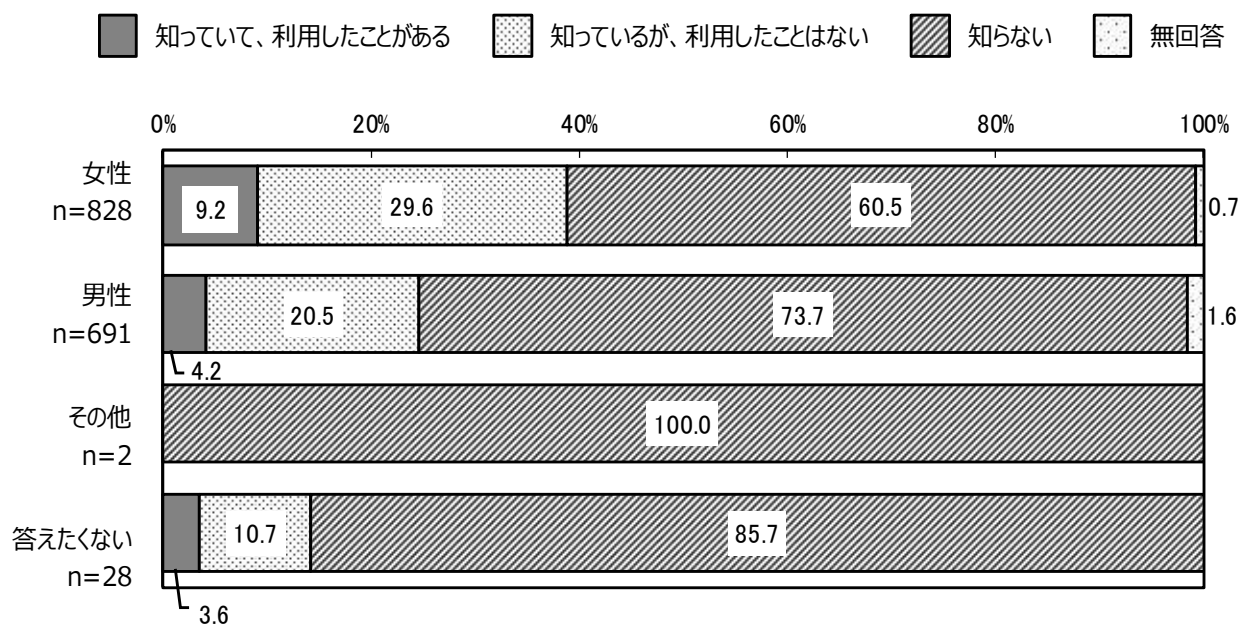
※「はままつ子育てガイド」とは、浜松の子育て関連情報を紹介する冊子です。

「はままつ子育てガイド」を『知っている』人は32.0%

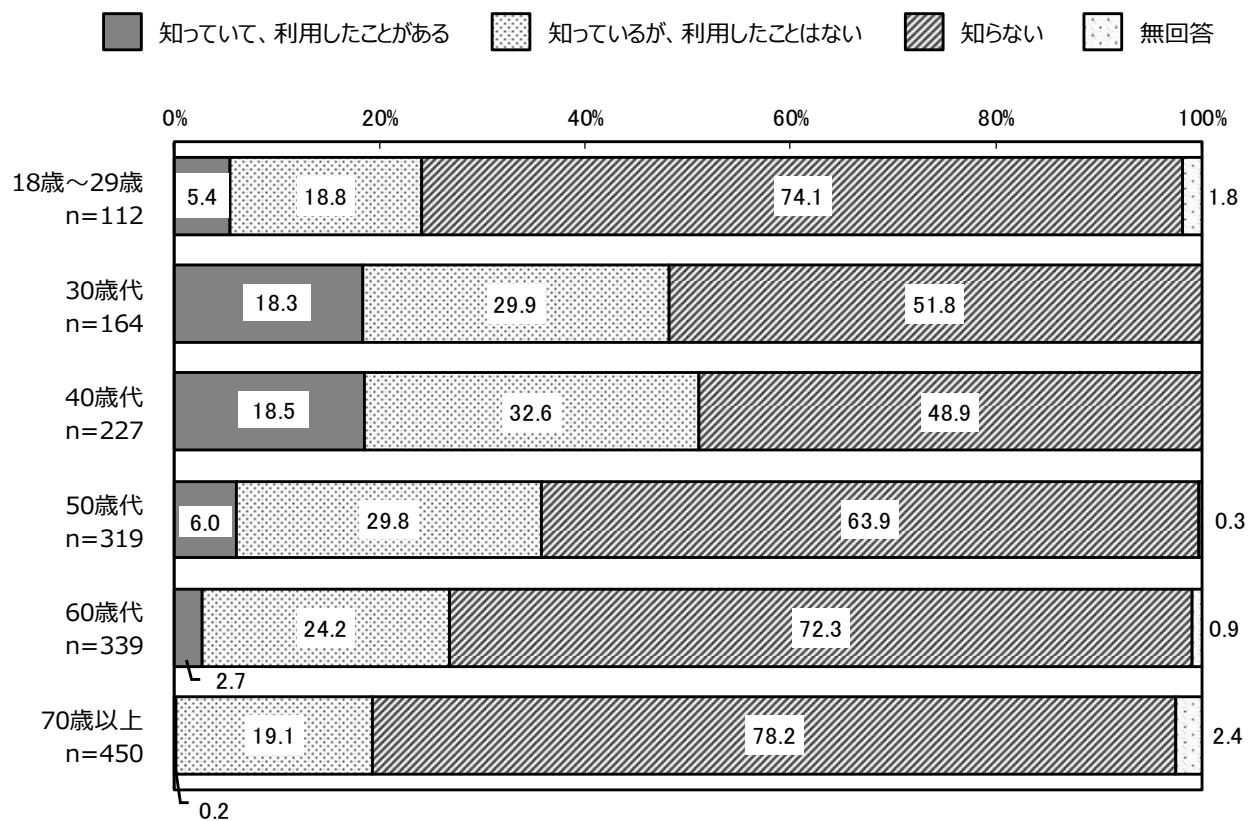


- 「知っている、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は32.0%となり、「知らない」の67.0%を35.0ポイント下回った。
- 性別でみると、『知っている』の割合は、女性が38.8%となり、男性の『知っている』24.7%を14.1ポイント上回った。
- 年代別でみると、『知っている』と回答した割合は40歳代の51.1%が最も高く、次いで30歳代が48.2%となった。

【性別】

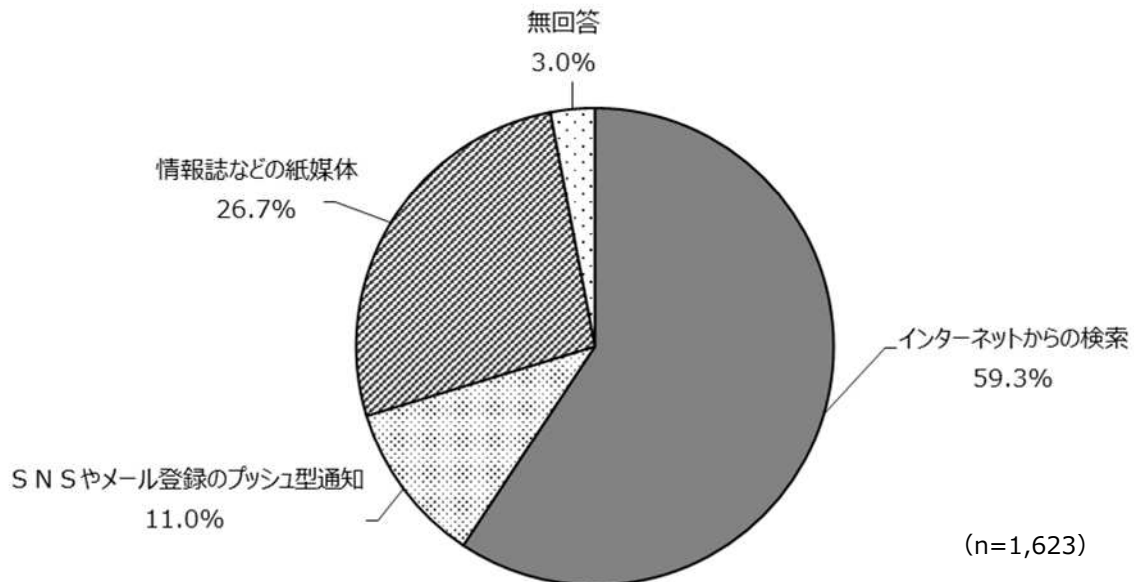


【年代別】



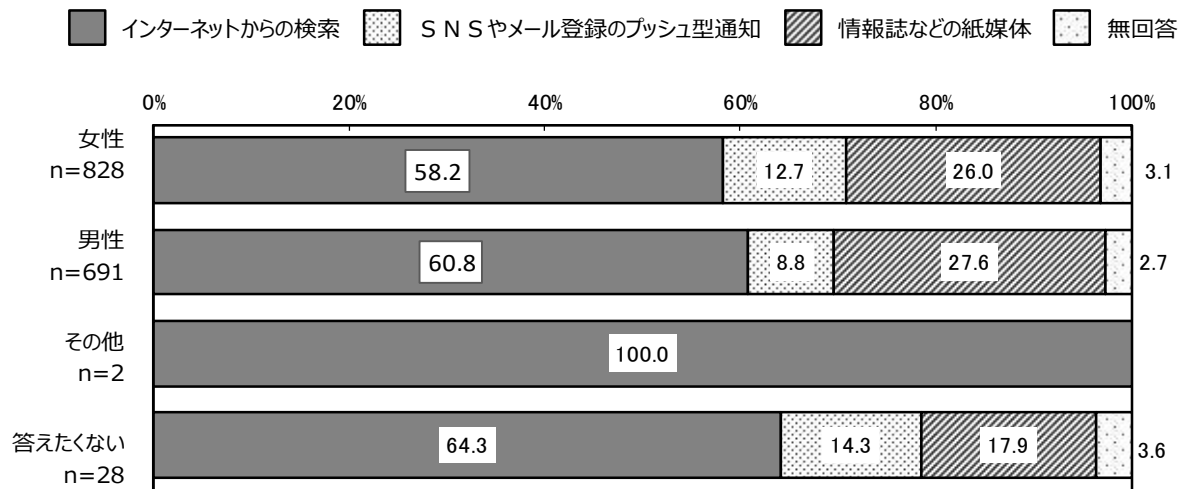
問5 あなたは、子育てに関する情報を入手しようとする場合、どのような方法が最も有効だと思いますか。（1つだけ○を付けてください）

最も有効だと思うのは「インターネットからの検索」が 59.3%

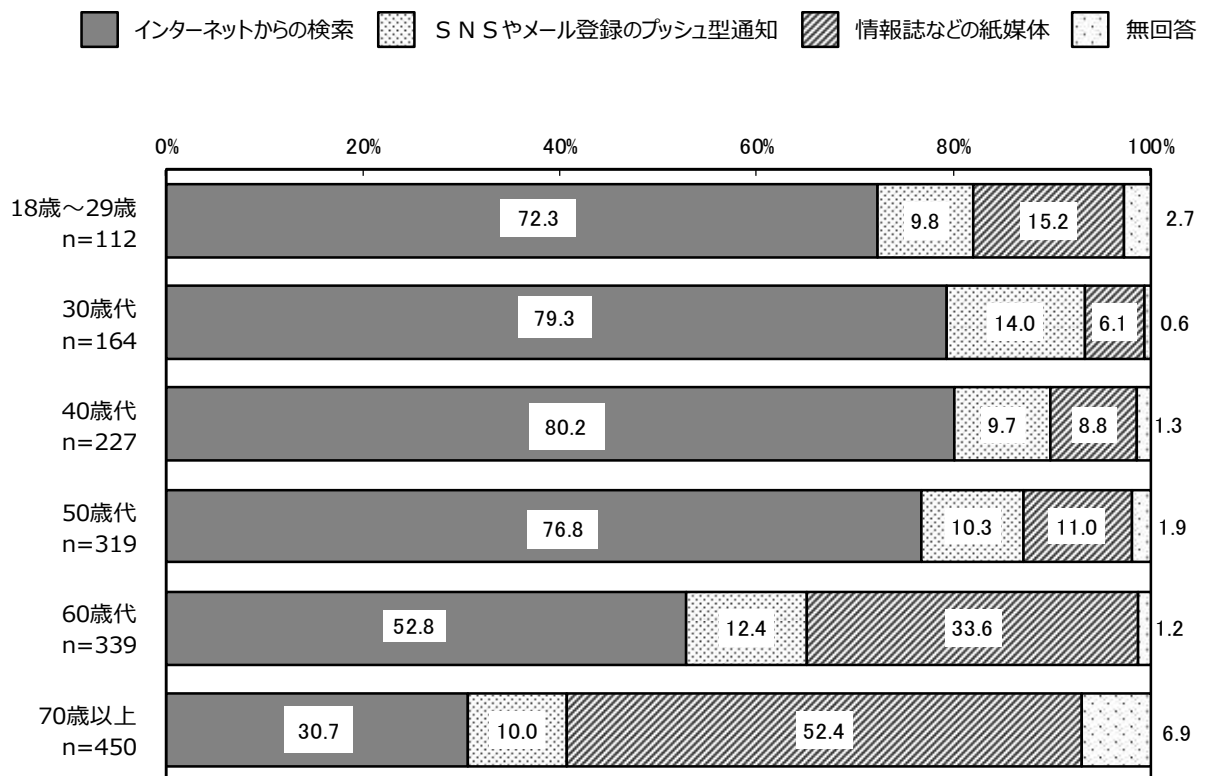


- 「インターネットからの検索」が 59.3%と最も高く、次いで「情報誌などの紙媒体」が 26.7%、「SNSやメール登録のプッシュ型通知」が 11.0%となった。
- 性別でみると、女性も男性も「インターネットからの検索」が最も高く、次いで「情報誌などの紙媒体」となった。「SNSやメール登録のプッシュ型通知」は女性が 12.7%と男性の 8.8%を 3.9 ポイント上回った。
- 年代別でみると、18 歳～29 歳から 60 歳代まで「インターネットからの検索」が最も高く、70 歳以上は「情報誌などの紙媒体」が最も高い。「インターネットからの検索」は 40 歳代が 80.2%と最も高く、次いで 30 歳代が 79.3%となった。最も低い 70 歳以上は 30.7%となり、最も高い 40 歳代とは 49.5 ポイントの差がみられた。

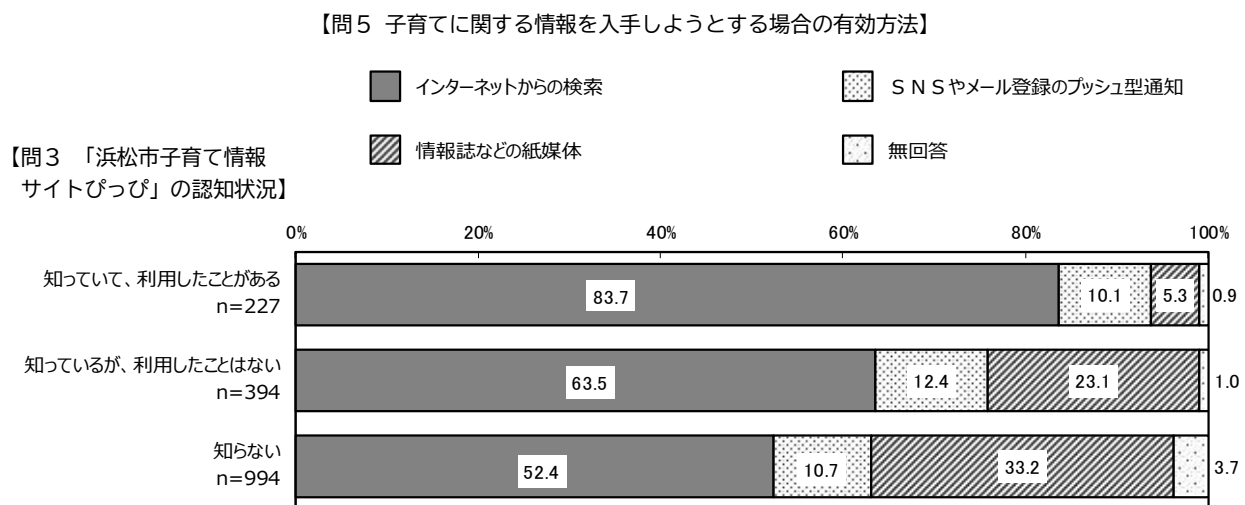
【性別】



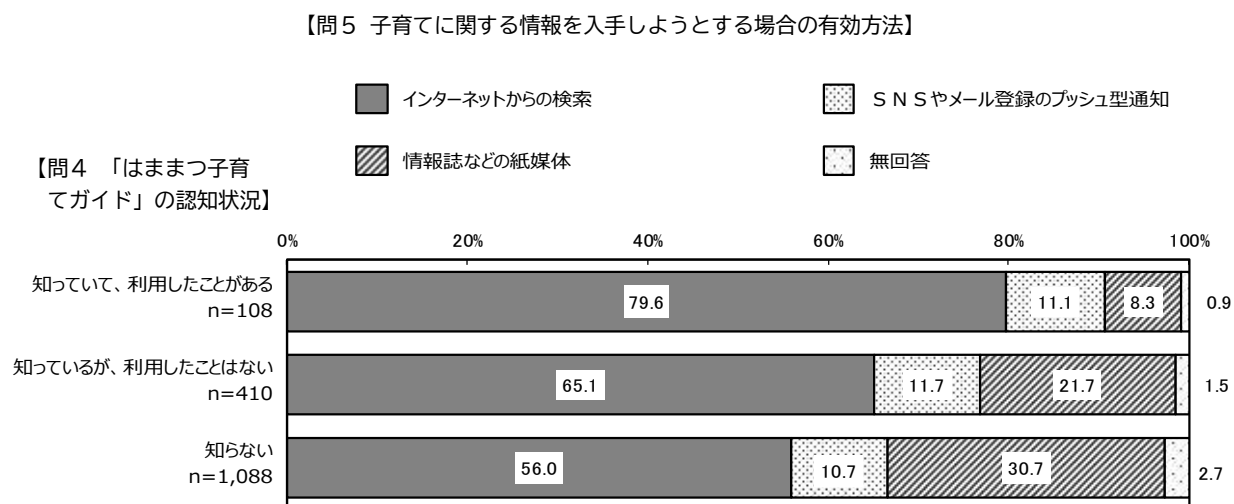
【年代別】



【問3と問5の設問間クロス集計】



【問4と問5の設問間クロス集計】



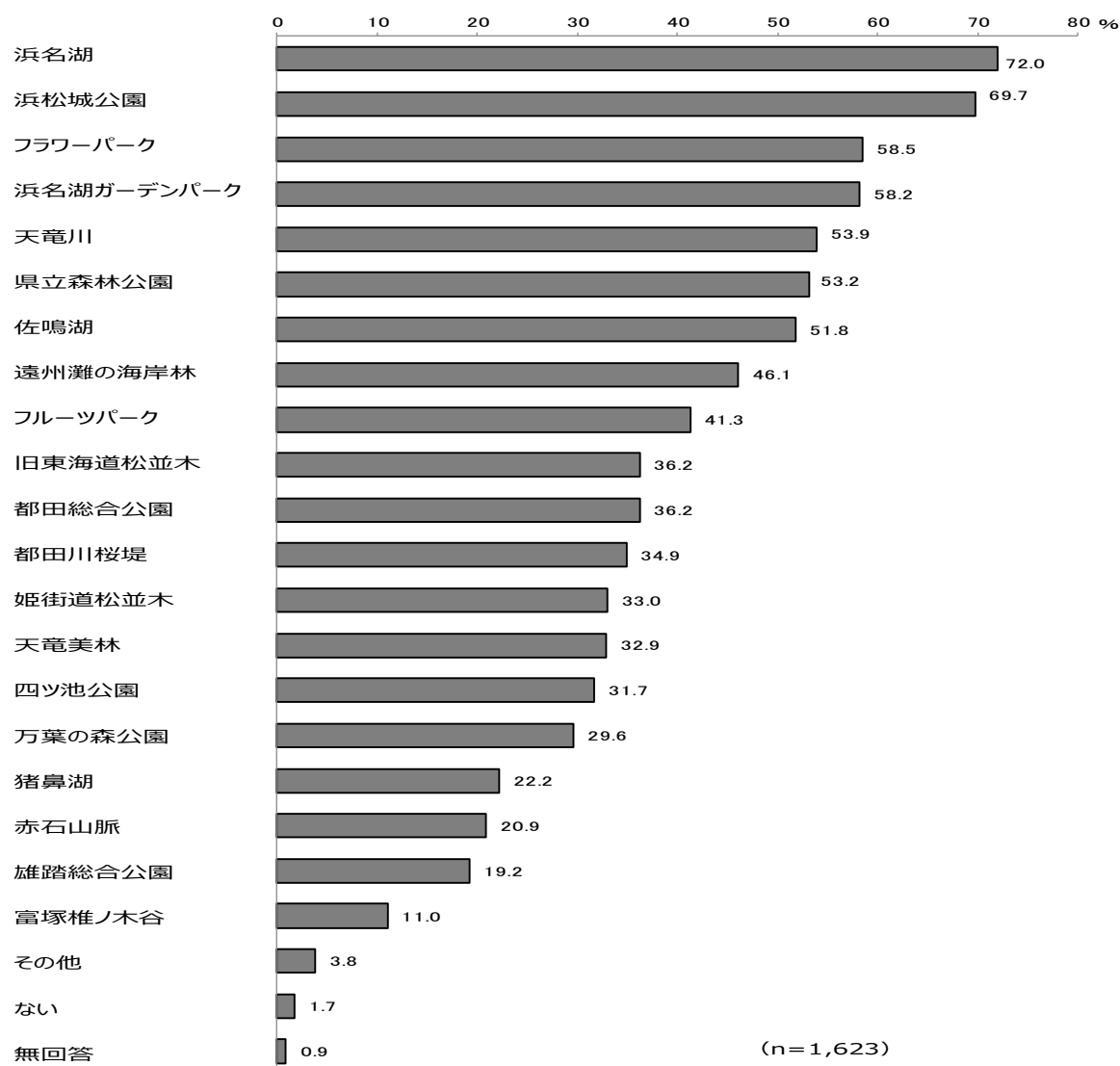
3 みどりについて

問6 あなたは、次世代に残したいと思うみどり※がありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

※湖や川などの自然や、公園なども含みます。

次世代に残したいと思うみどりは「浜名湖」が 72.0%



- 「浜名湖」と回答した人が 72.0%と最も高く、次いで「浜松城公園」が 69.7%、「フラワーパーク」が 58.5%、「浜名湖ガーデンパーク」が 58.2%となった。
- 年代別でみると、「浜名湖」と回答した人の割合は、30 歳代が 78.7%と最も高く、次いで 50 歳代が 74.0%となった。最も低い 70 歳以上が 68.4%となり、最も高い 30 歳代とは、10.3 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「浜名湖」と回答した人の割合は、家事専業が 83.9%と最も高く、次いで勤め人が 73.7%と続いた。最も低い農林水産業が 57.7%となり、最も高い家事専業とは、26.2 ポイントの差がみられた。

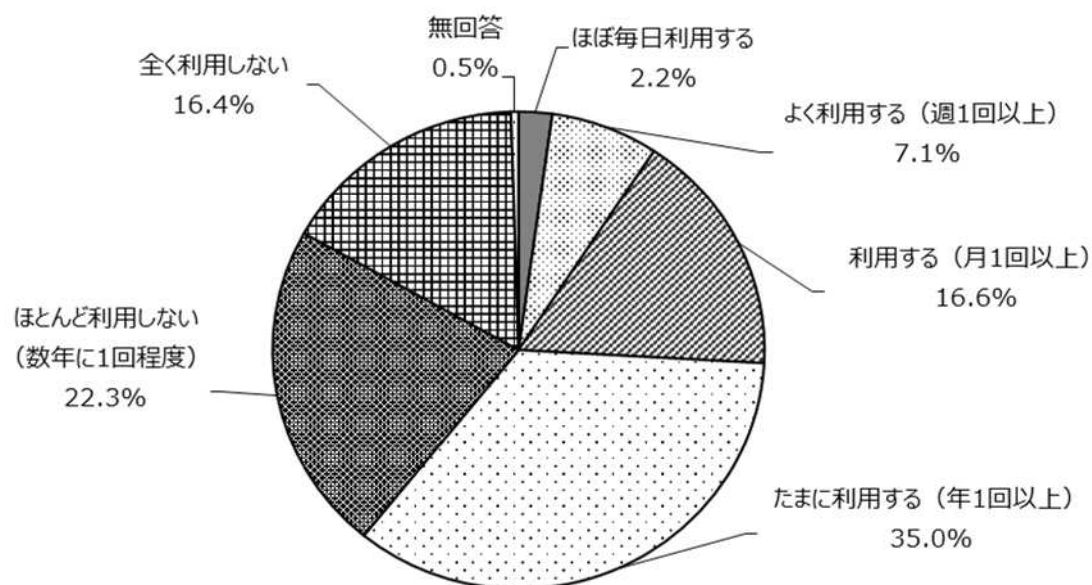
【年代別・職業別】

(単位：%)

		浜名湖	浜松城公園	フラワーパーク	浜名湖ガーデンパーク	天竜川	県立森林公園	佐鳴湖	遠州灘の海岸林	フルーツパーク	旧東海道松並木	都田総合公園	都田川桜堤	姫街道松並木	天竜美林	四ツ池公園	万葉の森公園	猪鼻湖	赤石山脈	雄踏総合公園	富塚椎ノ木谷	その他	ない	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	69.6	61.6	61.6	63.4	49.1	31.3	36.6	27.7	48.2	10.7	29.5	17.9	17.9	16.1	31.3	14.3	8.9	15.2	12.5	5.4	4.5	4.5	0.9
	30歳代 n=164	78.7	72.6	67.1	65.2	62.2	47.6	57.3	43.3	56.7	25.0	51.8	26.8	26.2	28.0	31.1	25.6	19.5	15.9	25.0	9.8	1.2	2.4	0.0
	40歳代 n=227	70.9	69.2	53.3	52.0	57.3	48.5	51.5	46.7	41.0	33.5	41.9	30.8	29.5	30.8	35.7	25.6	22.9	17.2	22.9	12.3	4.4	1.3	0.0
	50歳代 n=319	74.0	72.1	55.5	56.4	58.6	54.5	57.7	50.2	38.6	39.2	40.4	37.0	34.8	36.7	33.2	29.5	25.7	21.6	22.9	15.0	3.1	1.9	0.3
	60歳代 n=339	73.2	70.5	58.4	57.2	51.6	55.2	52.8	47.5	38.9	39.5	31.9	36.3	33.0	33.3	29.2	31.3	24.5	23.6	17.7	10.3	4.7	1.2	1.5
	70歳以上 n=450	68.4	68.4	59.6	59.3	48.2	60.2	49.1	48.0	38.0	43.3	29.3	41.3	40.0	36.9	30.4	35.6	22.0	23.3	15.6	9.6	3.6	1.1	1.8
職業	勤め人 n=819	73.7	69.6	56.4	57.4	55.4	50.4	53.4	44.9	42.1	33.9	40.2	30.6	29.8	31.6	31.4	25.5	23.7	20.8	20.5	12.1	3.9	1.8	0.2
	商工・サービス・自由業 n=124	69.4	67.7	57.3	48.4	48.4	58.1	49.2	43.5	29.8	35.5	32.3	37.9	33.9	33.9	35.5	30.6	23.4	24.2	20.2	12.1	4.8	1.6	1.6
	農林水産業 n=26	57.7	57.7	57.7	61.5	46.2	46.2	42.3	50.0	53.8	46.2	46.2	50.0	30.8	30.8	30.8	26.9	23.1	19.2	34.6	23.1	0.0	3.8	0.0
	家事専業 n=161	83.9	79.5	70.2	71.4	58.4	64.6	58.4	51.6	50.3	42.2	41.6	50.9	44.1	39.1	34.2	44.1	22.4	18.0	21.7	12.4	3.1	0.6	0.6
	学生 n=30	73.3	70.0	73.3	63.3	60.0	40.0	36.7	30.0	53.3	16.7	26.7	16.7	26.7	20.0	43.3	13.3	6.7	23.3	13.3	6.7	3.3	3.3	3.3
	無職 n=376	66.5	66.8	57.4	56.4	50.8	52.9	48.7	49.2	37.2	39.9	28.5	36.2	35.6	33.5	29.0	33.2	20.2	22.1	14.6	8.2	3.2	1.6	2.1
	その他 n=63	63.5	73.0	60.3	57.1	49.2	58.7	50.8	47.6	41.3	33.3	27.0	38.1	33.3	36.5	31.7	30.2	17.5	15.9	19.0	4.8	4.8	1.6	0.0

問7 あなたは、市内の公園を利用しますか。（1つだけ○を付けてください）

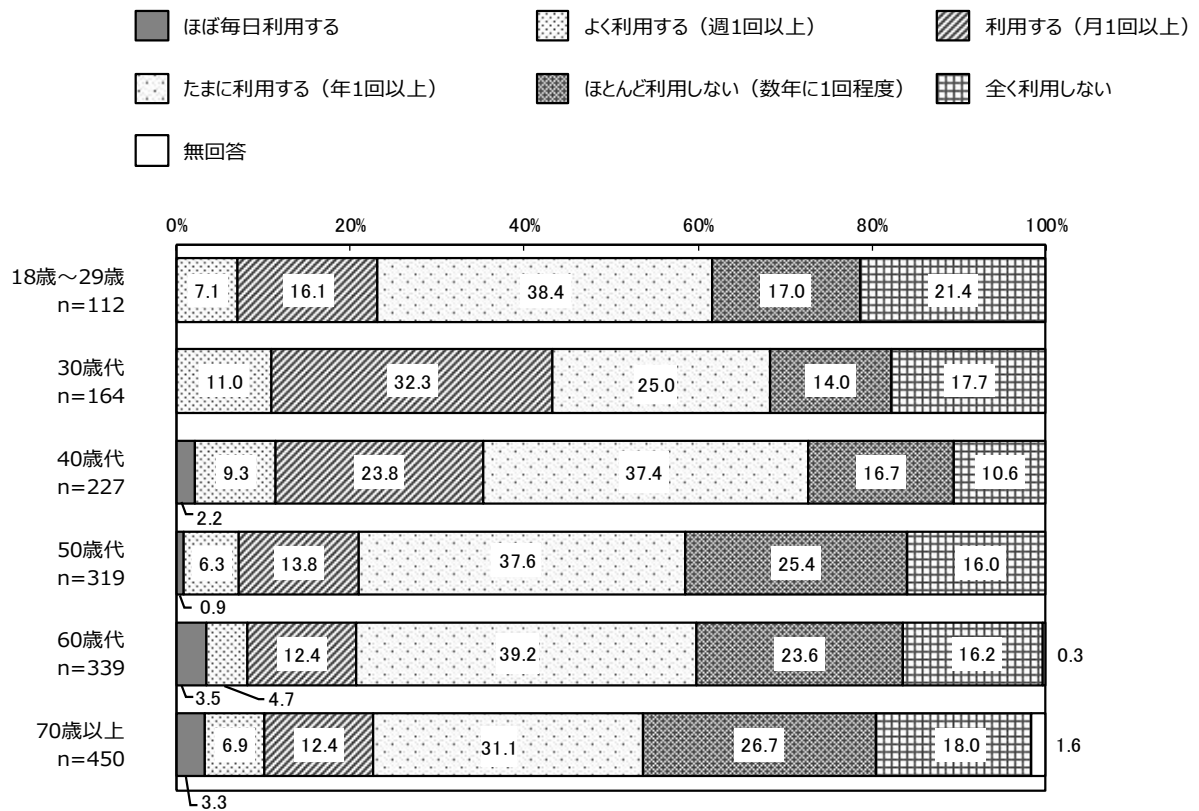
市内の公園について『利用する』が 60.9%



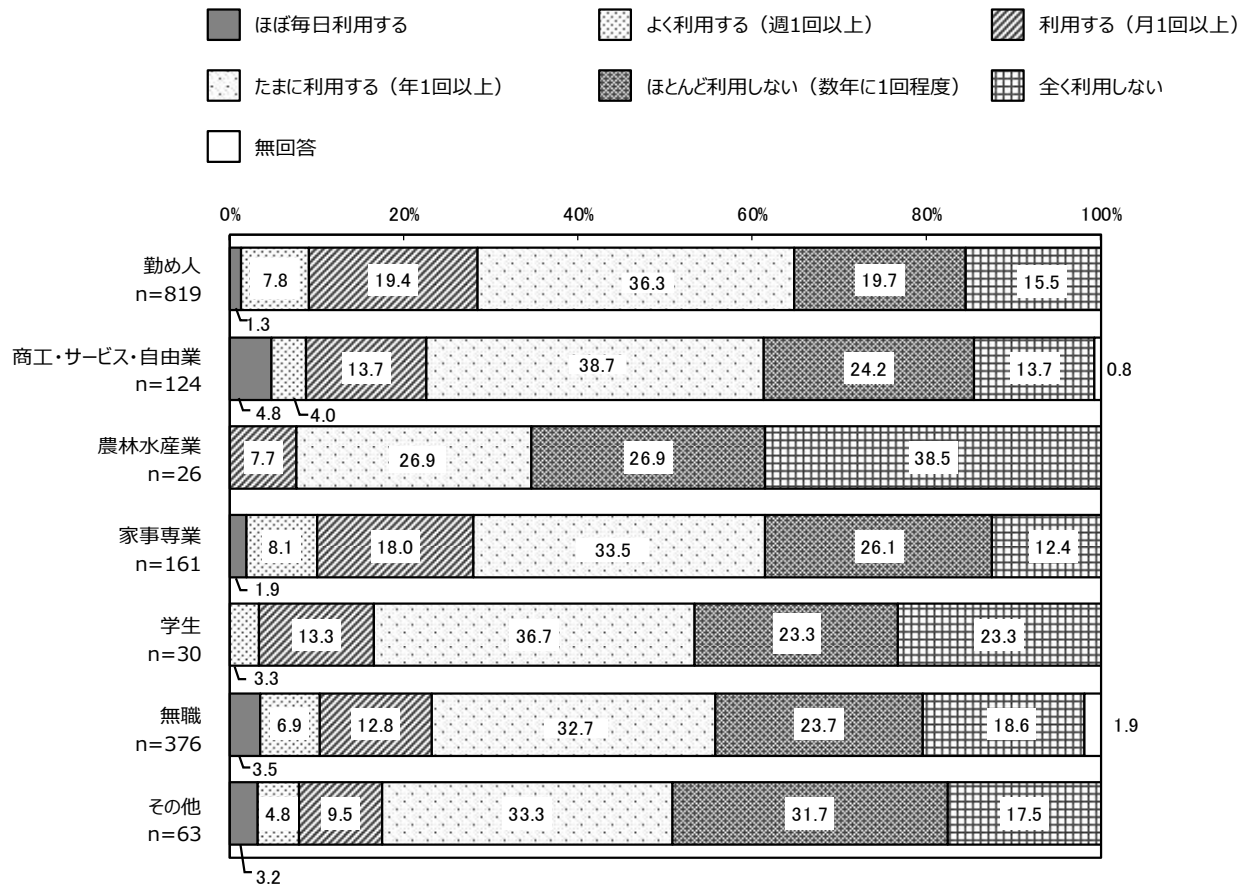
(n=1,623)

- 「ほぼ毎日利用する」と「よく利用する（週1回以上）」、「利用する（月1回以上）」、「たまに利用する（年1回以上）」を合わせた『利用する』が 60.9%となり、「ほとんど利用しない（数年に1回程度）」と「全く利用しない」を合わせた『利用しない』の 38.7%を 22.2 ポイント上回った。
- 年代別でみると、『利用する』と回答した割合は 40 歳代が 72.7%と最も高く、次いで 30 歳代が 68.3%となった。『利用しない』と回答した割合は 70 歳以上が 44.7%と最も高かった。
- 職業別でみると、『利用する』と回答した割合は勤め人の 64.8%が最も高く、次いで家事専業が 61.5%となった。最も低い農林水産業が 34.6%となり、最も高い勤め人とは、30.2 ポイントの差がみられた。

【年代別】

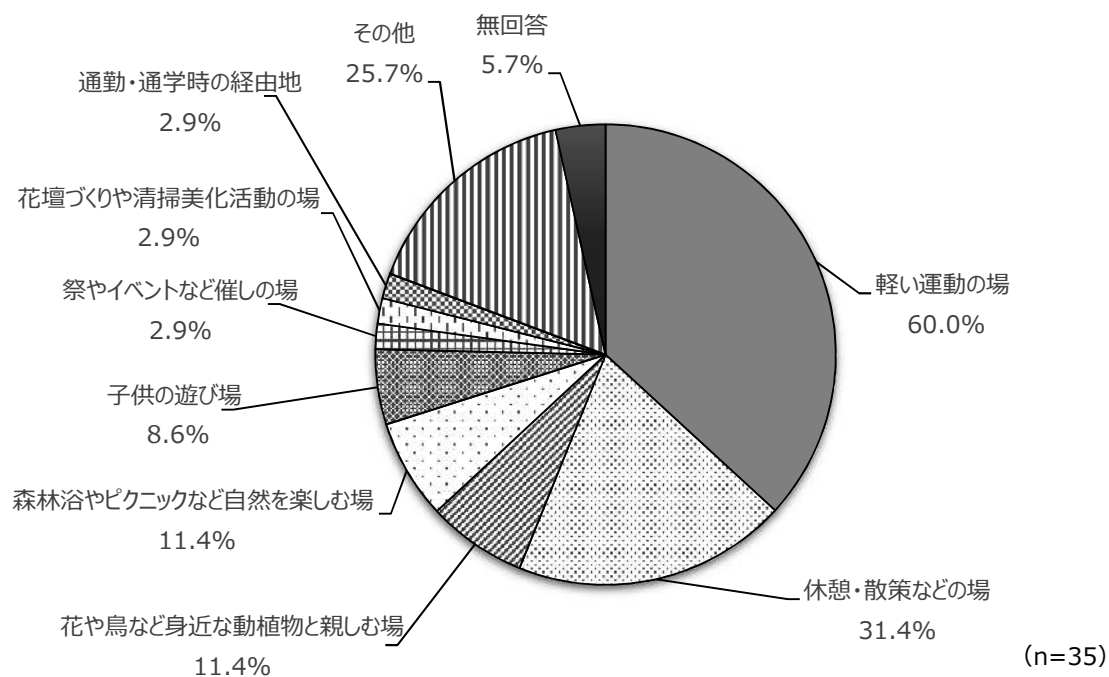


【職業別】



問8 問7で「1. ほぼ毎日利用する」と回答された方にお聞きます。主にどのような目的で利用しますか（3つまで○を付けてください）

市内の公園利用目的は「軽い運動の場」が60.0%



- 「軽い運動の場」が60.0%と最も高く、次いで「休憩・散策などの場」が31.4%となった。
- 年代別でみると、「軽い運動の場」と回答した割合は、60歳代と70歳以上の66.7%が最も高く、次いで40歳代が60.0%となった。
- 職業別でみると、「軽い運動の場」と回答した割合は、家事専業が100%と最も高く、次いで無職が69.2%となった。

【年代別・職業別】

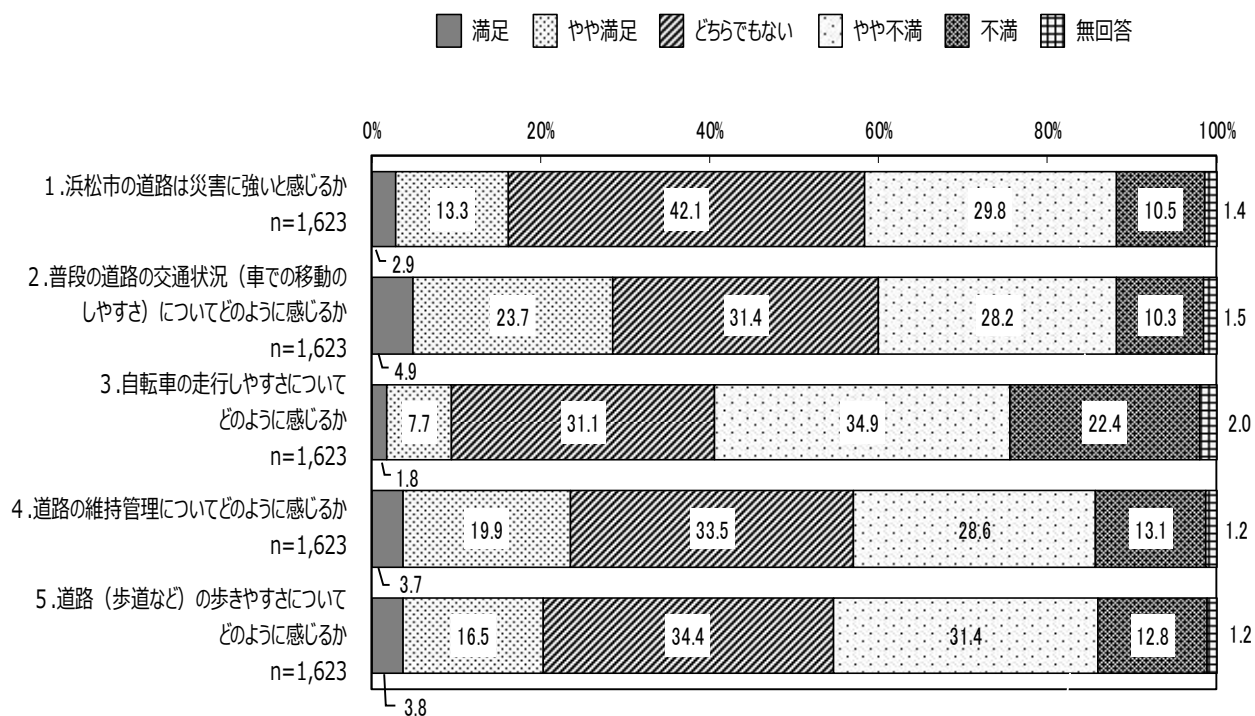
(単位：%)

		軽い運動の場	休憩・散策などの場	花や鳥など身近な動植物と親しむ場	森林浴やピクニックなど自然を楽しむ場	子供の遊び場	祭やイベントなど催しの場	花壇づくりや清掃美化活動の場	通勤・通学時の経由地	近所の方との交流の場	その他	無回答
年代	18歳～29歳 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 n=5	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	50歳代 n=3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	60歳代 n=12	66.7	41.7	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3
	70歳以上 n=15	66.7	26.7	13.3	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	6.7
職業	勤め人 n=11	45.5	36.4	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	36.4	0.0
	商工・サービス・自由業 n=6	66.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	農林水産業 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業 n=3	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職 n=13	69.2	15.4	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7
	その他 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

4 みちづくりについて

問9 あなたは、浜松市の道路状況について、どの程度満足していると感じていますか。
1～5のうちから1つずつ選び「○」を付けてください。

浜松市の道路状況について交通状況に『満足している』人は28.6%



- 「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』の割合が最も高かった項目は「普段の道路の交通状況（車での移動のしやすさ）についてどのように感じるか」の28.6%だった。最も低かった項目は「自転車の走行しやすさについてどのように感じるか」の9.5%だった。

9-1 浜松市の道路は災害に強いと感じますか

※災害時に車や徒歩で移動（避難、救助等）できるなど

【年代別・職業別・行政区別】

(単位：%)

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	9.8	25.0	33.9	24.1	7.1	0.0
	30歳代 n=164	3.0	17.1	45.1	26.2	8.5	0.0
	40歳代 n=227	3.5	15.4	40.5	29.1	11.5	0.0
	50歳代 n=319	3.1	9.4	45.5	31.0	11.0	0.0
	60歳代 n=339	1.5	11.5	41.3	33.0	11.2	1.5
	70歳以上 n=450	1.8	12.4	41.6	30.0	10.4	3.8
職業	勤め人 n=819	3.2	13.9	42.6	28.9	11.1	0.2
	商工・サービス・自由業 n=124	2.4	13.7	41.1	29.8	9.7	3.2
	農林水産業 n=26	3.8	11.5	53.8	26.9	3.8	0.0
	家事専業 n=161	0.6	11.2	47.2	30.4	9.9	0.6
	学生 n=30	13.3	23.3	26.7	26.7	10.0	0.0
	無職 n=376	2.4	11.7	39.6	32.7	9.8	3.7
	その他 n=63	4.8	17.5	39.7	23.8	12.7	1.6
行政区	中央区 n=1,235	2.5	13.0	42.9	30.2	10.4	1.1
	浜名区 n=318	3.8	15.4	42.5	28.6	7.5	2.2
	天竜区 n=54	7.4	11.1	22.2	33.3	24.1	1.9

- 年代別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』の割合は18歳～29歳の34.8%が最も高く、次いで30歳代の20.1%となった。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生の36.6%が最も高く、次いで勤め人の17.1%、商工・サービス・自由業の16.1%となった。
- 行政区でみると、『満足している』の割合は、浜名区の19.2%が最も高く、次いで天竜区の18.5%、中央区の15.5%となった。

9-2 普段の道路の交通状況（車での移動のしやすさ）についてどのように感じますか
【年代別・職業別・行政区別】

(単位：%)

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	14.3	29.5	21.4	23.2	10.7	0.9
	30歳代 n=164	6.1	31.7	26.2	26.2	9.8	0.0
	40歳代 n=227	5.3	21.6	29.1	30.8	12.8	0.4
	50歳代 n=319	4.1	25.1	29.5	29.5	11.6	0.3
	60歳代 n=339	4.1	19.5	31.6	33.9	9.4	1.5
	70歳以上 n=450	2.9	23.1	38.0	23.3	8.9	3.8
職業	勤め人 n=819	5.3	23.3	28.0	31.4	11.8	0.2
	商工・サービス・自由業 n=124	4.0	22.6	30.6	29.0	11.3	2.4
	農林水産業 n=26	7.7	46.2	26.9	15.4	3.8	0.0
	家事専業 n=161	2.5	28.0	36.6	25.5	7.5	0.0
	学生 n=30	16.7	53.3	3.3	13.3	10.0	3.3
	無職 n=376	3.5	19.9	39.4	24.5	8.0	4.8
	その他 n=63	9.5	22.2	28.6	25.4	12.7	1.6
行政区	中央区 n=1,235	4.5	23.5	30.3	29.6	10.8	1.5
	浜名区 n=318	5.7	26.7	36.8	22.3	6.9	1.6
	天竜区 n=54	9.3	16.7	27.8	29.6	16.7	0.0

- 年代別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』の割合は18歳～29歳の43.8%が最も高く、次いで30歳代の37.8%となった。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生の70.0%が最も高く、次いで農林水産業の53.9%、家事専業の30.5%となった。
- 行政区でみると、『満足している』の割合は、浜名区の32.4%が最も高く、次いで中央区の28.0%、天竜区の26.0%となった。

9-3 自転車の走行しやすさについてどのように感じますか

【年代別・職業別・行政区別】

(単位：%)

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	8.0	20.5	34.8	23.2	13.4	0.0
	30歳代 n=164	1.8	11.6	40.9	30.5	14.6	0.6
	40歳代 n=227	2.6	9.7	28.2	31.7	26.9	0.9
	50歳代 n=319	1.6	6.9	31.3	36.7	22.6	0.9
	60歳代 n=339	0.6	3.2	30.4	37.5	26.8	1.5
	70歳以上 n=450	1.1	6.0	28.9	37.8	21.3	4.9
職業	勤め人 n=819	1.6	8.4	33.8	32.1	23.2	0.9
	商工・サービス・自由業 n=124	4.0	7.3	31.5	37.9	16.9	2.4
	農林水産業 n=26	7.7	19.2	38.5	19.2	15.4	0.0
	家事専業 n=161	1.2	5.6	26.7	44.7	20.5	1.2
	学生 n=30	10.0	20.0	20.0	30.0	20.0	0.0
	無職 n=376	1.1	5.3	29.3	37.0	22.6	4.8
	その他 n=63	1.6	9.5	19.0	36.5	30.2	3.2
行政区	中央区 n=1,235	1.5	7.6	31.1	35.4	22.6	1.9
	浜名区 n=318	2.8	7.5	32.1	34.9	20.8	1.9
	天竜区 n=54	5.6	11.1	31.5	24.1	24.1	3.7

- 年代別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』の割合は18歳～29歳の28.5%が最も高く、次いで30歳代の13.4%となった。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生の30.0%が最も高く、次いで農林水産業の26.9%、商工・サービス・自由業の11.3%となった。
- 行政区でみると、『満足している』の割合は、天竜区の16.7%が最も高く、次いで浜名区の10.3%、中央区の9.1%となった。

9-4 道路の維持管理についてどのように感じますか

※舗装の状況や修繕の対応状況など

【年代別・職業別・行政区別】

(単位：％)

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	11.6	37.5	21.4	22.3	7.1	0.0
	30歳代 n=164	4.9	32.3	34.8	16.5	11.6	0.0
	40歳代 n=227	5.3	17.2	42.7	20.7	14.1	0.0
	50歳代 n=319	4.1	18.5	36.7	29.5	11.0	0.3
	60歳代 n=339	1.8	15.9	29.8	36.3	15.0	1.2
	70歳以上 n=450	1.8	16.9	31.8	31.3	14.9	3.3
職業	勤め人 n=819	3.8	21.7	35.0	26.0	13.2	0.2
	商工・サービス・自由業 n=124	3.2	13.7	40.3	25.8	14.5	2.4
	農林水産業 n=26	11.5	15.4	26.9	30.8	15.4	0.0
	家事専業 n=161	1.9	19.3	35.4	29.2	13.7	0.6
	学生 n=30	16.7	36.7	10.0	26.7	10.0	0.0
	無職 n=376	2.7	17.3	29.5	34.0	12.8	3.7
	その他 n=63	4.8	23.8	31.7	28.6	11.1	0.0
行政区	中央区 n=1,235	3.6	20.9	33.8	28.2	12.4	1.1
	浜名区 n=318	3.8	18.2	33.3	29.2	13.5	1.9
	天竜区 n=54	5.6	13.0	29.6	27.8	24.1	0.0

- 年代別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』の割合は18歳～29歳の49.1%が最も高く、次いで30歳代の37.2%となった。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生の53.4%が最も高く、次いで農林水産業の26.9%、勤め人の25.5%となった。
- 行政区でみると、『満足している』の割合は、中央区の24.5%が最も高く、次いで浜名区の22.0%、天竜区の18.6%となった。

9-5 道路（歩道など）の歩きやすさについてどのように感じますか

【年代別・職業別・行政区別】

(単位：%)

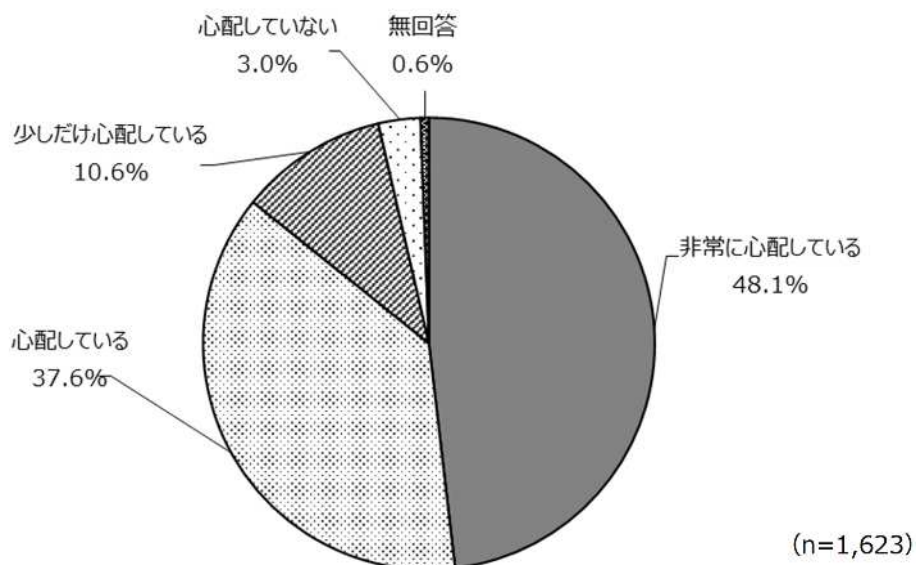
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	17.9	27.7	31.3	17.0	6.3	0.0
	30歳代 n=164	8.5	27.4	34.1	20.7	8.5	0.6
	40歳代 n=227	4.4	16.7	34.8	30.4	13.7	0.0
	50歳代 n=319	2.2	14.1	37.0	34.8	11.6	0.3
	60歳代 n=339	0.3	13.9	33.0	38.3	12.7	1.8
	70歳以上 n=450	1.8	13.6	34.9	31.3	15.8	2.7
職業	勤め人 n=819	3.4	16.7	37.7	29.9	12.0	0.2
	商工・サービス・自由業 n=124	2.4	18.5	31.5	31.5	13.7	2.4
	農林水産業 n=26	15.4	19.2	34.6	23.1	7.7	0.0
	家事専業 n=161	1.9	18.0	31.1	35.4	13.7	0.0
	学生 n=30	30.0	26.7	16.7	20.0	6.7	0.0
	無職 n=376	2.1	15.7	32.2	32.2	13.8	4.0
	その他 n=63	6.3	9.5	30.2	41.3	12.7	0.0
行政区	中央区 n=1,235	3.6	17.6	34.2	30.9	12.8	1.0
	浜名区 n=318	4.1	13.2	35.8	33.6	11.3	1.9
	天竜区 n=54	5.6	14.8	35.2	29.6	13.0	1.9

- 年代別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』の割合は18歳～29歳の45.6%が最も高く、次いで30歳代の35.9%となった。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生の56.7%が最も高く、次いで農林水産業の34.6%、商工・サービス・自由業の20.9%となった。
- 行政区でみると、『満足している』の割合は、中央区の21.2%が最も高く、次いで天竜区の20.4%、浜名区の17.3%となった。

5 カーボンニュートラルについて

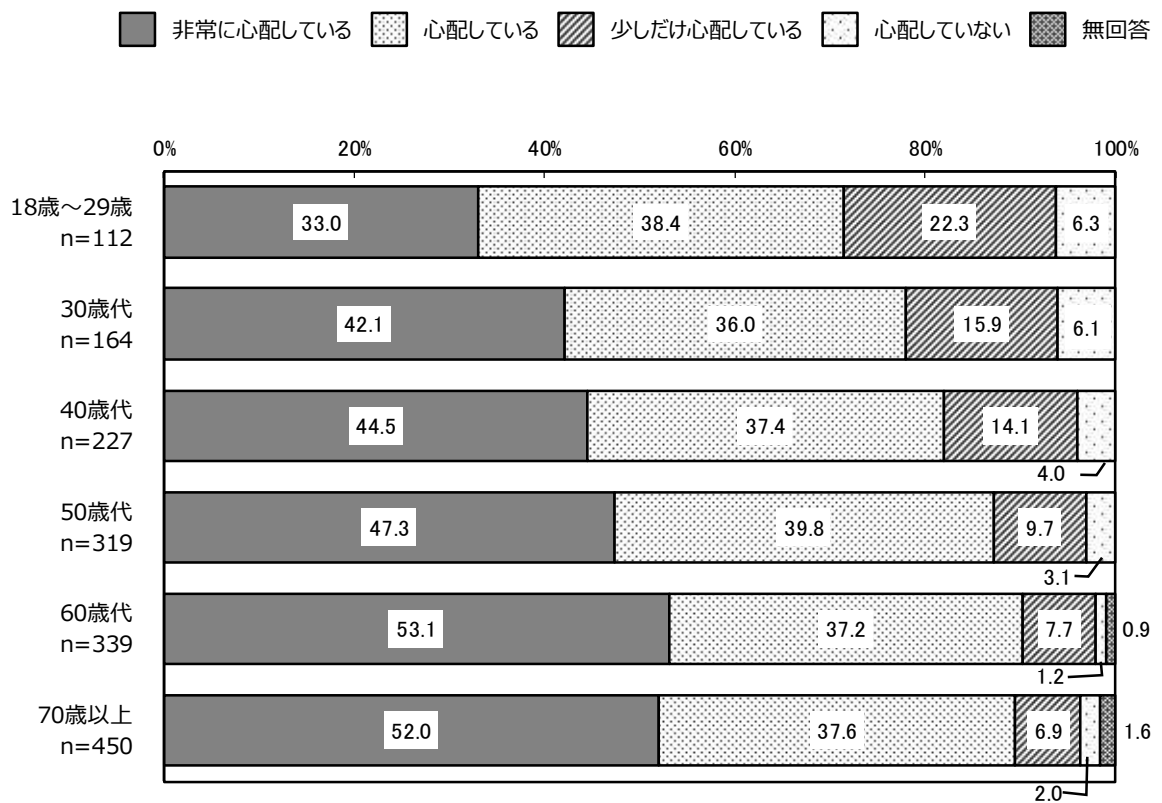
問 10 あなたは、地球温暖化の影響を受けて、記録的な猛暑や豪雨が発生している近年の気候変動について、どのくらい心配をしていますか。

「気候変動」を「非常に心配している」人は 48.1%

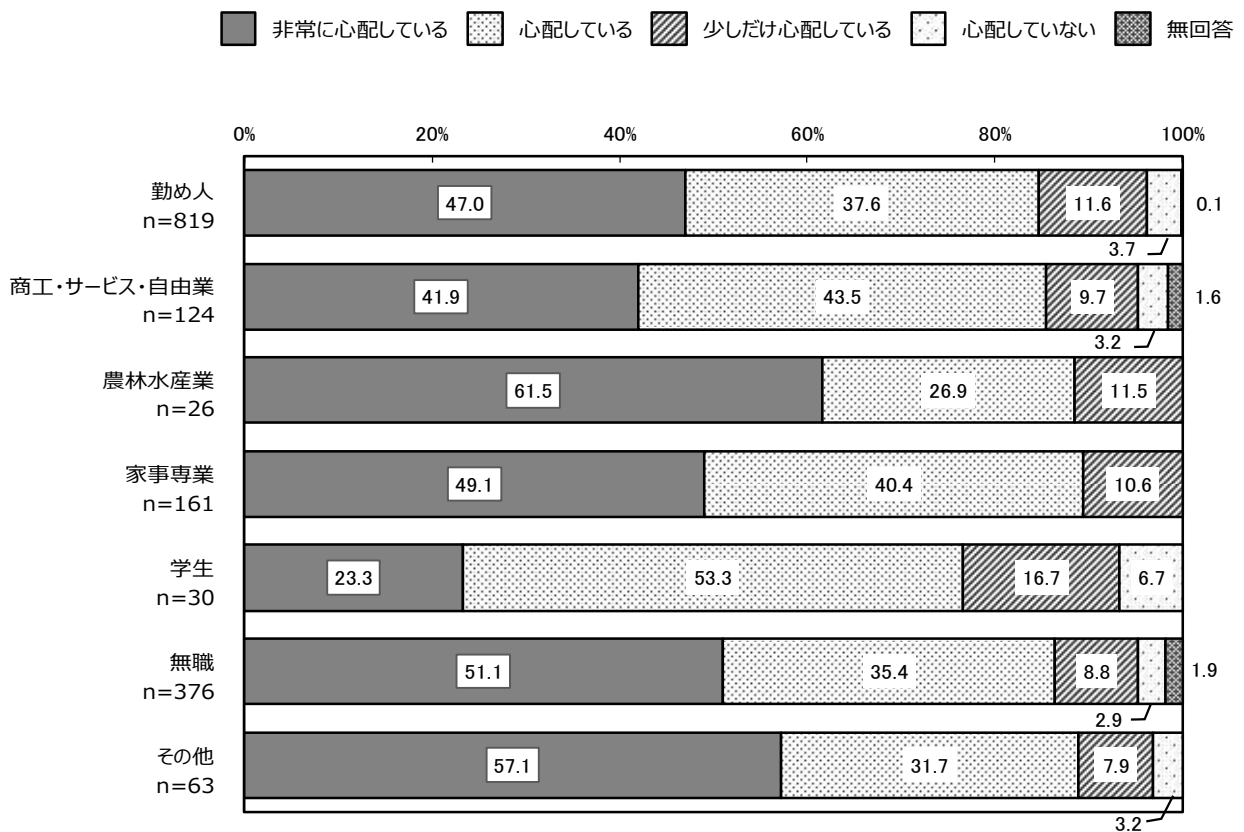


- 「非常に心配している」が 48.1%と最も高く、次いで「心配している」が 37.6%、「少しだけ心配している」が 10.6%となった。
- 年代別でみると、「非常に心配している」の割合は、60 歳代が 53.1%と最も高く、次いで 70 歳以上が 52.0%となった。最も低い 18 歳～29 歳が 33.0%となり、最も高い 60 歳代とは、20.1 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「非常に心配している」の割合は、農林水産業が 61.5%と最も高く、最も低い学生が 23.3%となり、最も高い農林水産業とは、38.2 ポイントの差がみられた。

【年代別】

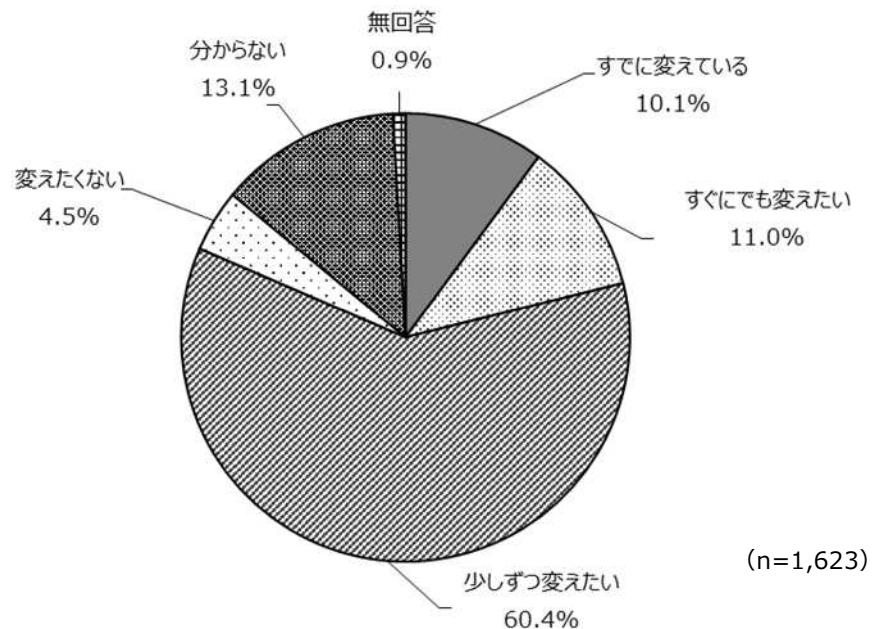


【職業別】



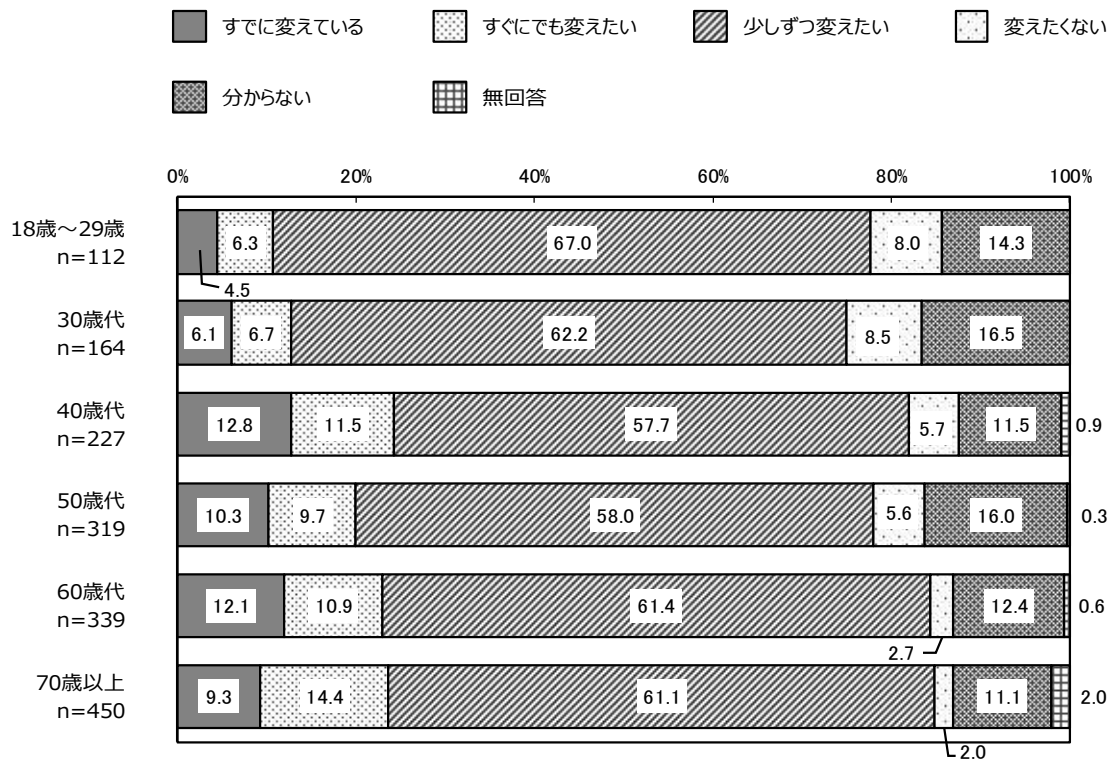
問 11 あなたは、地球上の温室効果ガスを減らすために、現在の生活スタイルを変えることについて、どう思いますか。

「現在の生活スタイル」を「少しずつ変えたい」と思っている人が 60.4%

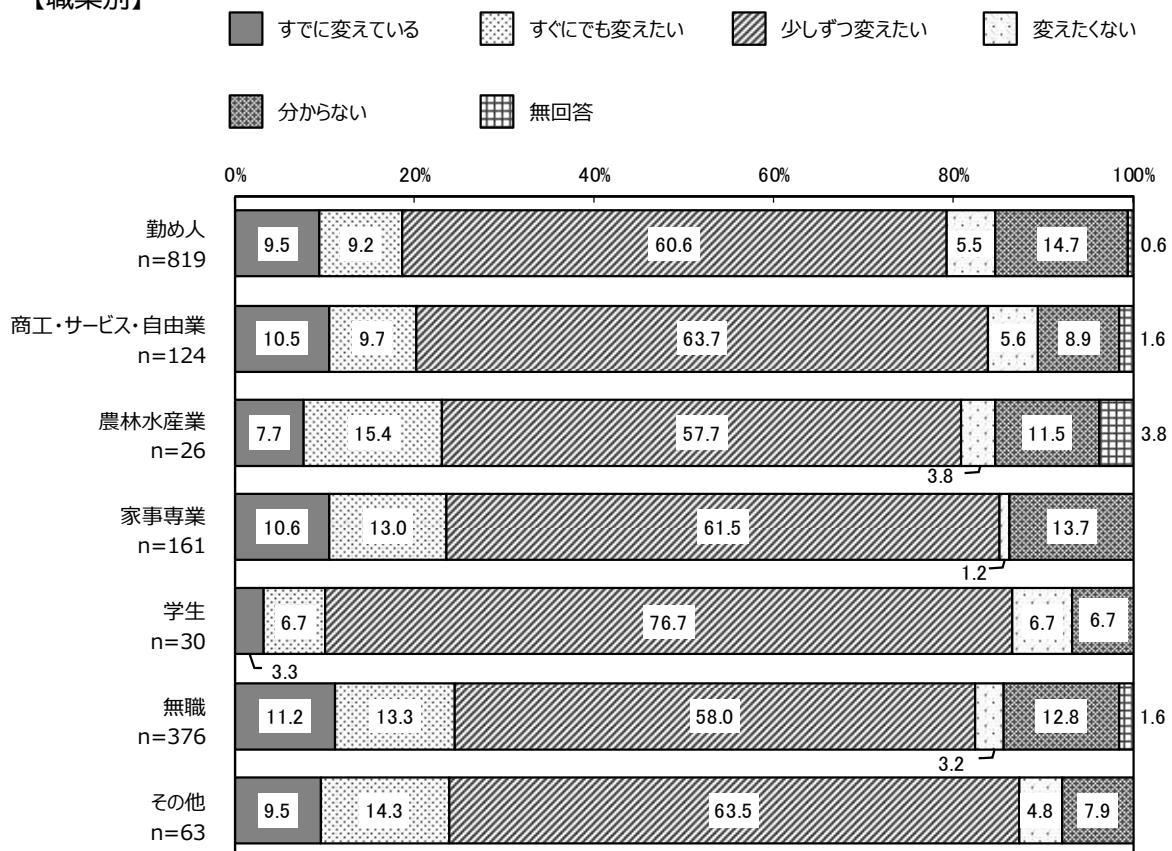


- 「少しずつ変えたい」が 60.4%と最も高く、次いで「分からない」が 13.1%、「すぐにでも変えたい」が 11.0%となった。
- 年代別でみると、「すでに変えている」と「すぐにでも変えたい」、「少しずつ変えたい」を合わせた合計は、70 歳以上が 84.8%と最も高く、次いで 60 歳代が 84.4%となった。最も低い 30 歳代が 75.0%となり、最も高い 70 歳以上とは、9.8 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、学生が 76.7%と最も高く、最も低い農林水産業が 57.7%となり、最も高い学生とは、19.0 ポイントの差がみられた。

【年代別】



【職業別】

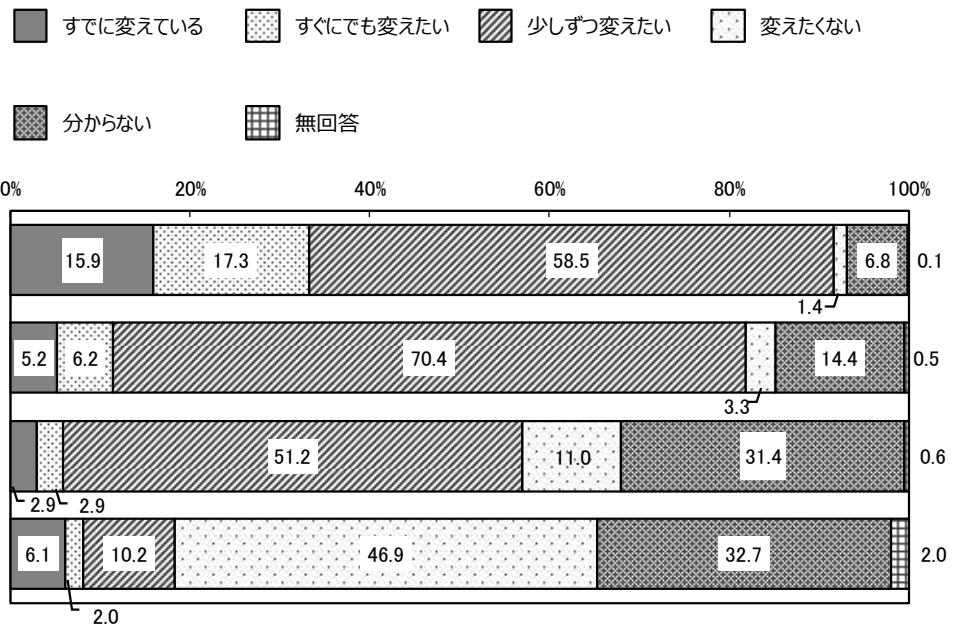


【問 10 と問 11 の設問間クロス集計】

【問 11 地球上の温室効果ガスを減らすために、現在の生活スタイルを変えることについて】

【問 10 記録的な猛暑や豪雨が発生している近年の気候変動について】

近年の気候変動に関する
心配の程度

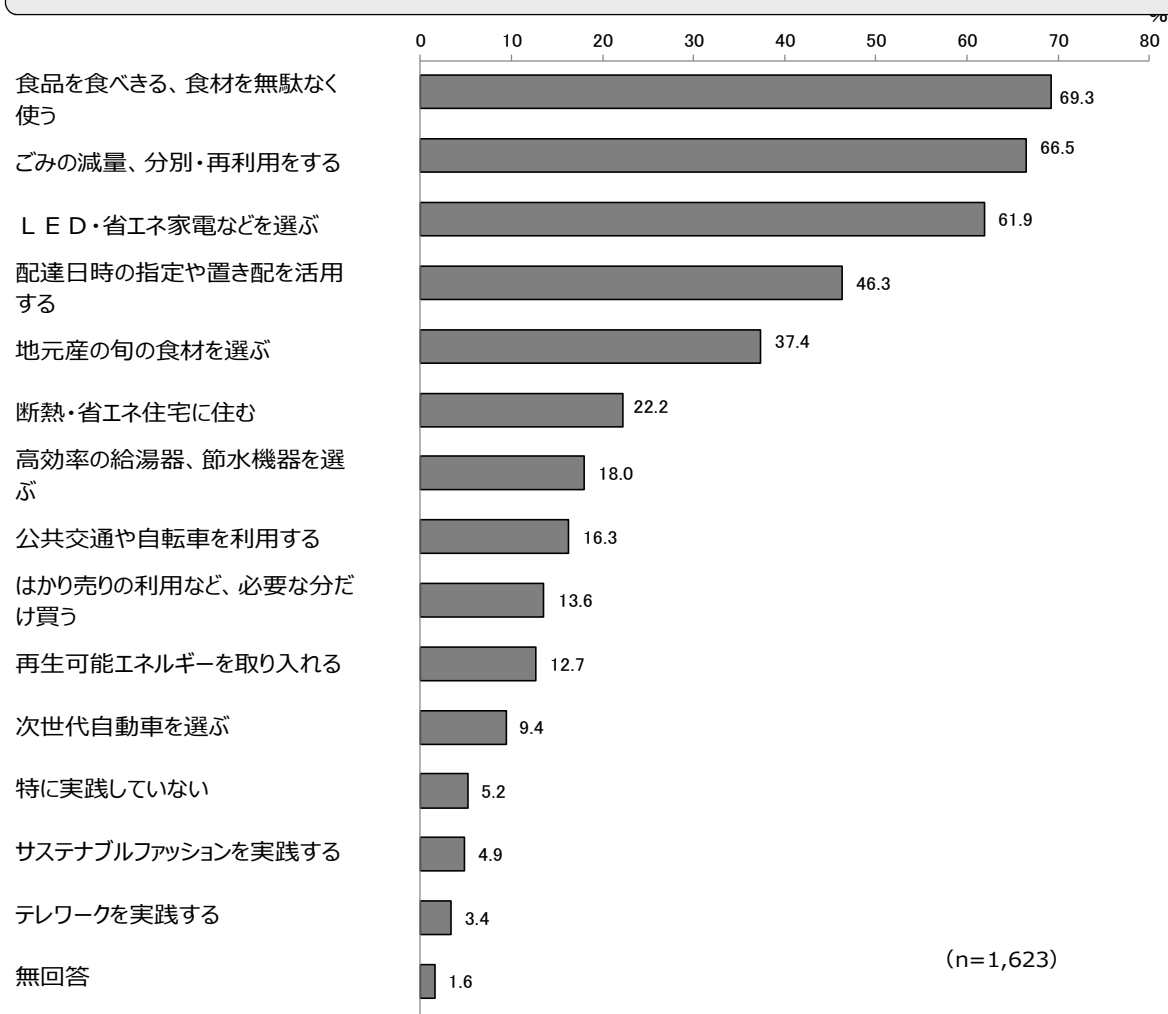


問 12 あなたは、家庭で行うことができる温室効果ガスを減らすための取り組み「愛称：デコ活※」のうち、どのようなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

※「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)、環境に良いエコ(Eco)と活動・生活を組み合わせた言葉です。

「デコ活」で「食品を食べきる、食材を無駄なく使う」に取り組んでいる人は 69.3%



- 「食品を食べきる、食材を無駄なく使う」と回答した人の割合が 69.3%と最も高く、次いで「ごみの減量、分別・再利用をする」が 66.5%、「L E D・省エネ家電などを選ぶ」が 61.9%となった。
- 年代別でみると、「食品を食べきる、食材を無駄なく使う」と回答した人の割合は、60 歳代が 71.1%と最も高く、次いで 50 歳代が 70.2%となった。最も低い 18 歳～29 歳が 61.6%となり、最も高い 60 歳代とは、9.5 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「食品を食べきる、食材を無駄なく使う」と回答した人の割合は、家事専業が 79.5%と最も高く、次いで学生が 73.3%と続いた。最も低い無職が 67.3%となり、最も高い家事専業とは 12.2 ポイントの差がみられた。

【年代別・職業別・問10・問11と問12の設問間クロス集計】

(単位：%)

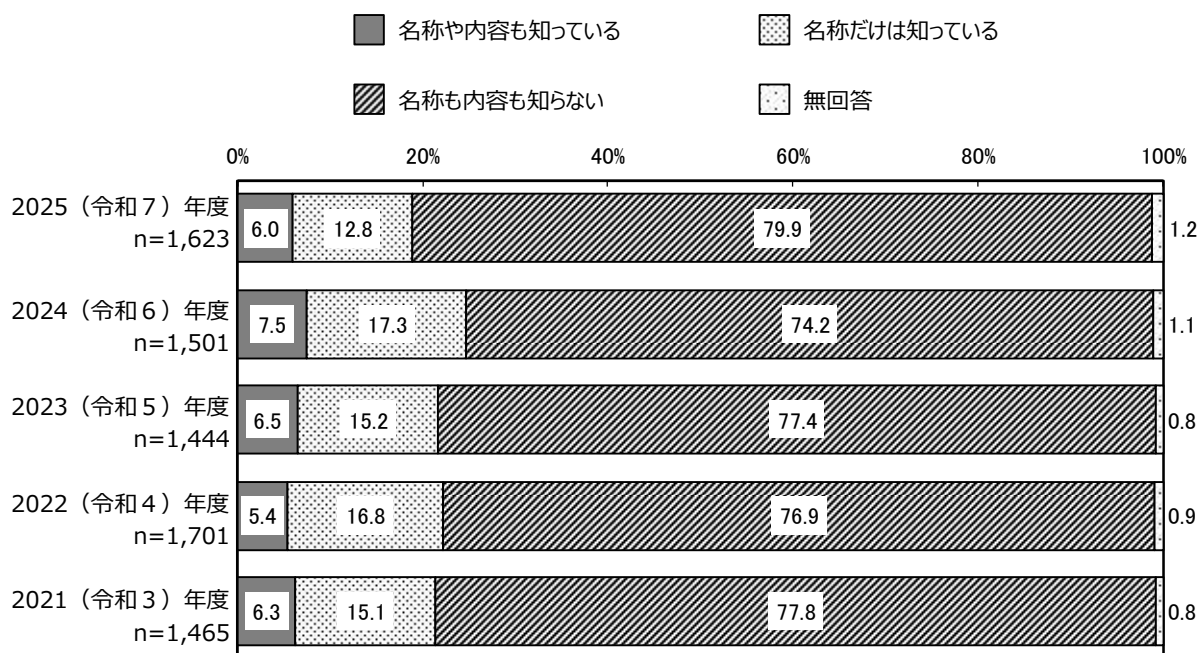
		食品を食べる、食材を無駄なく使う	ごみの減量、分別・再利用をする	LED・省エネ家電などを選ぶ	配達日時指定や置き配を活用する	地元産の旬の食材を選ぶ	断熱・省エネ住宅に住む	高効率の給湯器、節水機器を選ぶ	公共交通や自転車を利用する	はかり売りの利用など、必要な分だけ買う	再生可能エネルギーを取り入れる	次世代自動車を選ぶ	サステナブルファッションを実践する	テレワークを実践する	特に実践していない	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	61.6	52.7	25.0	48.2	22.3	11.6	6.3	25.9	13.4	8.0	5.4	3.6	4.5	8.9	0.0
	30歳代 n=164	67.1	56.7	50.6	62.2	24.4	26.2	11.6	12.8	13.4	11.6	5.5	3.7	6.7	7.9	0.6
	40歳代 n=227	69.2	58.6	63.0	55.5	35.7	33.5	19.4	12.8	12.3	16.3	9.7	6.2	4.8	7.0	0.9
	50歳代 n=319	70.2	61.8	64.3	49.5	34.5	17.9	14.1	14.4	15.4	9.4	9.1	4.7	4.1	6.0	0.9
	60歳代 n=339	71.1	72.0	72.9	45.7	39.5	22.4	22.7	14.2	10.6	14.2	13.3	5.0	2.4	3.5	1.8
	70歳以上 n=450	70.0	76.7	64.2	33.1	46.2	20.2	21.3	19.8	14.9	13.3	9.1	5.3	1.6	3.1	3.1
	70歳以上 n=450	70.0	76.7	64.2	33.1	46.2	20.2	21.3	19.8	14.9	13.3	9.1	5.3	1.6	3.1	3.1
職業	勤め人 n=819	68.0	60.9	58.2	52.4	32.1	22.7	15.6	15.4	12.6	12.2	10.5	4.3	3.8	6.2	1.2
	商工・サービス・自由業 n=124	67.7	62.1	73.4	43.5	39.5	25.8	20.2	8.1	12.9	14.5	7.3	5.6	4.0	6.5	1.6
	農林水産業 n=26	69.2	73.1	73.1	42.3	46.2	26.9	23.1	11.5	11.5	23.1	7.7	7.7	3.8	3.8	0.0
	家事専業 n=161	79.5	77.6	73.9	46.0	55.3	29.8	26.1	13.0	17.4	13.7	6.8	4.3	2.5	1.2	0.6
	学生 n=30	73.3	63.3	23.3	43.3	30.0	6.7	6.7	36.7	13.3	16.7	0.0	10.0	3.3	6.7	0.0
	無職 n=376	67.3	75.0	61.7	35.1	39.1	19.4	19.7	21.0	13.0	12.2	10.4	5.6	2.7	4.8	3.2
	その他 n=63	73.0	68.3	66.7	38.1	39.7	6.3	14.3	17.5	19.0	6.3	4.8	3.2	3.2	3.2	0.0
関近 年 の 心 気 配 候 の 変 程 動 度 に	非常に心配している n=781	76.2	74.0	67.3	51.1	43.5	25.2	21.8	18.6	15.0	15.9	11.7	5.9	2.9	1.7	0.8
	心配している n=611	66.3	64.2	60.7	45.5	34.4	20.5	15.7	15.5	13.4	10.3	7.9	4.3	2.9	5.2	1.8
	少しだけ心配している n=172	59.9	54.1	49.4	33.7	26.2	16.9	11.0	9.9	9.9	8.1	7.0	2.9	5.2	14.0	1.7
	心配していない n=49	34.7	26.5	36.7	28.6	20.4	16.3	12.2	14.3	8.2	6.1	2.0	4.1	10.2	30.6	6.1
に 温 を 室 変 効 え 果 る 在 こ の と 生 に ガ つ ス つ 活 た 削 い 減 れ タ の ス た タ め イ ル 減 の た め	すでに変えている n=164	84.1	86.0	80.5	61.0	59.1	38.4	37.8	28.0	23.8	24.4	20.7	19.5	6.7	0.0	0.0
	すぐにでも変えたい n=179	79.3	76.0	71.5	48.0	44.1	32.4	23.5	26.8	21.2	20.7	12.8	8.9	3.4	1.1	1.1
	少しずつ変えたい n=981	71.4	67.8	62.2	46.8	37.4	20.3	17.1	15.4	12.1	11.2	8.4	2.3	2.7	2.5	1.4
	変えたくない n=73	37.0	27.4	39.7	37.0	12.3	11.0	9.6	5.5	5.5	4.1	4.1	1.4	8.2	26.0	1.4
	分からない n=212	52.8	52.4	46.2	34.4	23.6	13.7	5.2	6.1	8.5	7.1	4.2	2.8	2.4	18.4	2.4

6 消費生活について

問 13 あなたは、「エシカル消費※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

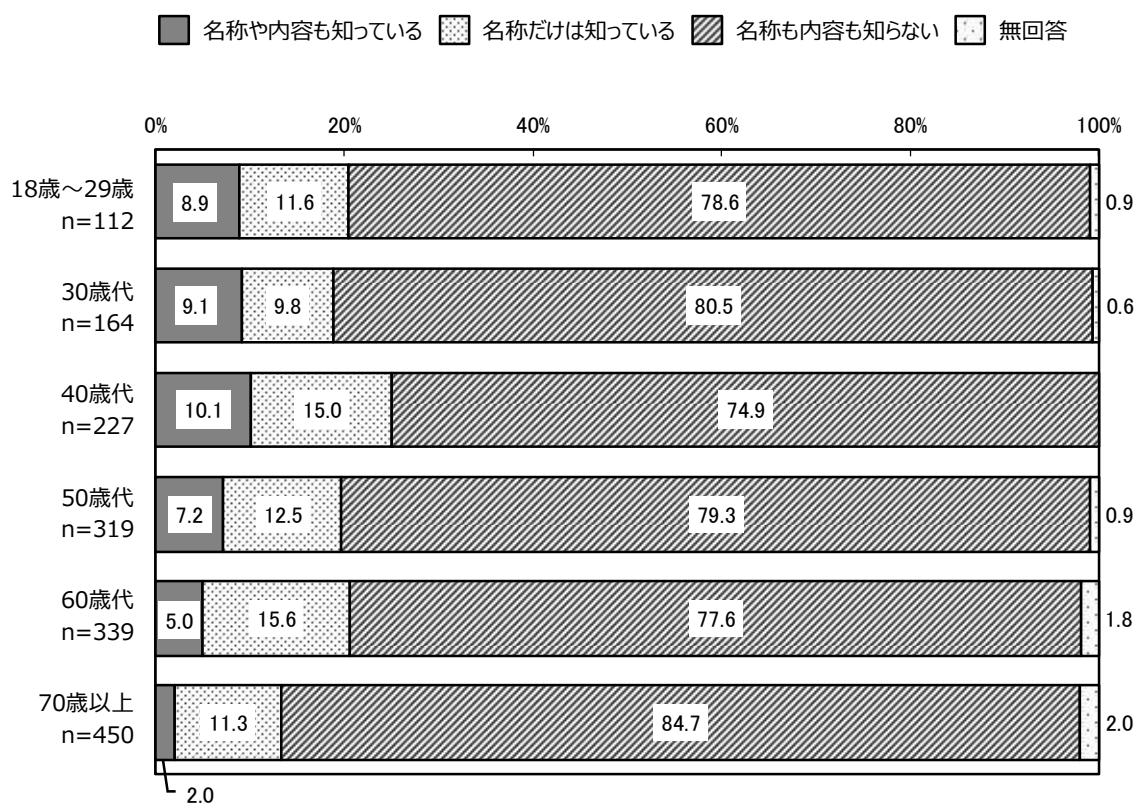
※「エシカル消費」とは、人や社会、地域、環境に配慮した買い物などの消費行動のことです。

「エシカル消費」を『知っている』人は 18.8%

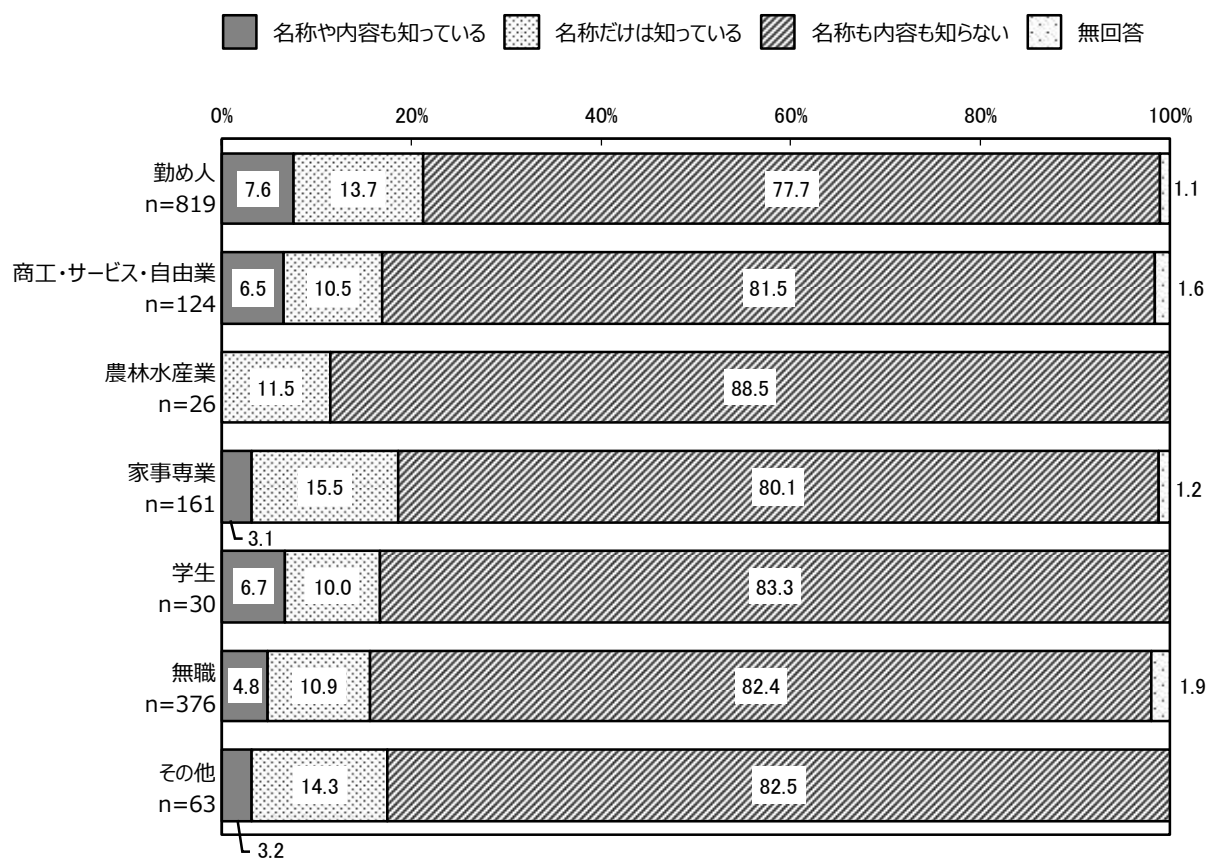


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 18.8% となり、「名称も内容も知らない」の 79.9% を 61.1 ポイント下回った。2024（令和6）年度との比較では、『知っている』は 6.0 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、40 歳代が 25.1% と最も高く、次いで 60 歳代が 20.6% となった。最も低い 70 歳以上が 13.3% となり、最も高い 40 歳代とは、11.8 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、勤め人が 21.3% と最も高く、次いで家事専業が 18.6% となった。最も低い農林水産業が 11.5% となり、最も高い勤め人とは、9.8 ポイントの差がみられた。
- 性別でみると、女性が 20.9% に対して、男性は 15.9% となり、5.0 ポイントの差がみられた。
- 家族数でみると、1 人が 25.8% と最も高く、次いで 4 人が 22.6% となった。最も低い 6 人以上が 12.4% となり、最も高い 1 人とは 13.4 ポイントの差がみられた。

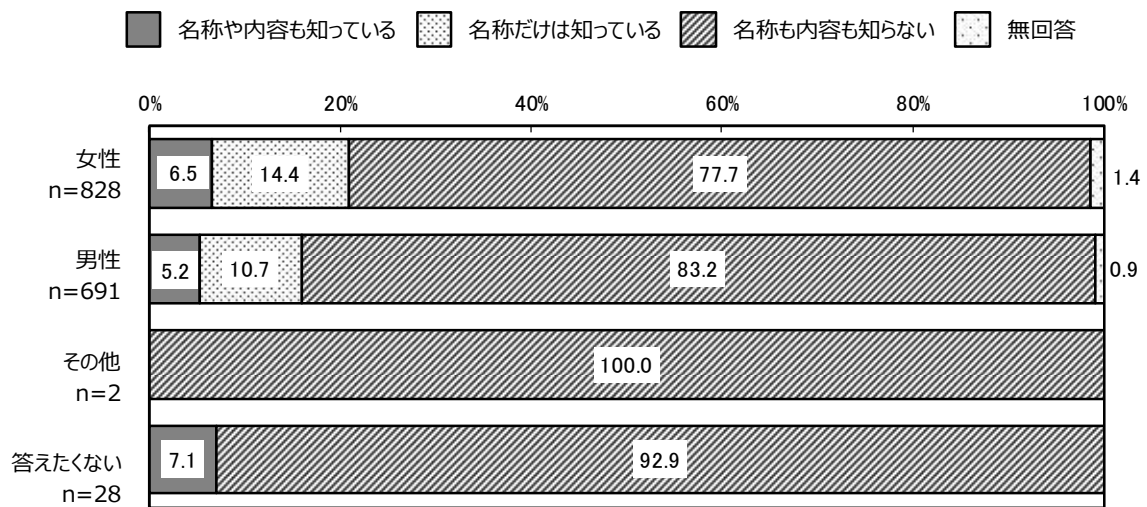
【年代別】



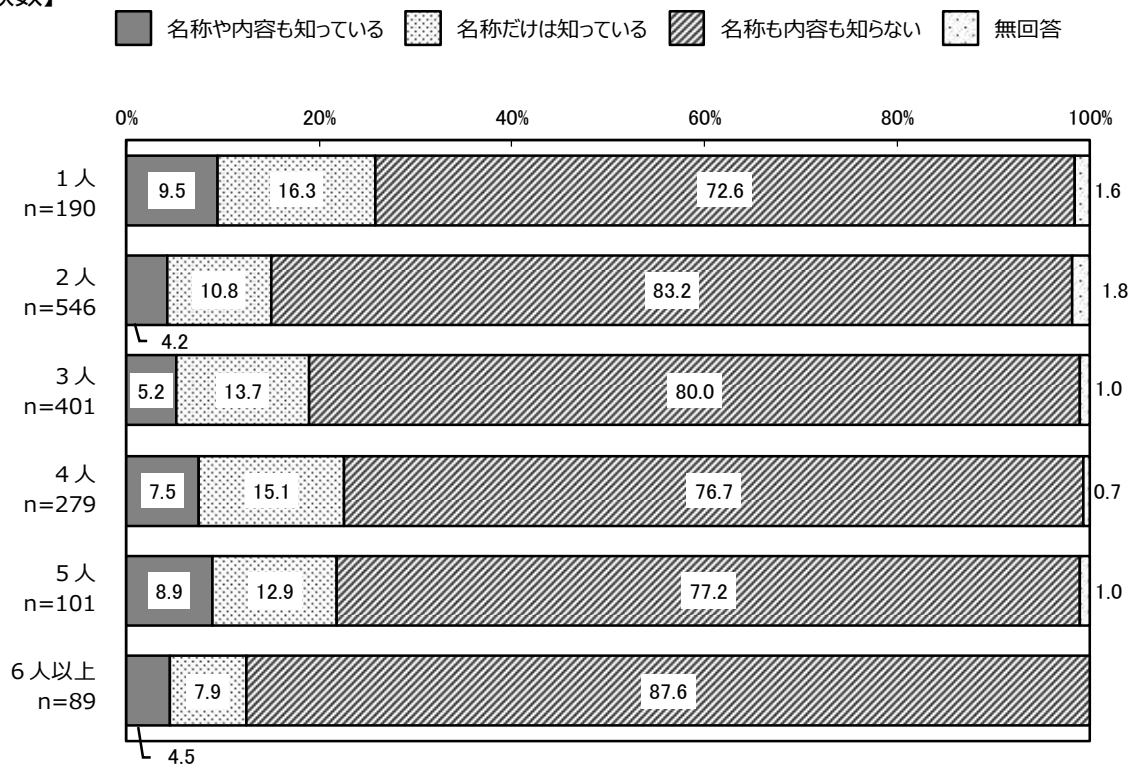
【職業別】



【性別】

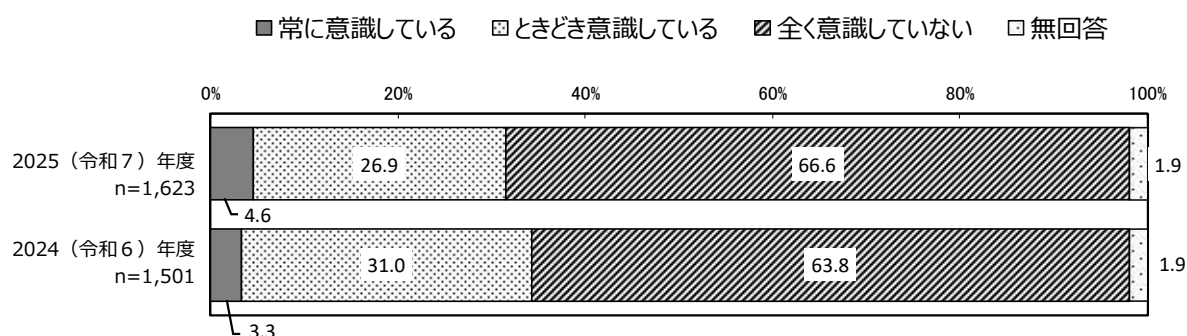


【家族数】



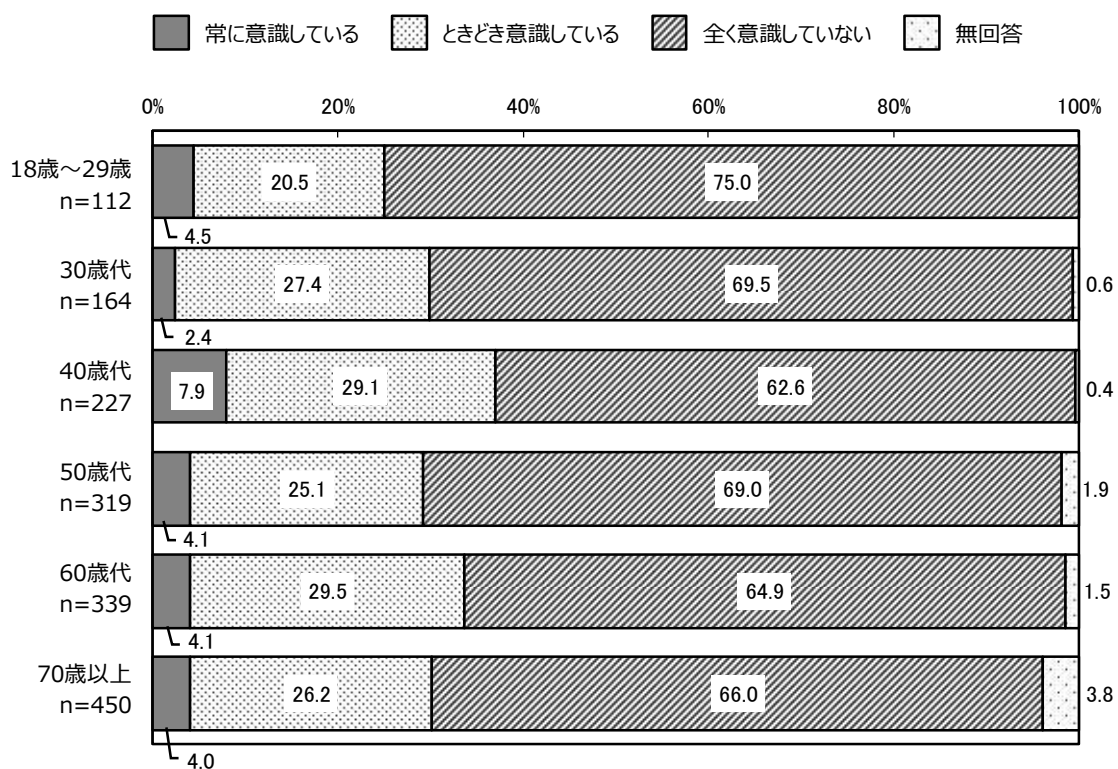
問 14 あなたは、買い物をするときにエシカル消費を意識して製品やサービスを選んでいますか。（1 つだけ○を付けてください）

買い物をするときにエシカル消費を『意識している』人は 31.5%

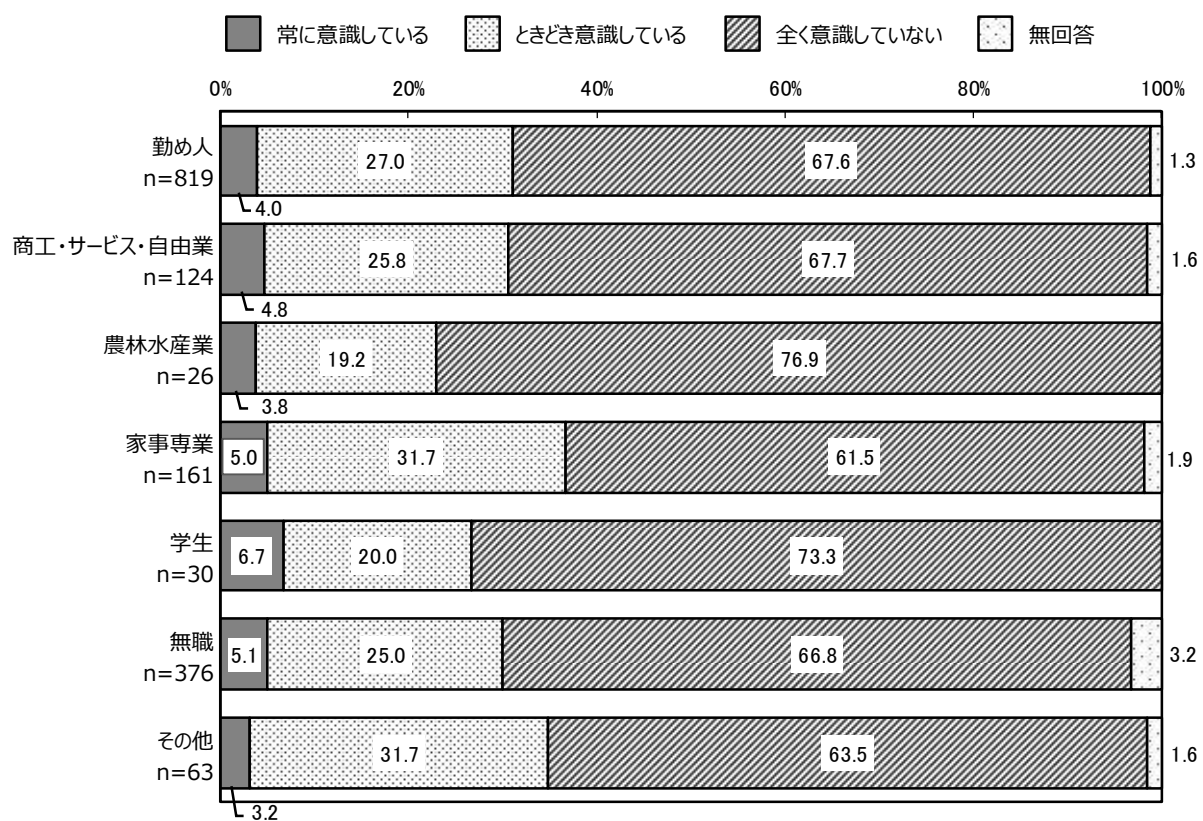


- 「常に意識している」と「ときどき意識している」を合わせた『意識している』は 31.5% となり、「全く意識していない」の 66.6% を 35.1 ポイント下回った。
- 年代別でみると『意識している』の割合は、40 歳代が 37.0% と最も高く、次いで 60 歳代が 33.6% となった。最も低い 18 歳～29 歳が 25.0% となり、最も高い 40 歳代とは 12.0 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、家事専業が 36.7% と最も高く、次いで勤め人が 31.0% となった。最も低い農林水産業が 23.0% となり、最も高い家事専業とは 13.7 ポイントの差がみられた。
- 性別でみると、女性が 37.5% に対して、男性は 24.2% となり、13.3 ポイントの差がみられた。
- 家族数でみると、5 人が 36.7% と最も高く、次いで 4 人が 33.4% となった。最も低い 6 人以上が 23.6% となり、最も高い 5 人とは 13.1 ポイントの差がみられた。

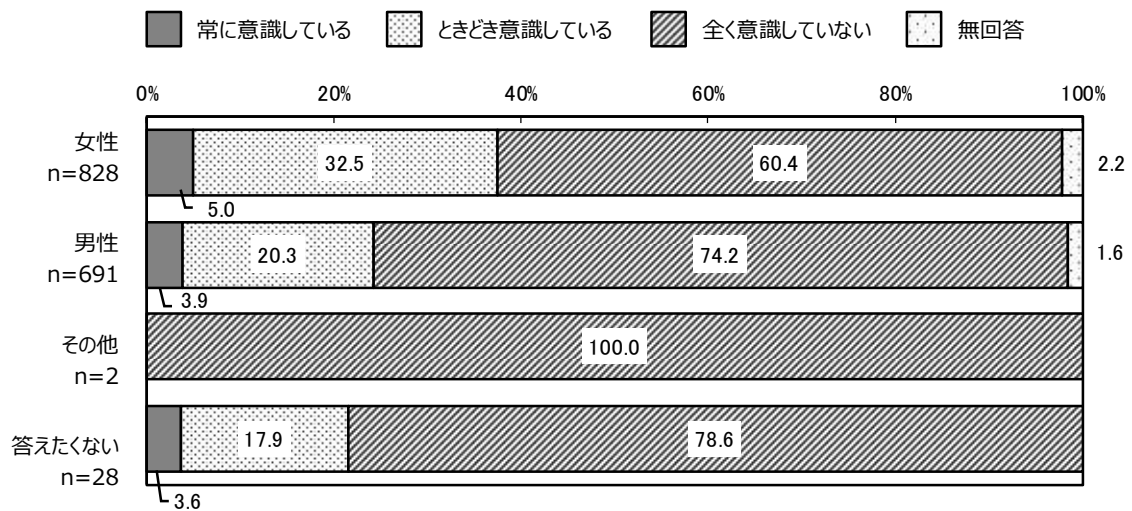
【年代別】



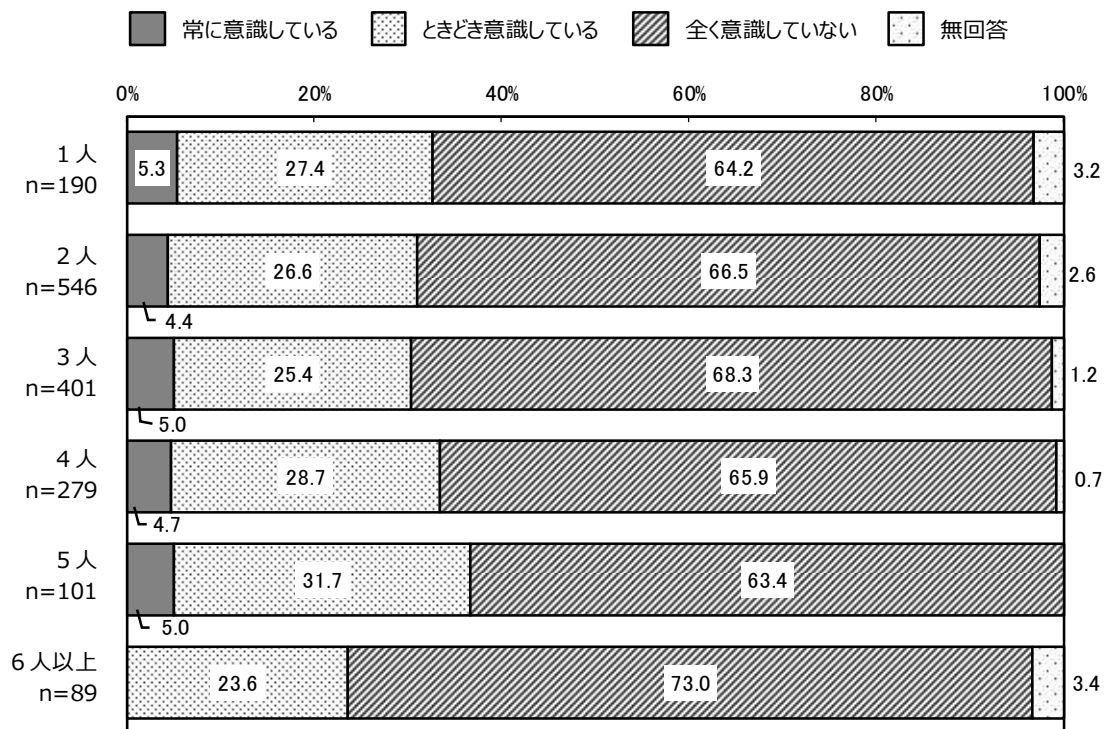
【職業別】



【性別】



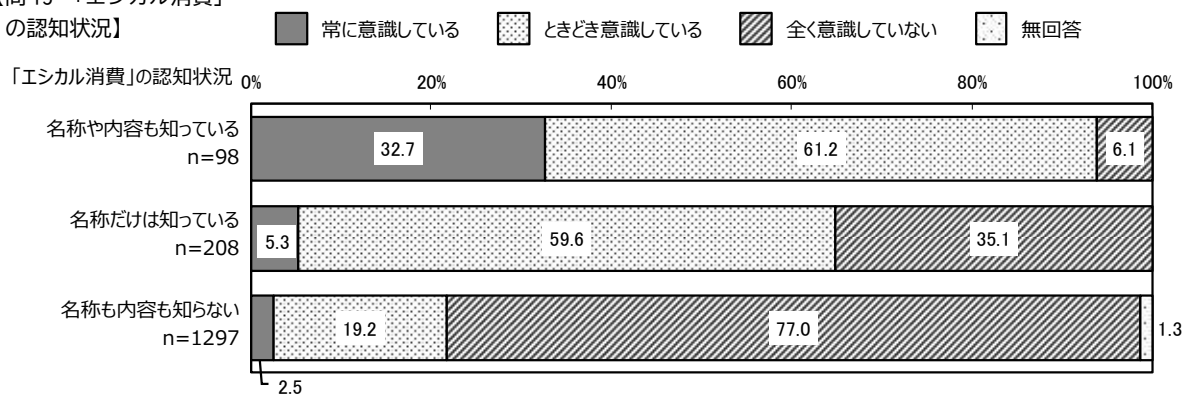
【家族数】



【問13と問14の設問間クロス集計】

【問14 あなたは、買い物をするときにエシカル消費を意識して製品やサービスを選んでいますか】

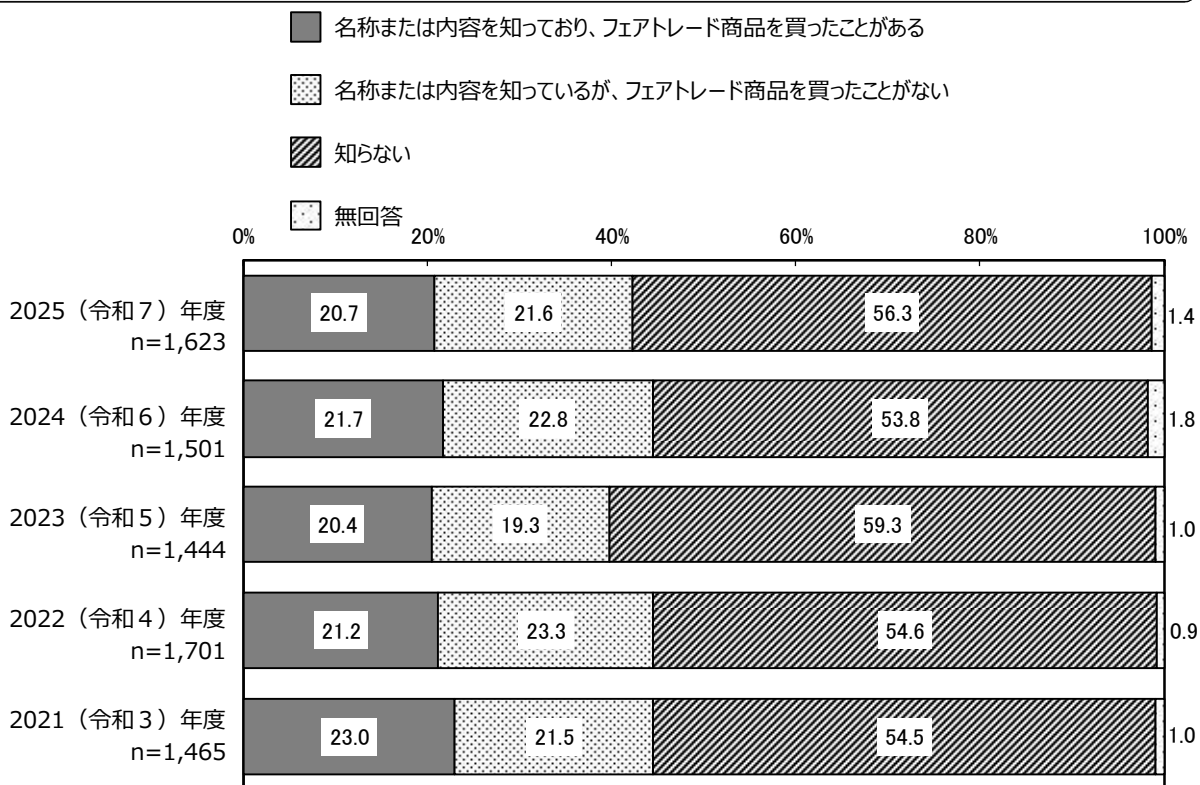
【問13 「エシカル消費」の認知状況】



問 15 あなたは、「フェアトレード※」をご存じですか。また、フェアトレード商品を買ったことがありますか。（1つだけ○を付けてください）

※フェアトレードとは、開発途上国で作られた作物や製品を「適正な価格」で「継続的に取り引き」する「貿易のしくみ」により、立場の弱い小規模生産者や労働者の生活改善と自立を目指す取り組みです。

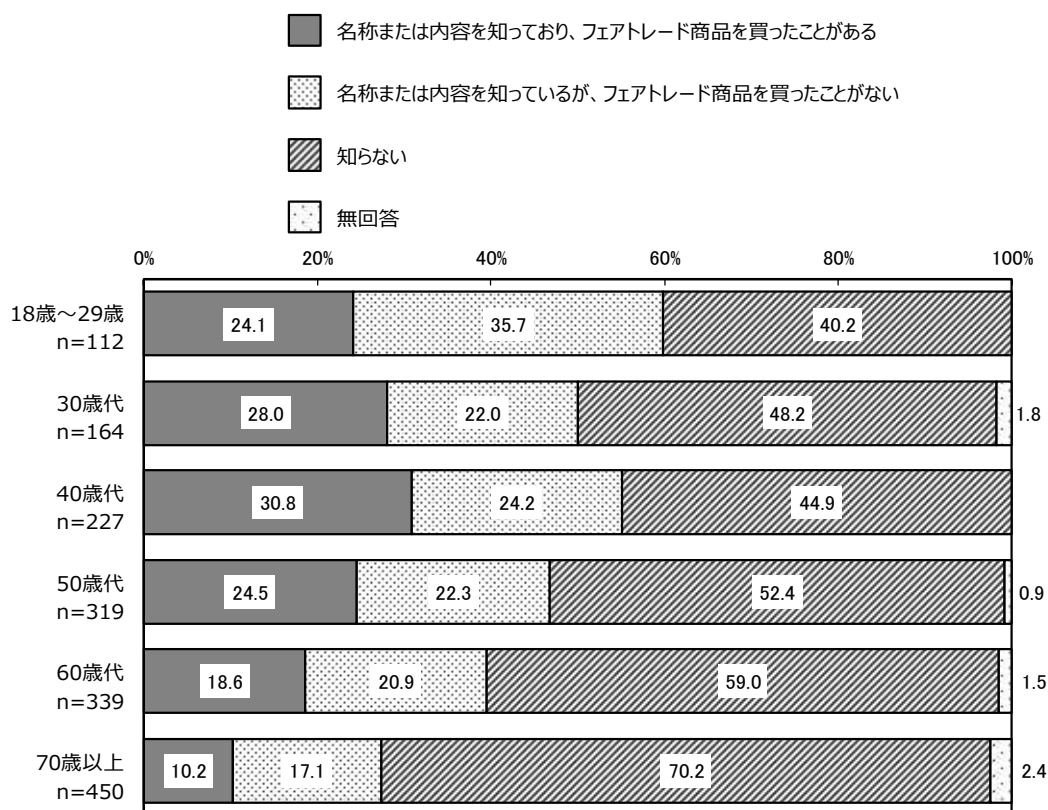
フェアトレードを『知っている』人は 42.3%



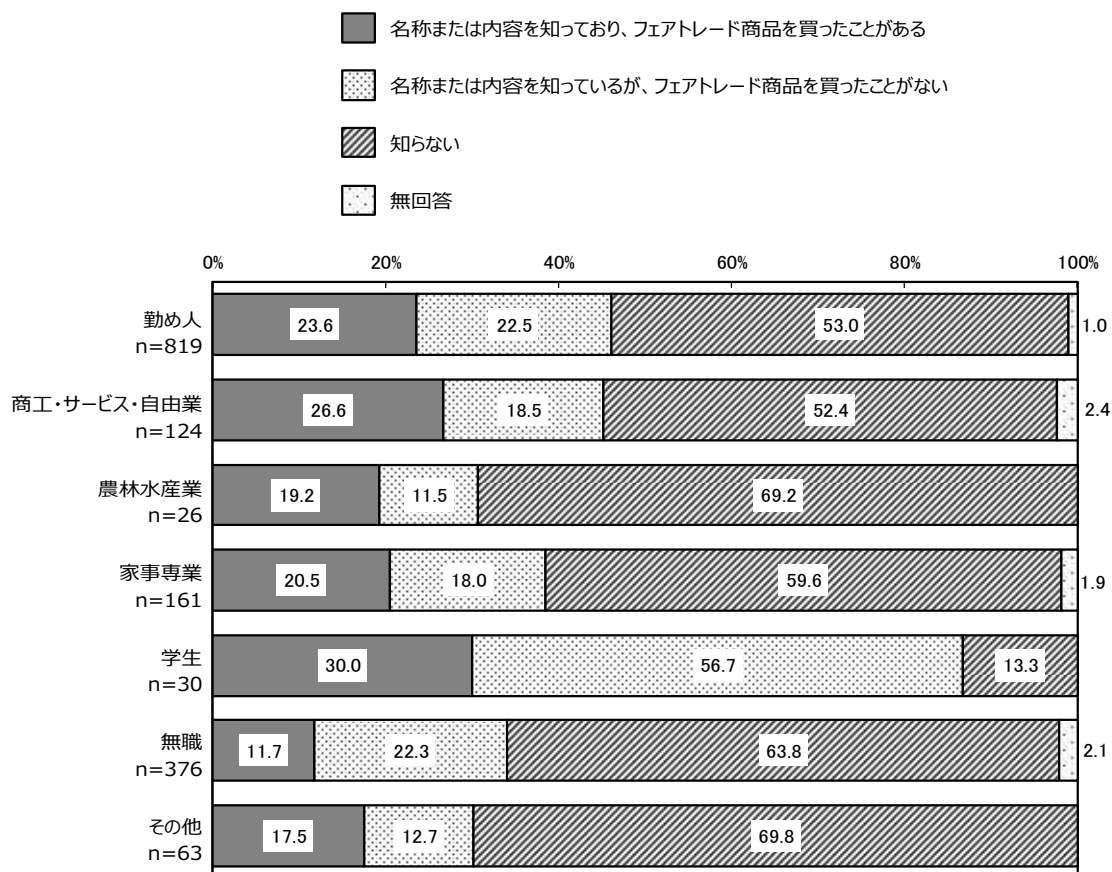
※2023（令和5）年度までの調査では、「名称または内容を知っており、フェアトレード商品を買ったことがある」を「（フェアトレード商品を買ったことが）ある」に、「名称または内容を知っているが、フェアトレード商品を買ったことがない」を「フェアトレードは知っているが、買ったことはない」に、「知らない」を「（フェアトレード商品を買ったことが）ない」にしていた。

- 「名称または内容を知っており、フェアトレード商品を買ったことがある」と「名称または内容を知っているが、フェアトレード商品を買ったことがない」を合わせた『知っている』は 42.3% となり、「知らない」の 56.3% を 14.0 ポイント下回った。2024（令和6）年度との比較では、『知っている』は 2.2 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、18 歳～29 歳が 59.8% と最も高く、次いで 40 歳代が 55.0% となった。最も低い 70 歳以上が 27.3% となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、32.5 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、学生が 86.7% と最も高く、次いで勤め人が 46.1% となった。最も低い農林水産業が 30.7% となり、最も高い学生とは、56.0 ポイントの差がみられた。
- 性別でみると、女性が 44.3% に対して、男性は 40.1% となり、4.2 ポイントの差がみられた。
- 家族数でみると、4 人が 53.4% と最も高く、次いで 5 人が 51.5% となった。最も低い 2 人が 35.7% となり、最も高い 4 人とは 17.7 ポイントの差がみられた。

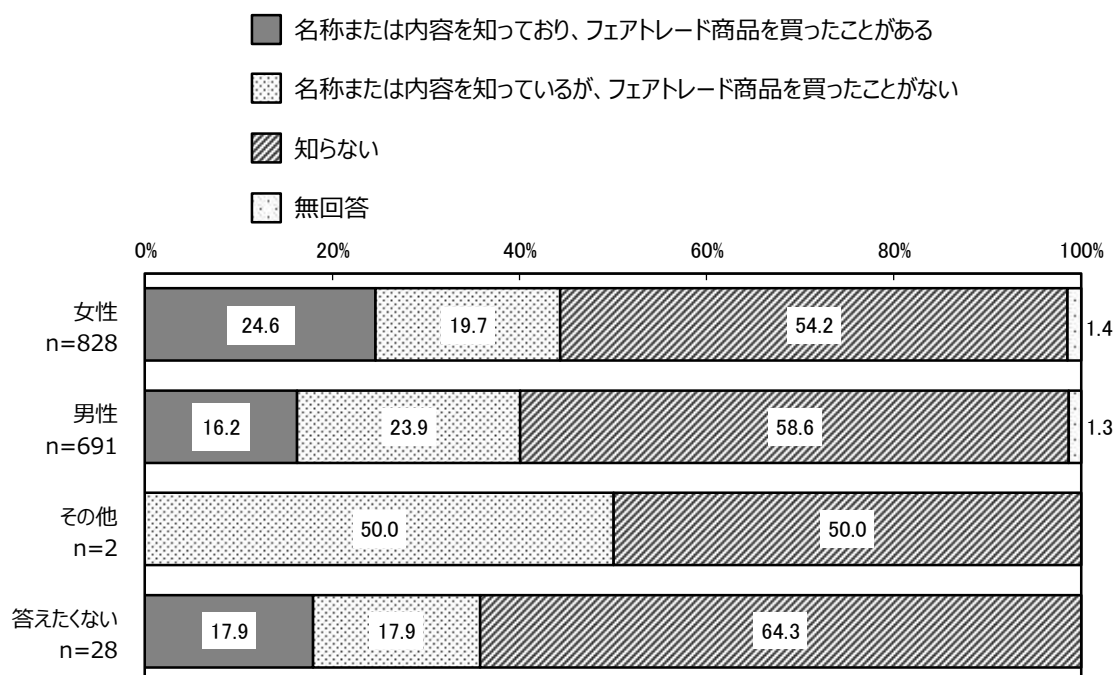
【年代別】



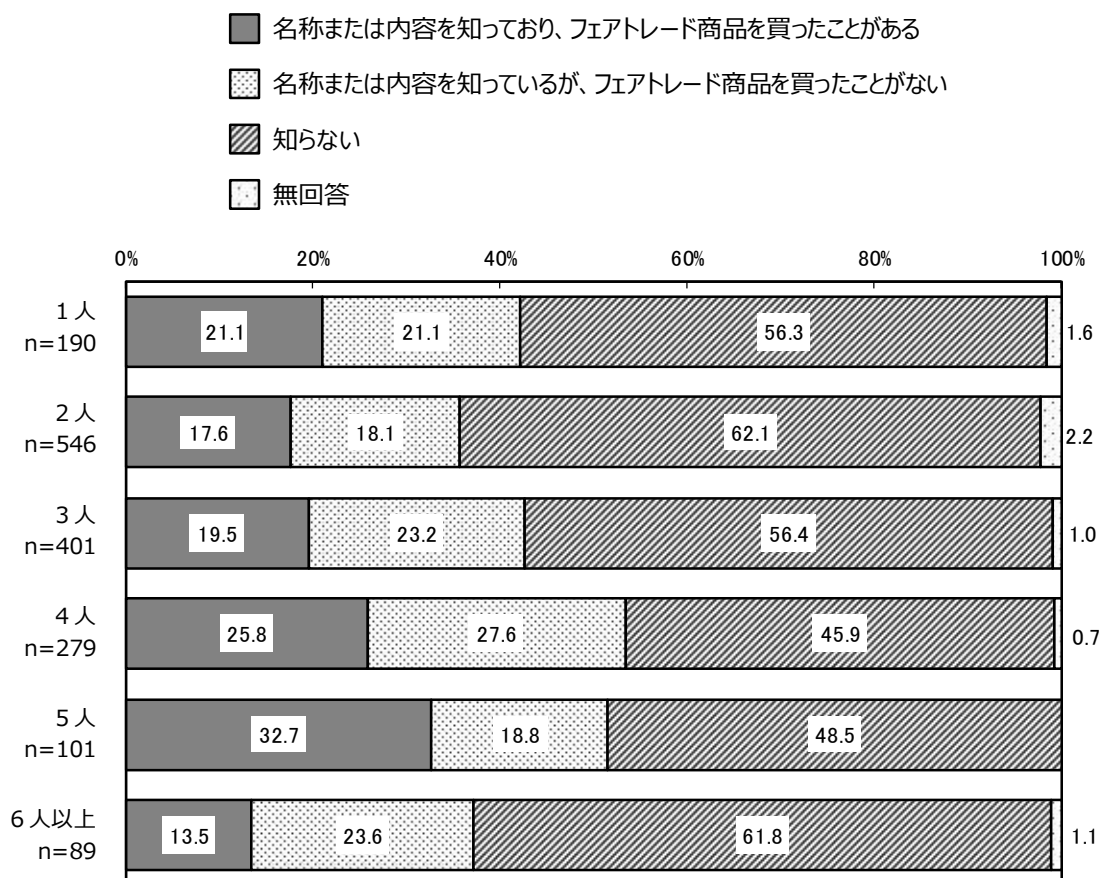
【職業別】



【性別】



【家族数】

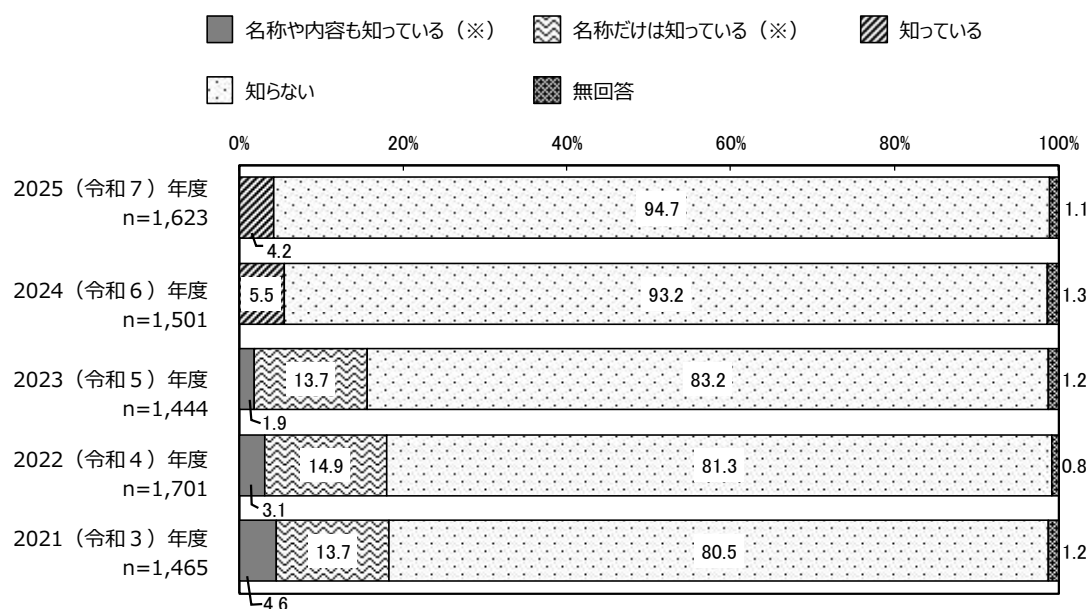


問 16 あなたは、浜松市が「フェアトレードタウン※」であることをご存じですか。

(1 つだけ○を付けてください)

※フェアトレードタウンとは、市民団体や商店・企業・行政などが連携し、「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げていく自治体のことです。

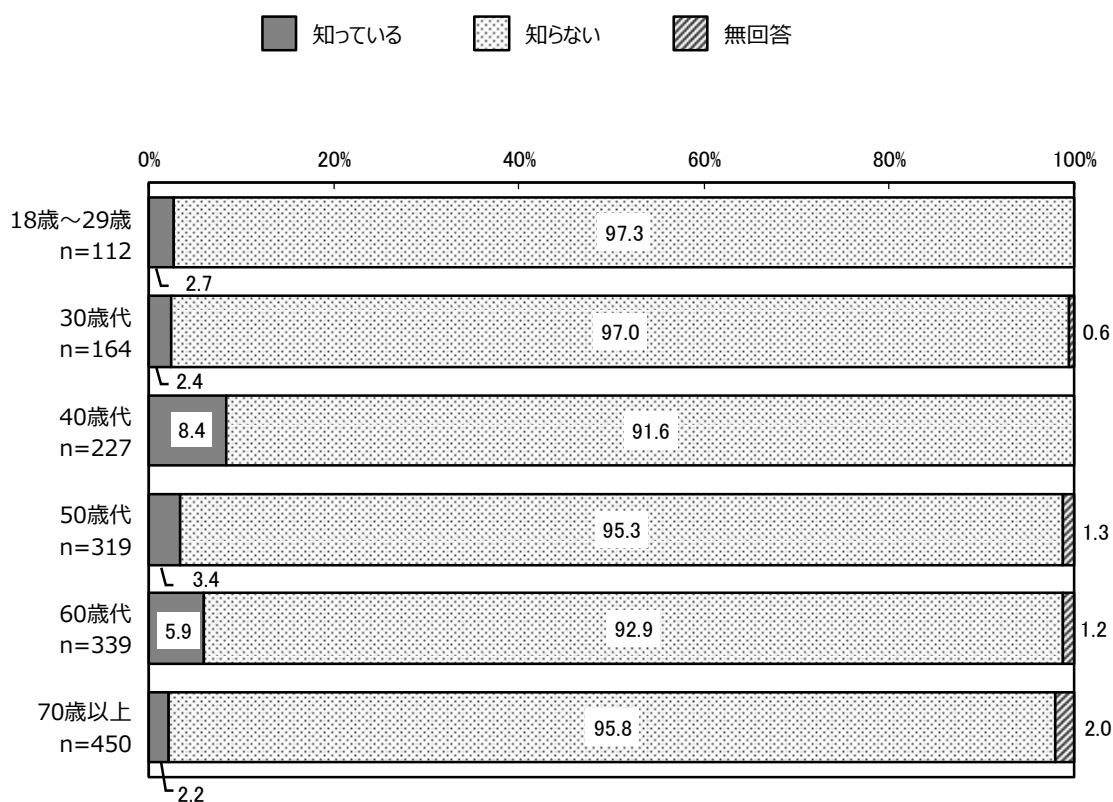
浜松市がフェアトレードタウンであることを「知っている」人は 4.2%



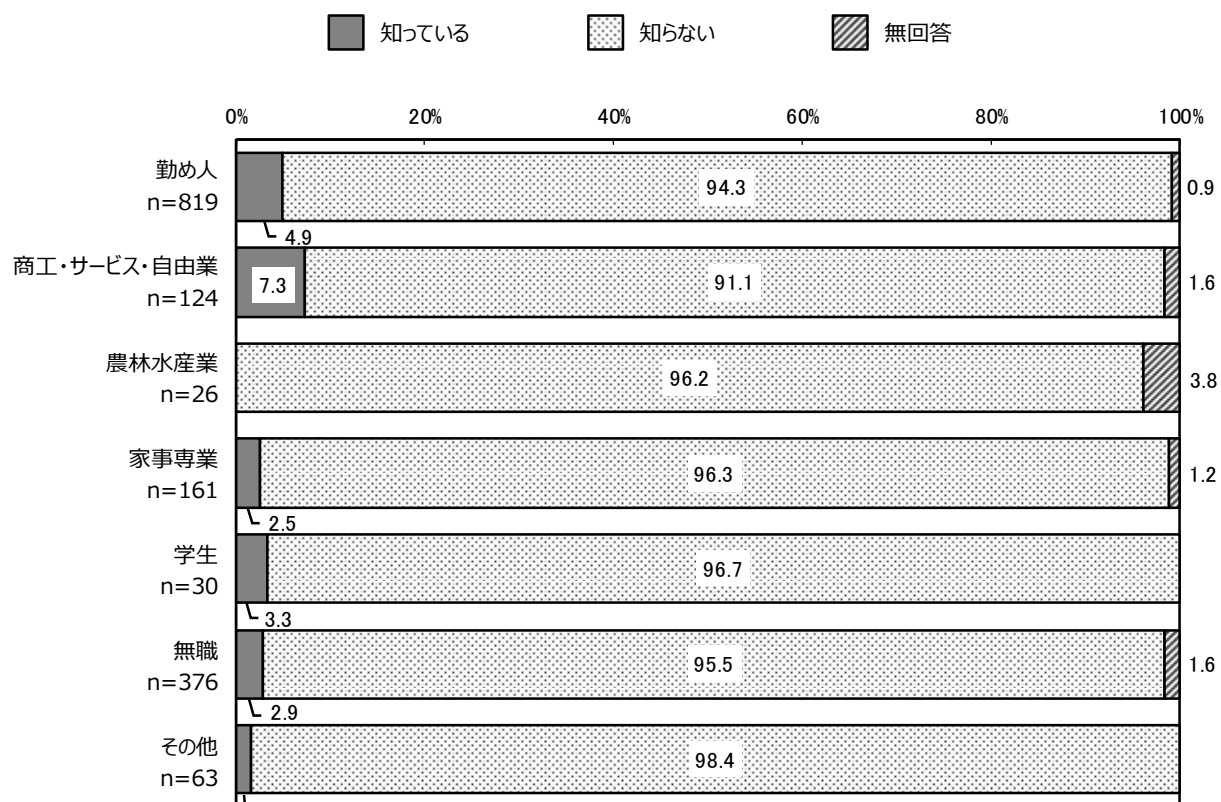
※2023（令和 5）年度までの調査では、「知っている」を「名称や内容も知っている」「名称だけは知っている」に、「知らない」を「名称も内容も知らない」にしていた。

- 「知っている」は 4.2% となり、「知らない」の 94.7% を 90.5 ポイント下回った。2024（令和 6）年度との比較では、「知っている」と比較すると、1.3 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「知っている」の割合は、40 歳代が 8.4% と最も高く、次いで 60 歳代が 5.9% となった。最も低い 70 歳以上が 2.2% となり、最も高い 40 歳代とは、6.2 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、商工・サービス・自由業が 7.3% と最も高く、次いで勤め人が 4.9% となった。最も低い農林水産業は 0.0% となり、最も高い商工・サービス・自由業とは、7.3 ポイントの差がみられた。
- 性別でみると、女性が 4.7% に対して、男性は 3.6% となり、1.1 ポイントの差がみられた。
- 家族数でみると、5 人が 6.9% と最も高く、次いで 1 人が 5.3% となった。最も低い 6 人以上が 2.2% となり、最も高い 5 人とは 4.7 ポイントの差がみられた。

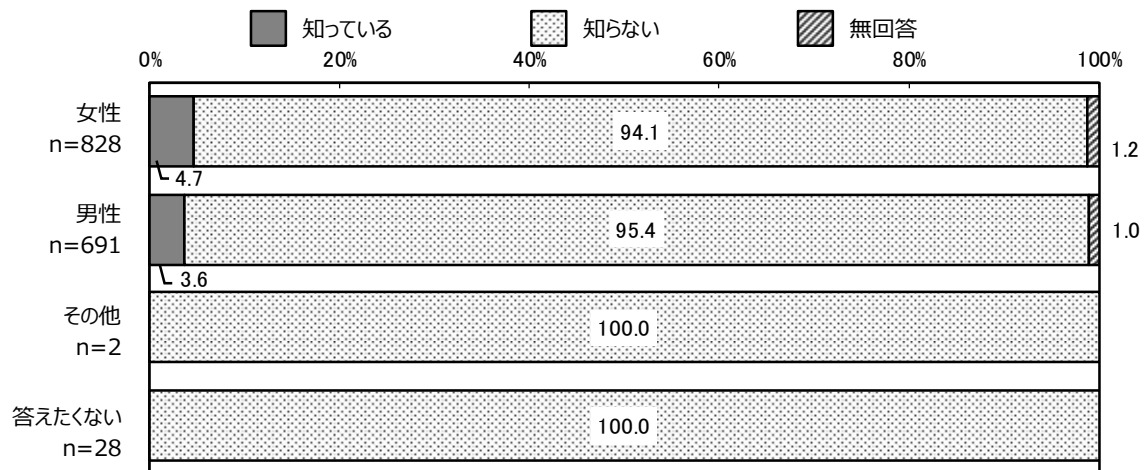
【年代別】



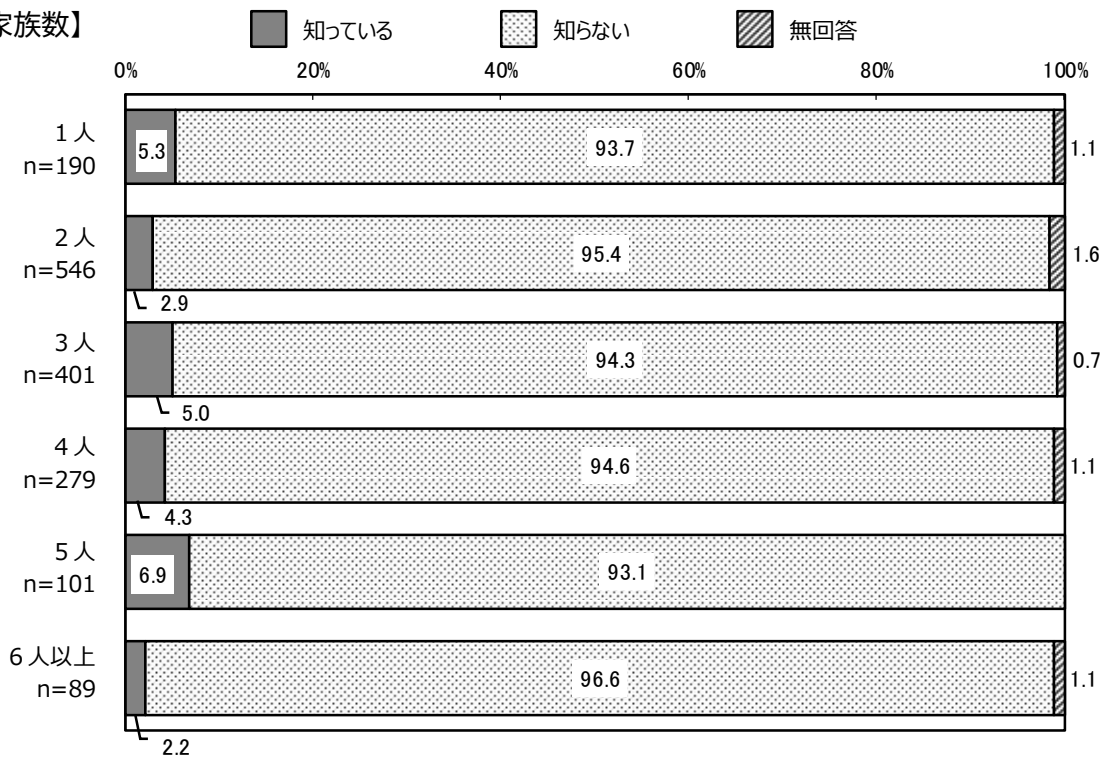
【職業別】



【性別】



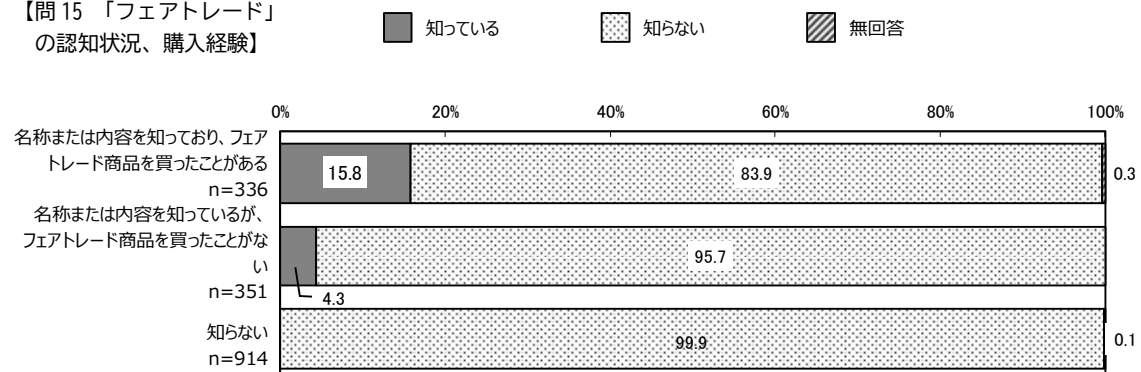
【家族数】



【問 15 と問 16 の設問間クロス集計】

【問 16 あなたは、浜松市が「フェアトレードタウン」であることをご存じですか】

【問 15 「フェアトレード」の認知状況、購入経験】



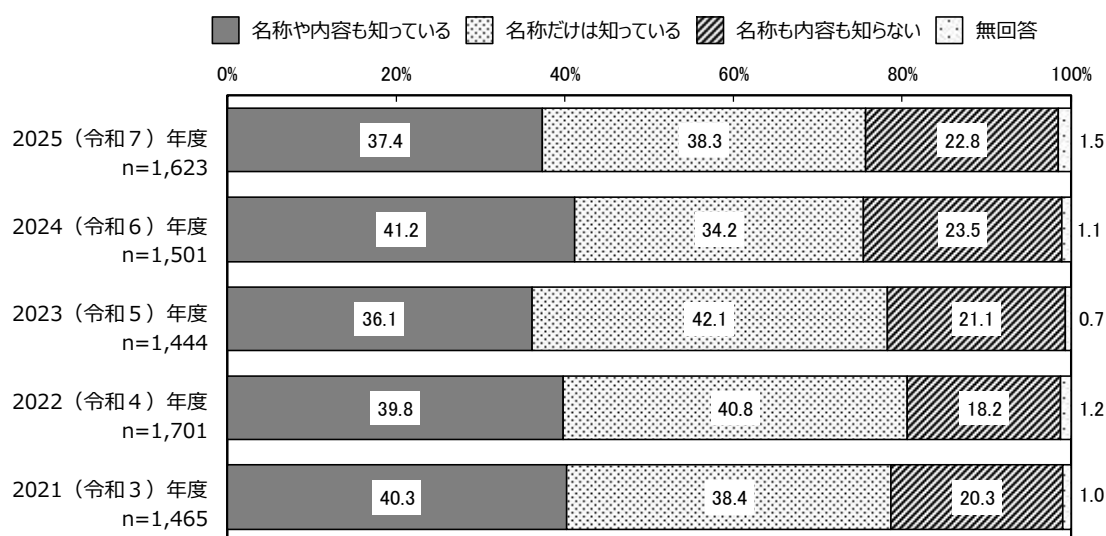
7 ユニバーサルデザイン・男女共同参画について

問 17 あなたは、「ユニバーサルデザイン※」を知っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

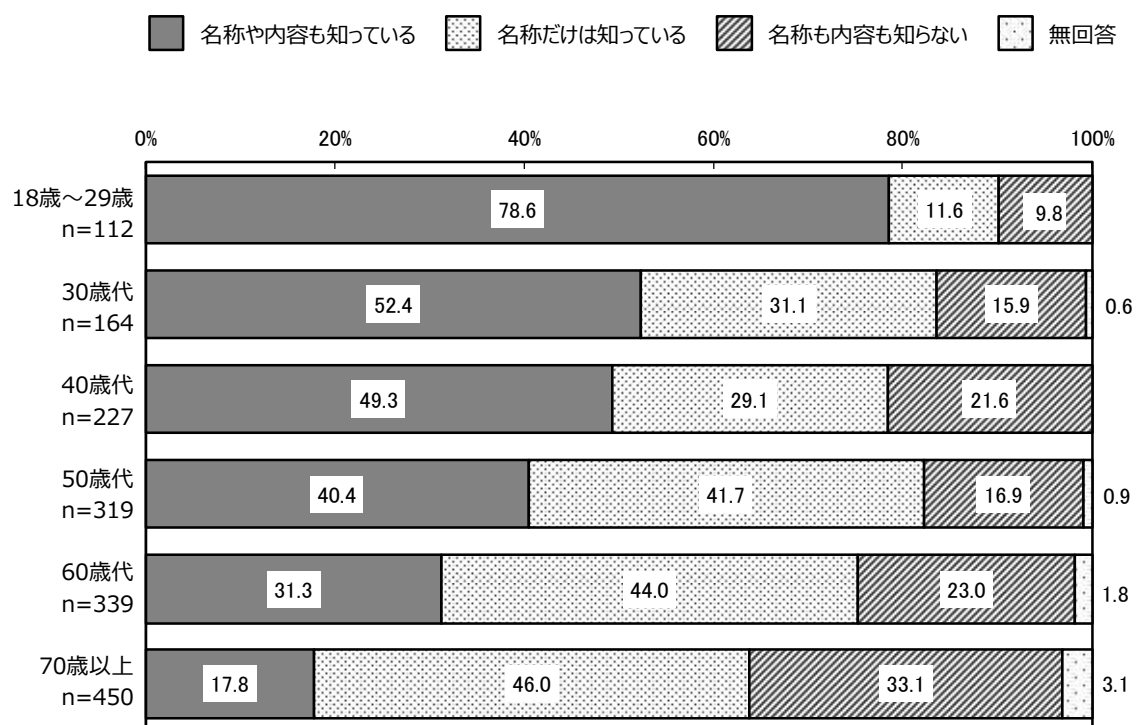
※ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全、安心で快適な暮らしができるように「人づくり」や「ものづくり」、「環境づくり」を行っていかようとする考え方のことです。

「ユニバーサルデザイン」を『知っている』人は 75.7%

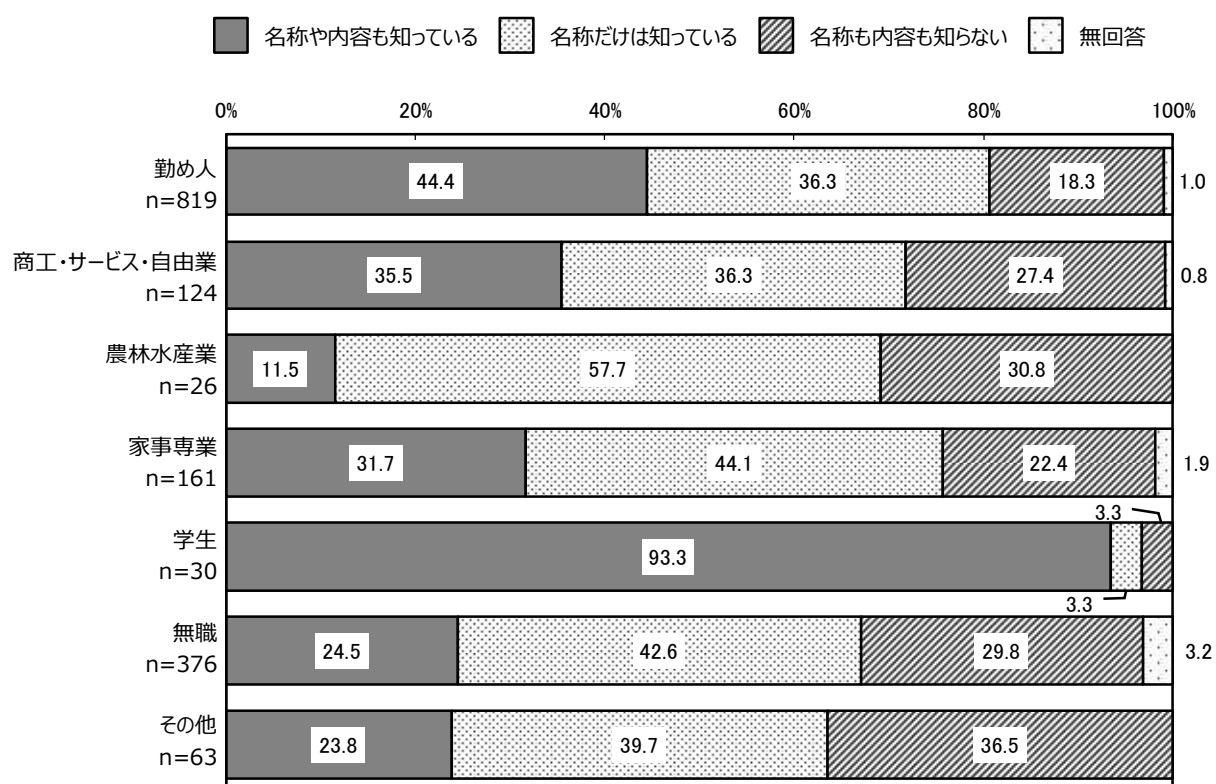


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 75.7% となり、「名称も内容も知らない」の 22.8% を 52.9 ポイント上回った。2024 (令和6) 年度との比較では、『知っている』は 0.3 ポイント増加した。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、18 歳～29 歳が 90.2% と最も高く、次いで 30 歳代が 83.5% となった。最も低い 70 歳以上が 63.8% となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、26.4 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『知っている』の割合は、学生が 96.6% と最も高く、次いで勤め人が 80.7%、家事専業が 75.8% となった。最も低い無職が 67.1% となり、最も高い学生とは 29.5 ポイントの差がみられた。

【年代別】

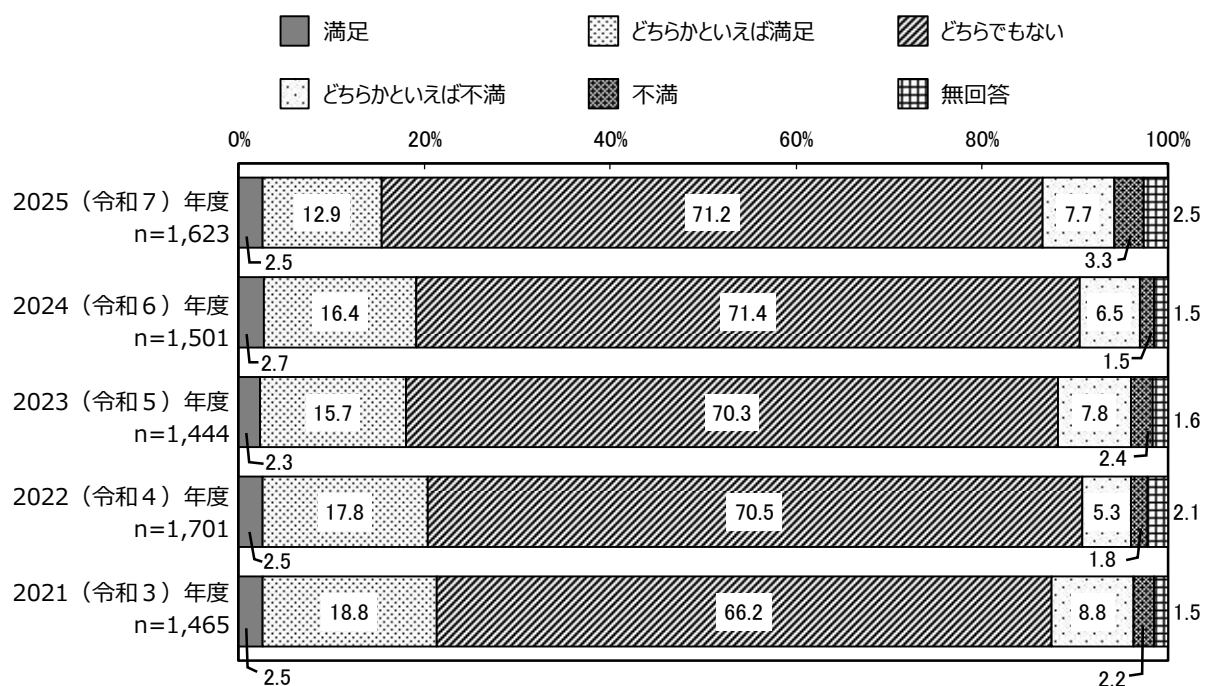


【職業別】



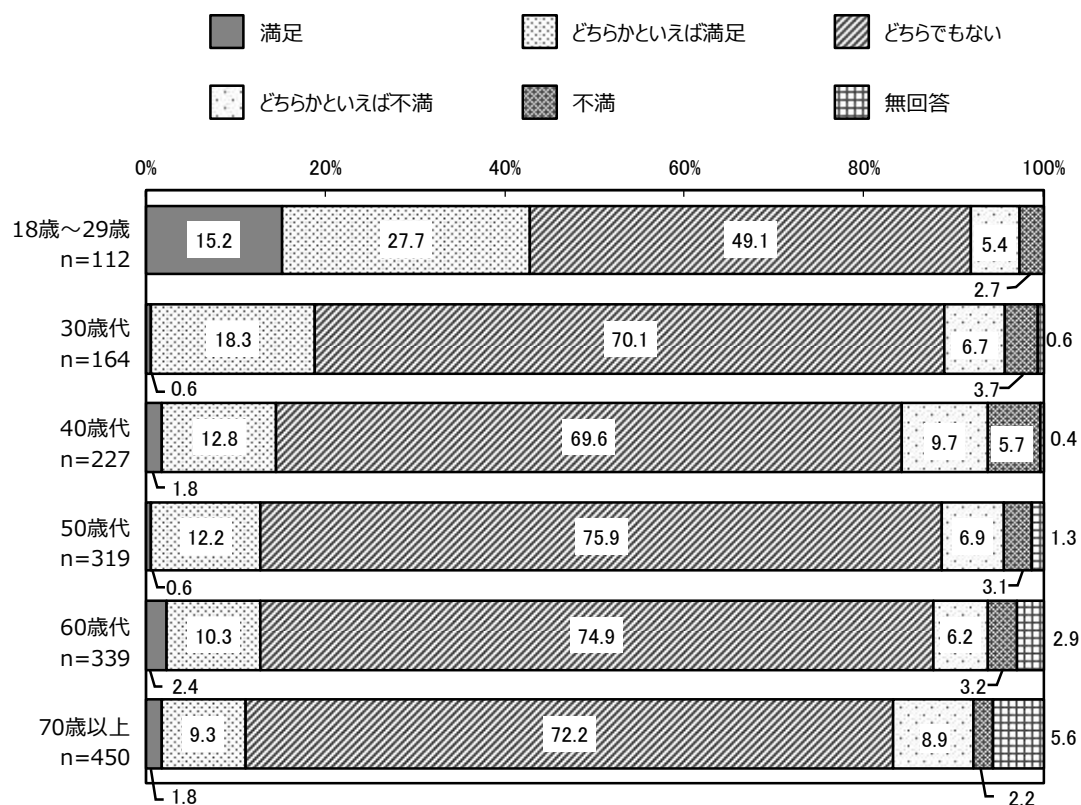
問 18 あなたは、浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくりについてどのように感じていますか。（1 つだけ○を付けてください）

浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくりについて『満足している』人は 15.4%

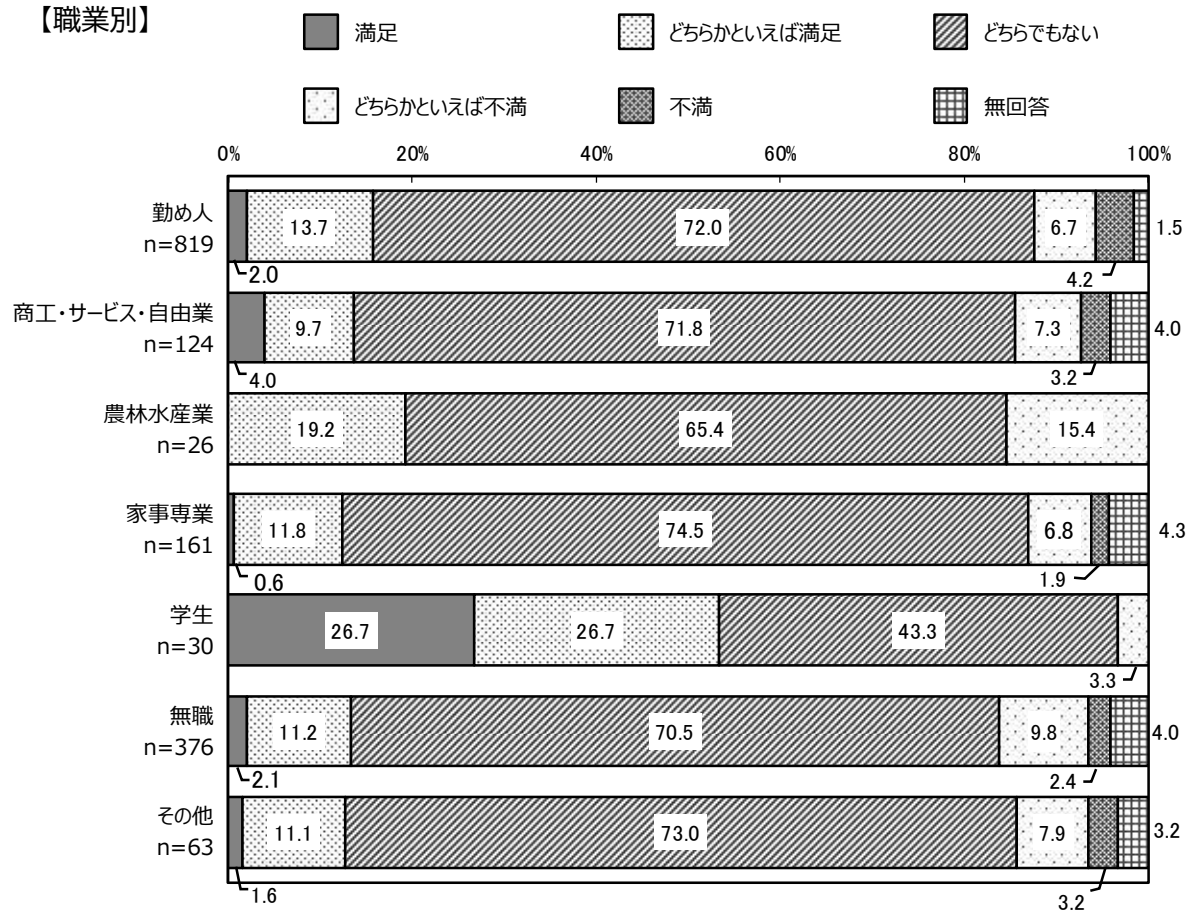


- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は 15.4%となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は 11.0%となり、『満足している』が『不満である』を 4.4 ポイント上回った。一方で「どちらでもない」は 71.2%を占めた。
- 年代別でみると、『満足している』の割合は、18 歳～29 歳が 42.9%と最も高く、次いで 30 歳代が 18.9%となった。最も低い 70 歳以上が 11.1%となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、31.8 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『満足している』の割合は、学生が 53.4%と最も高く、次いで農林水産業が 19.2%となった。最も低い家事専業が 12.4%となり、最も高い学生とは、41.0 ポイントの差がみられた。

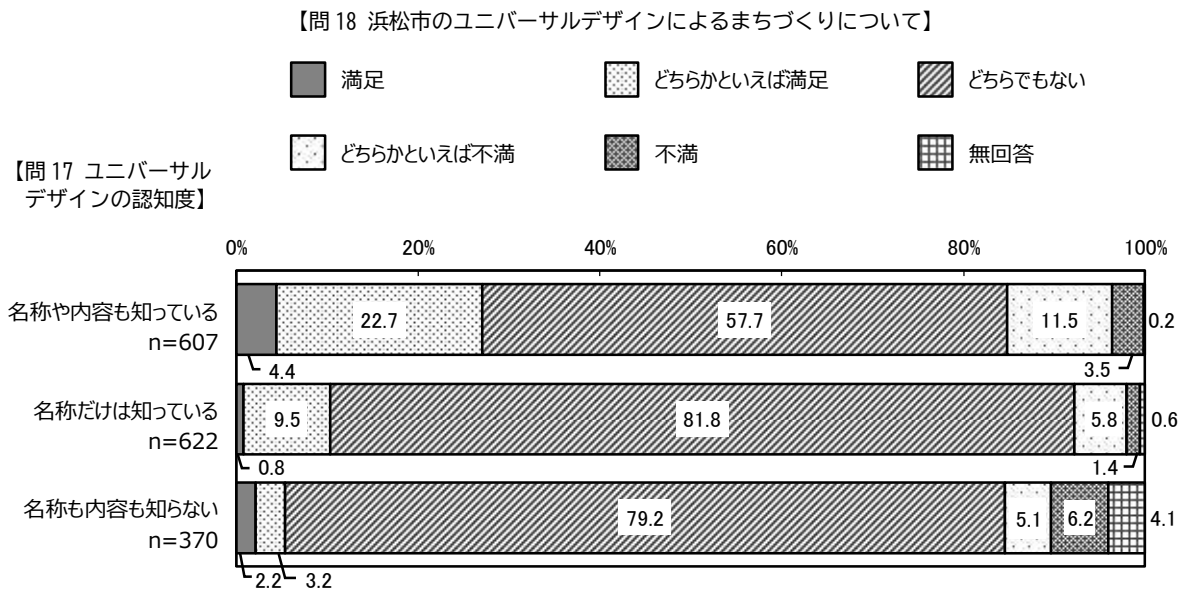
【年代別】



【職業別】



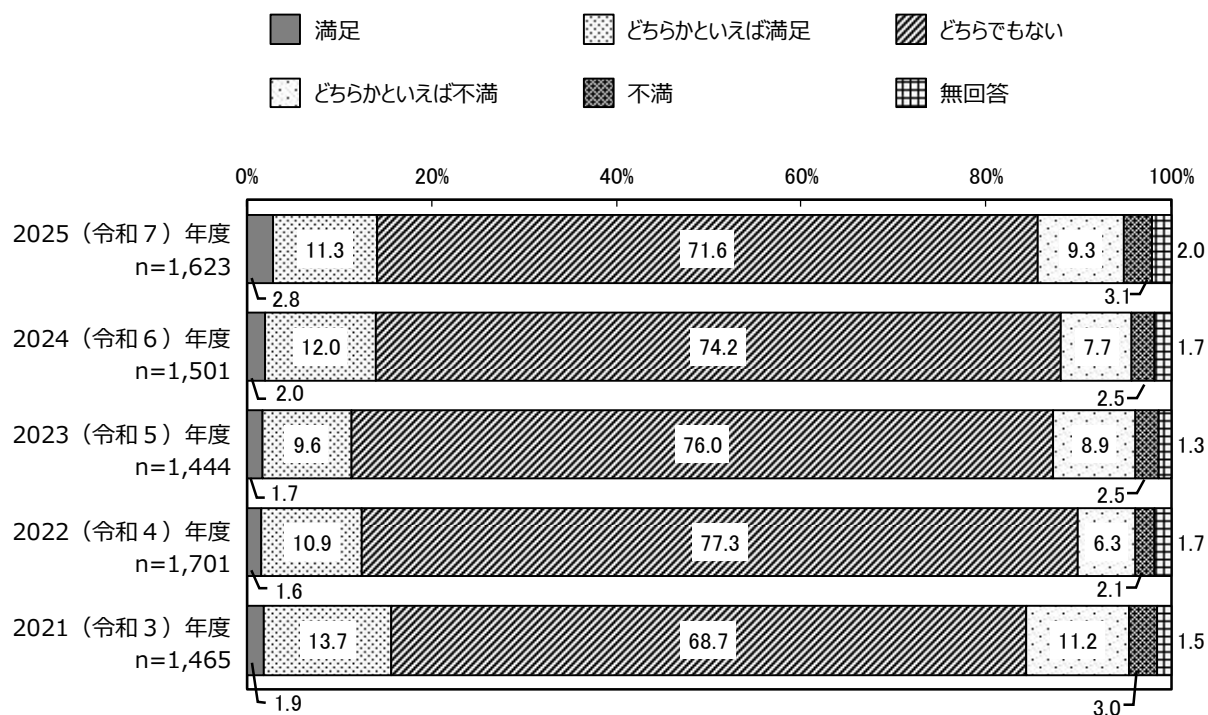
【問 17 と問 18 の設問間クロス集計】



問 19 あなたは、浜松市の「男女共同参画社会※」の実現に向けた取り組みについてどのように感じていますか。（1つだけ○を付けてください）

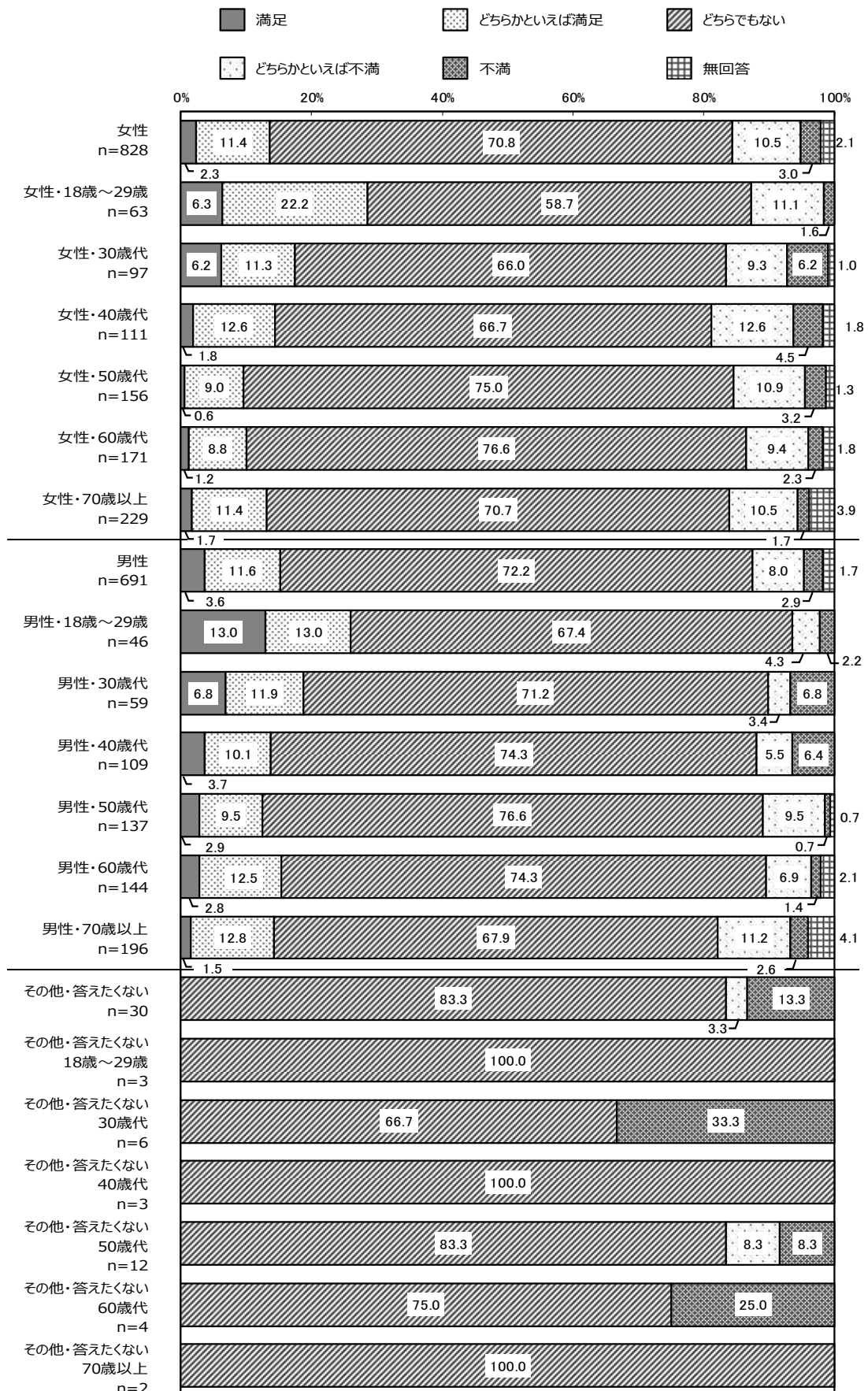
※「男女共同参画社会」とは、男女がともに、対等の立場で、自らの意志によって社会のあらゆる分野に参画できる社会のことです。

浜松市の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて『満足している』人は14.1%



- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は14.1%となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は12.4%となり、『満足している』が『不満である』を1.7ポイント上回った。一方で「どちらでもない」は71.6%を占めた。2024（令和6）年度との比較では、『満足している』は0.1ポイント増加、『不満である』は2.2ポイント増加、「どちらでもない」は2.6ポイント減少となった。
- 性年代別でみると、『満足している』は女性では18歳～29歳が28.5%、男性では18歳～29歳が26.0%と他の年代よりも高く、同じ18歳～29歳では女性の方が男性よりも2.5ポイント高かった。女性では18歳～29歳から50歳代にかけて、男性では18歳～29歳から50歳代にかけて、年齢が高くなるほど『満足している』割合が下がった。

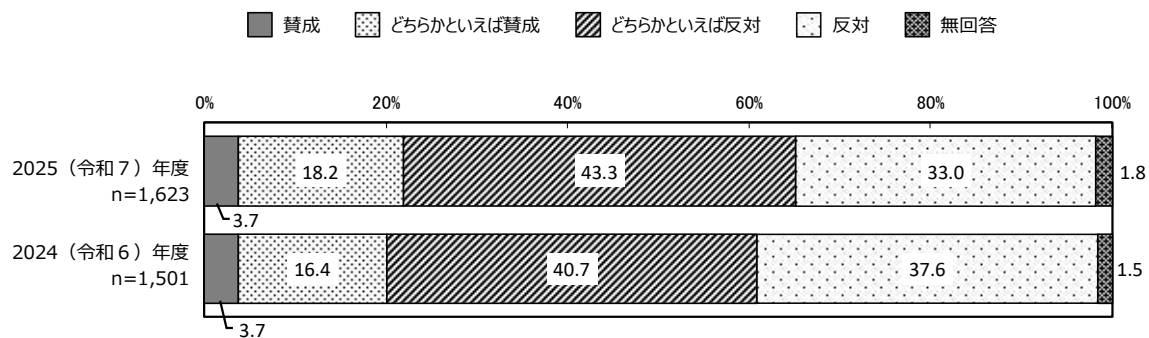
【性年代別】



問 20 男女共同参画に関わる意識の変化についてお聞きます。

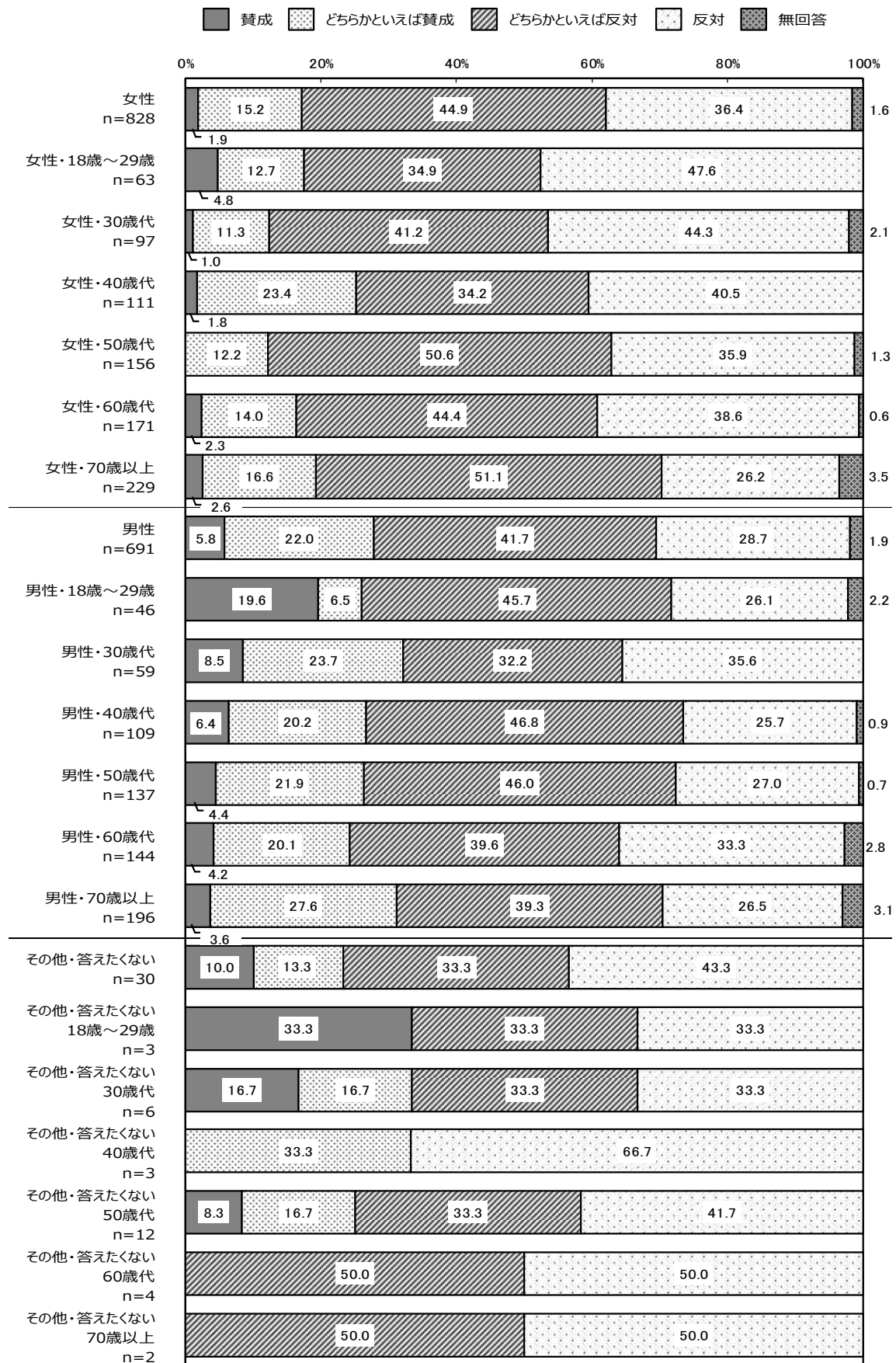
あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか。（1つだけ○を付けてください）

男女の役割を固定的に考えることについて『反対している』人は 76.3%



- 「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた『反対している』は 76.3%となり、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成している』の 21.9%を 54.4 ポイント上回った。
- 性年代別でみると、『反対している』は女性では 50 歳代が 86.5%、男性では 50 歳代が 73.0%で他の年代と比較して最も高かった。一方で、『賛成している』は女性では 40 歳代が 25.2%、男性では 30 歳代が 32.2%で他の年代と比較して最も高かった。

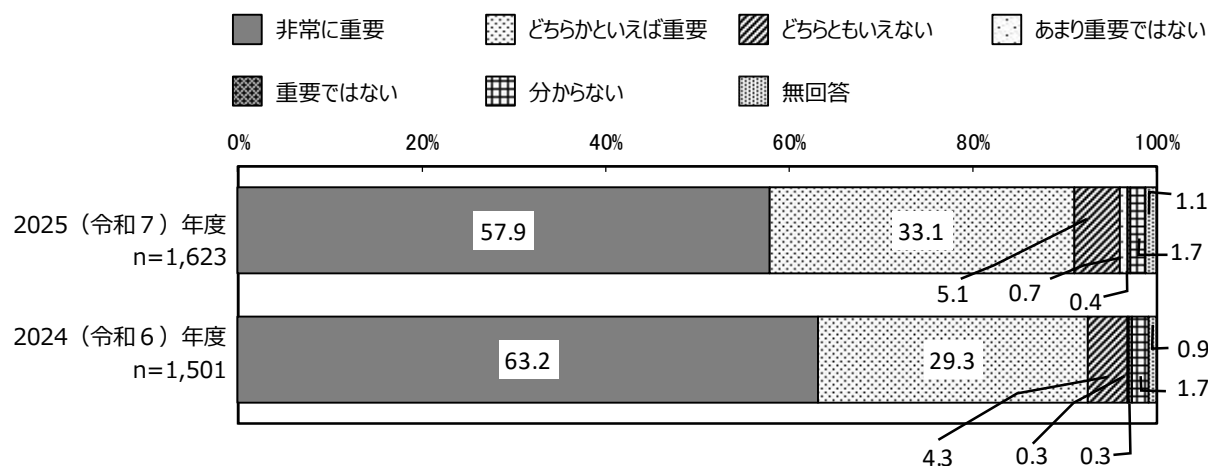
【性年代別】



8 人権について

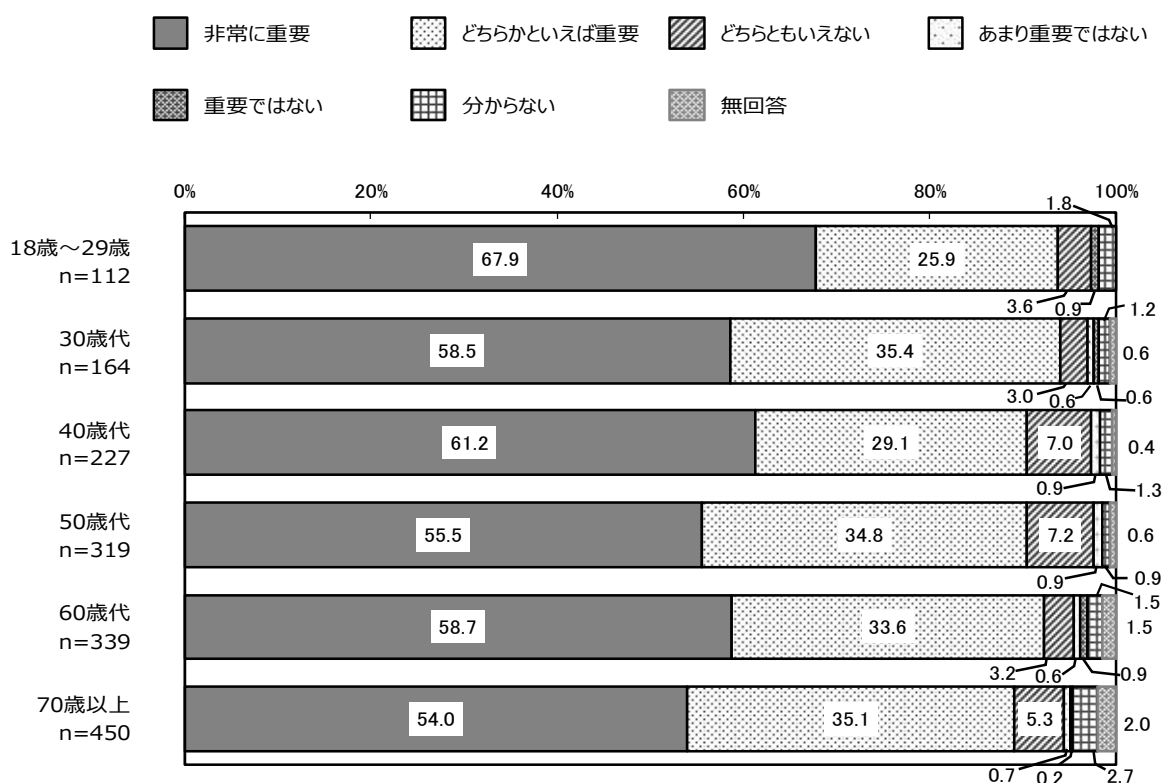
問 21 あなたは、人権を尊重することは重要だと思いますか。(1つだけ○を付けてください)

人権を尊重することは『重要である』と思う人は 91.0%

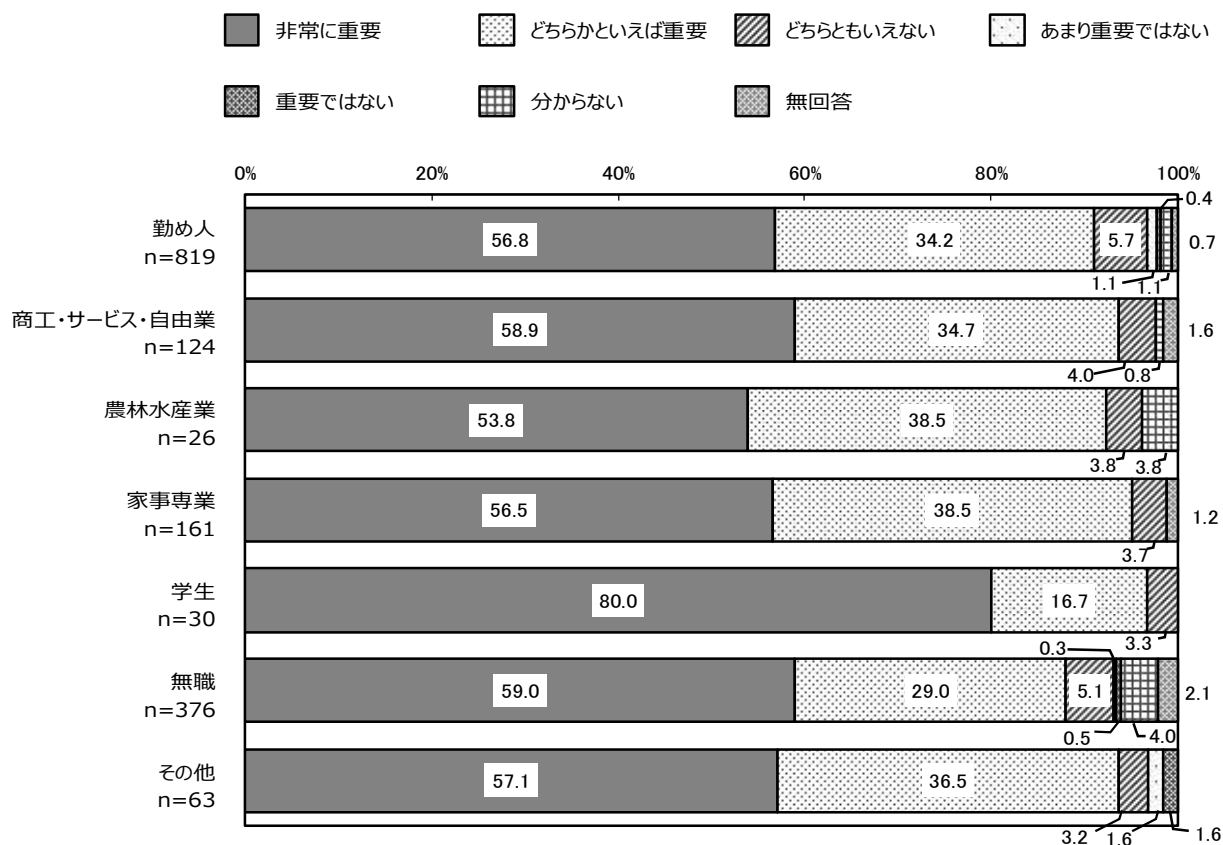


- 「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要である』は 91.0%となり、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要でない』は 1.1%であった。2024 (令和6) 年度との比較では、『重要である』は 1.5 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『重要である』と回答した割合は、30 歳代が 93.9%と最も高くなった。最も低い 70 歳以上が 89.1%となり、最も高い 30 歳代とは 4.8 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「非常に重要」と回答した割合は、学生が 80.0%と最も高く、最も低い農林水産業の 53.8%と 26.2 ポイントの差がみられた。

【年代別】

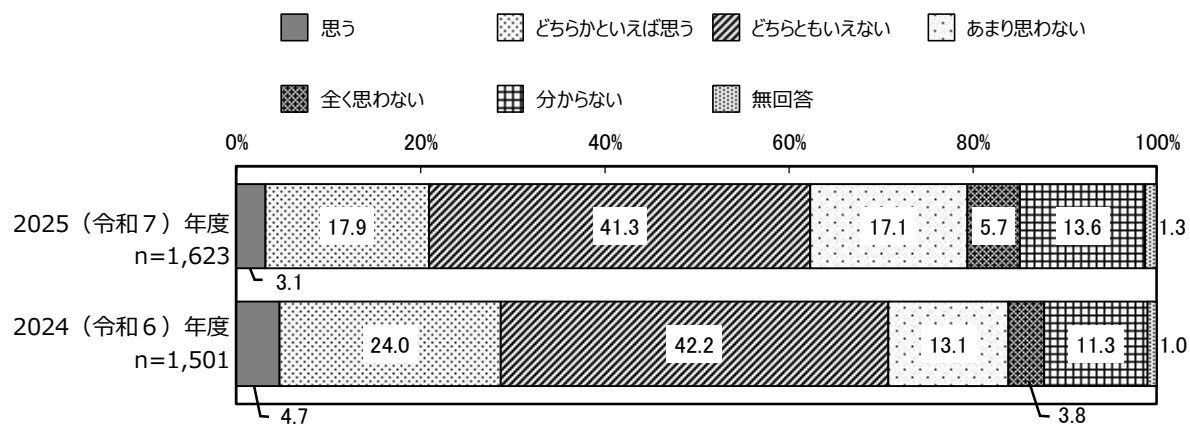


【職業別】



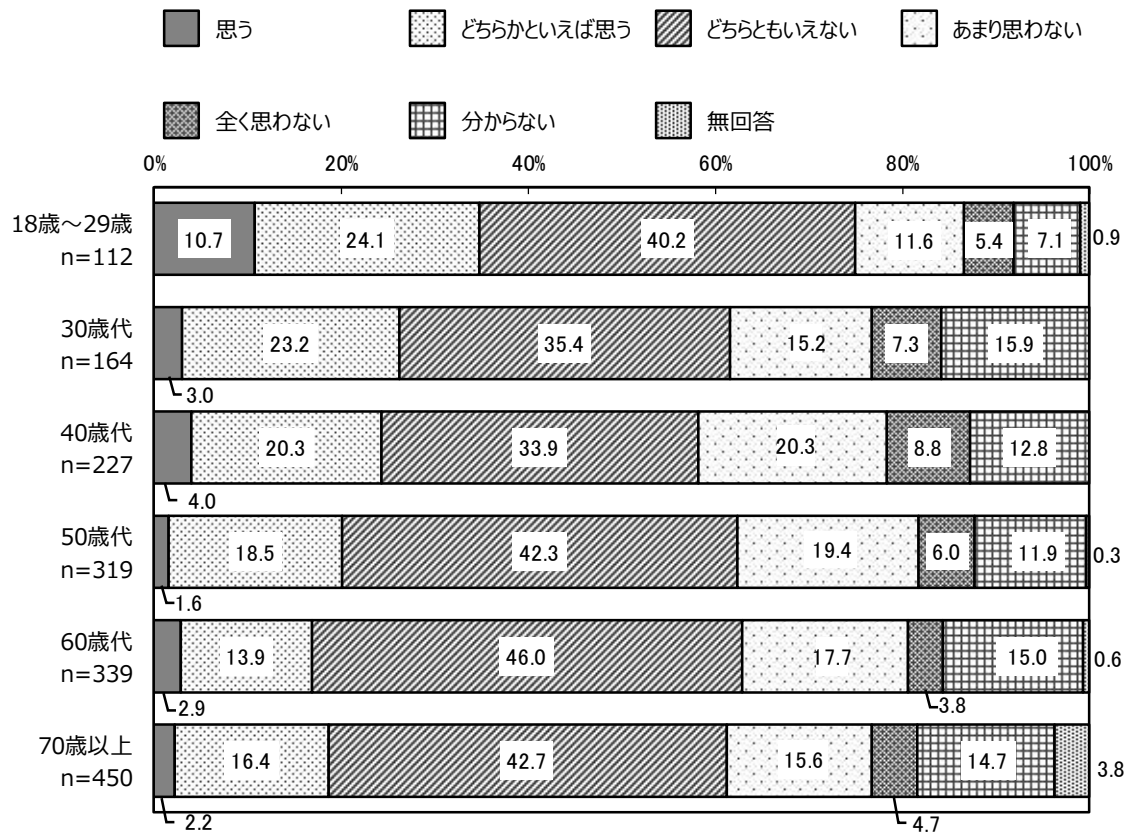
問 22 あなたは、浜松市は人権尊重の意識が生活に定着していると思いますか。
(1 つだけ○を付けてください)

人権尊重の意識が生活に『定着している』と思う人は 21.0%

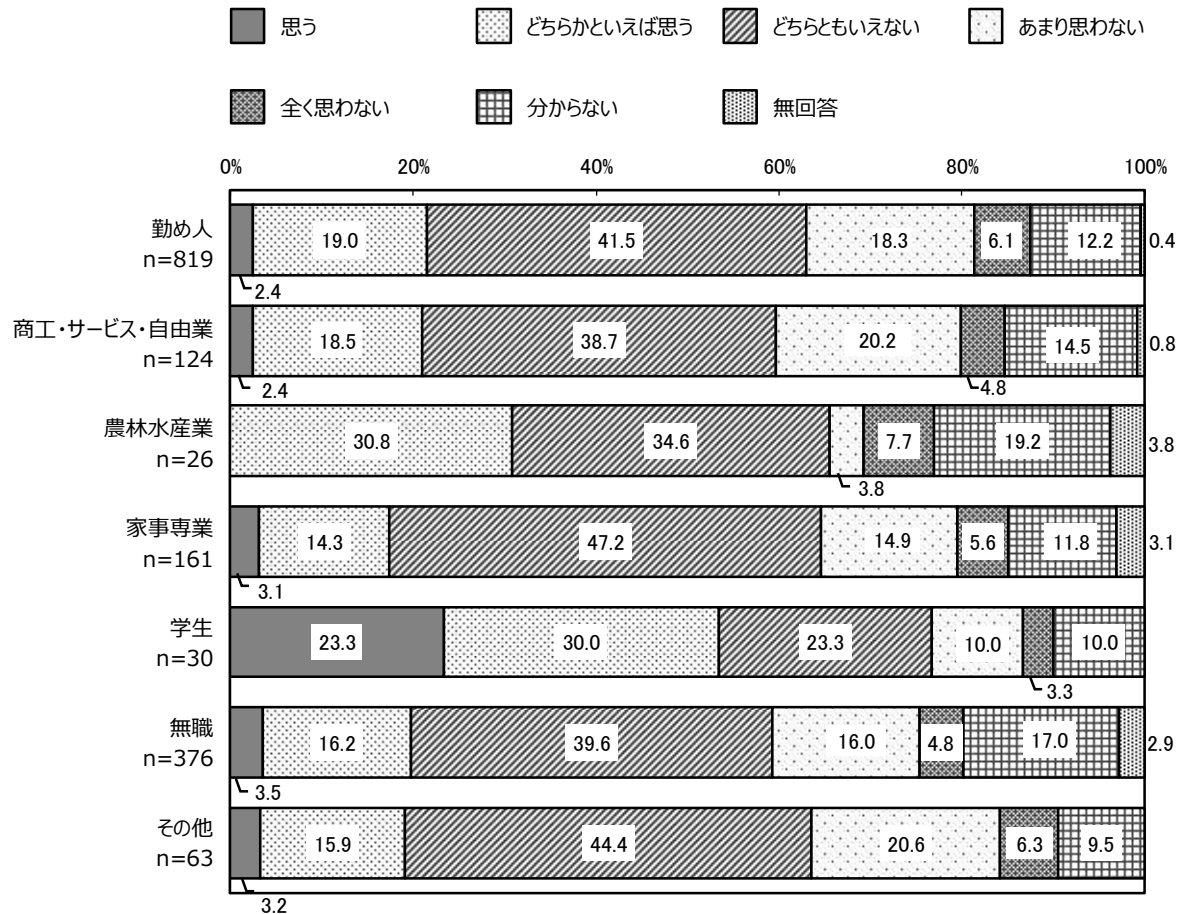


- 「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『定着している』は 21.0% となり、「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた『定着していない』の 22.8% を 1.8 ポイント下回った。2024 (令和6) 年度との比較では、『定着している』は 7.7 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『定着している』の割合は、18 歳～29 歳が 34.8% と最も高く、次いで 30 歳代が 26.2% となった。最も低い 60 歳代が 16.8% となり、最も高い 18 歳～29 歳とは、18.0 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『定着している』の割合は、学生が 53.3% と最も高くなり、最も低い家事専門の 17.4% と 35.9 ポイントの差がみられた。

【年代別】

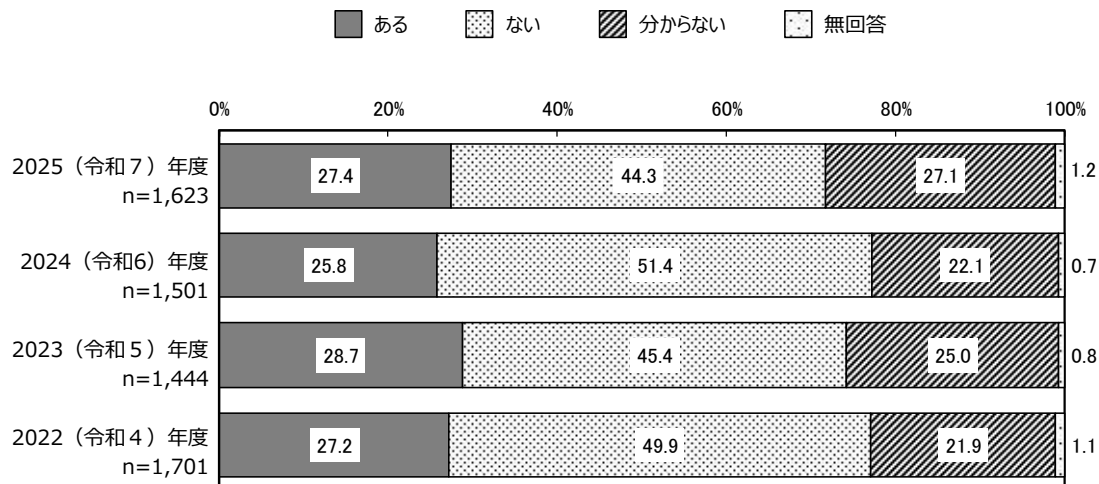


【職業別】



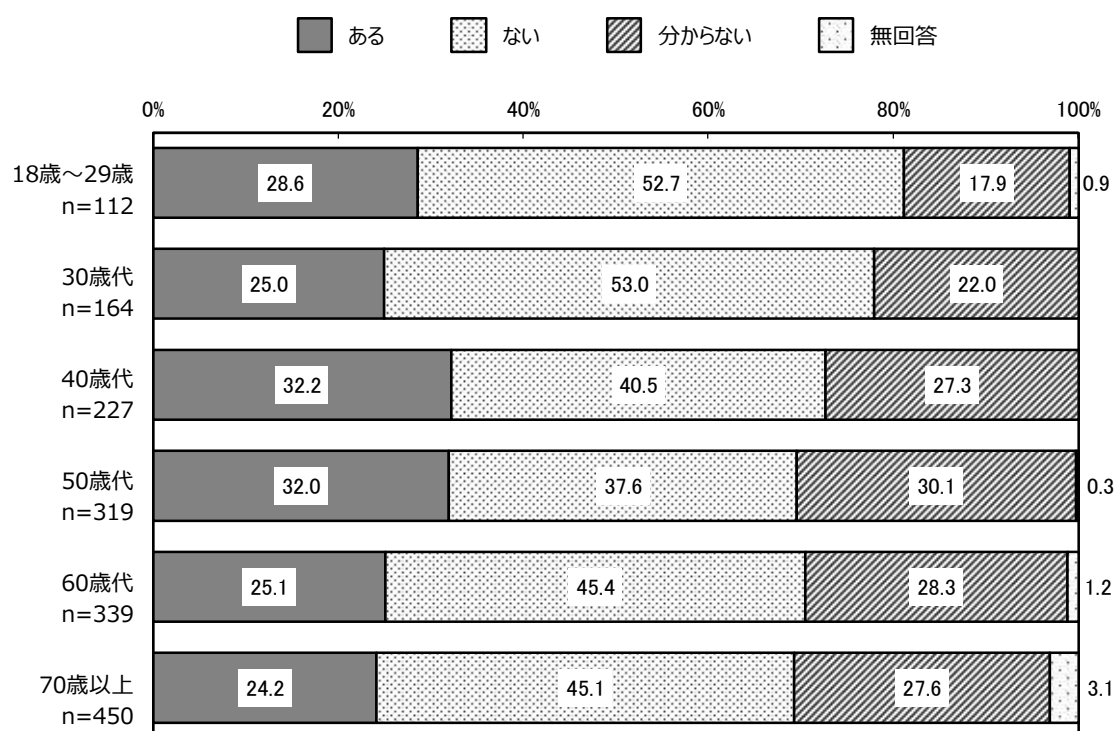
問 23 あなたは、日常生活の中で、あなた自身またはあなたの周りの方（家族や友人、職場の同僚など）の人権が侵害されたと感じたことはありますか。
（1つだけ○を付けてください）

日常生活の中で、人権が侵害されたと感じたことが「ある」人は 27.4%

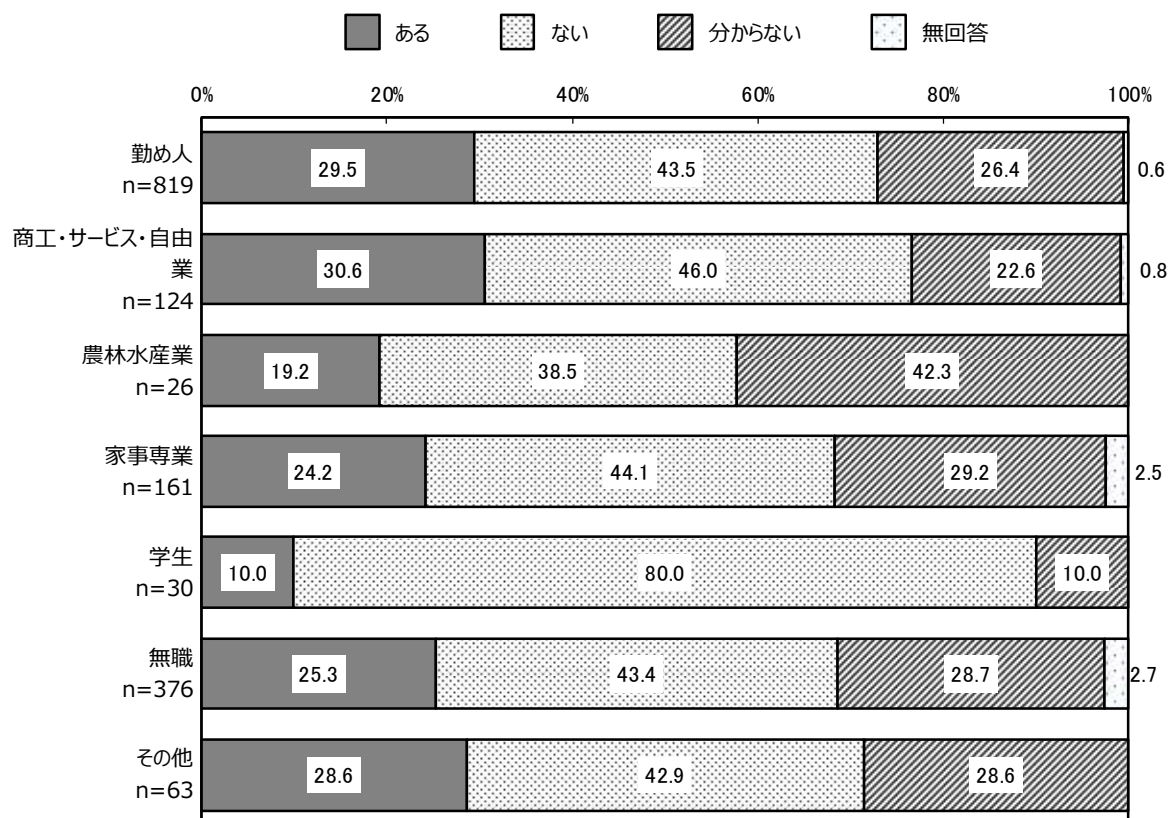


- 人権が侵害されたと感じたことは「ない」が 44.3%と最も高く、次いで「ある」が 27.4%、「分からない」が 27.1%となった。2024 (令和6) 年度との比較では、「ある」が 1.6 ポイント増加、「ない」が 7.1 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「ある」と回答した割合は 40 歳代の 32.2%が最も高く、次いで 50 歳代の 32.0%となった。「ない」と回答した割合は 30 歳代の 53.0%が最も高い。
- 職業別でみると、「ある」は商工・サービス・自由業が 30.6%と最も高くなっている。「ない」と回答した割合は学生の 80.0%が最も高い。

【年代別】



【職業別】

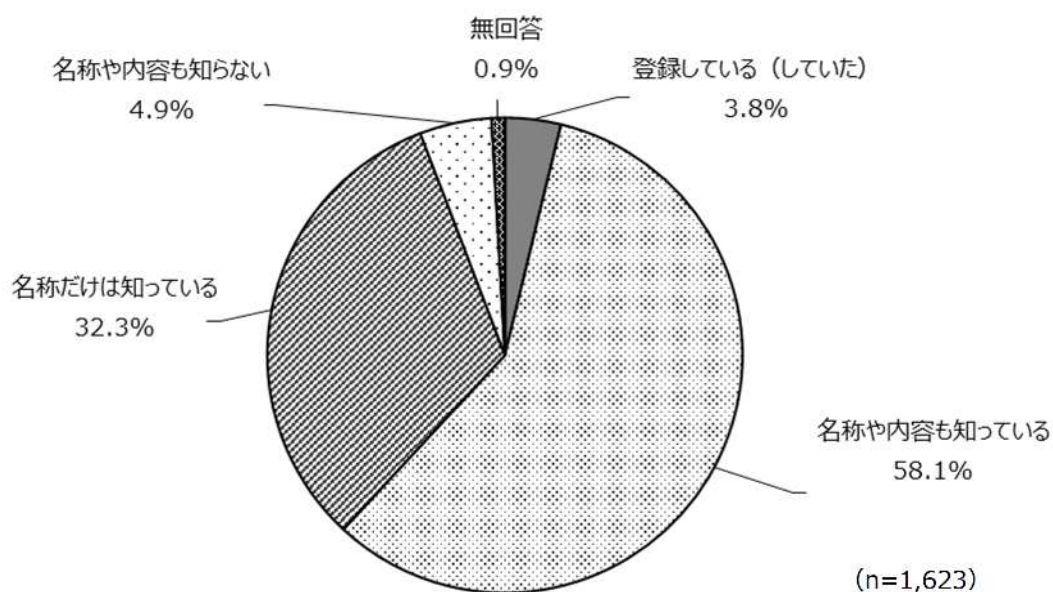


9 骨髄移植推進補助金制度について

問 24 あなたは、「骨髄バンク制度※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

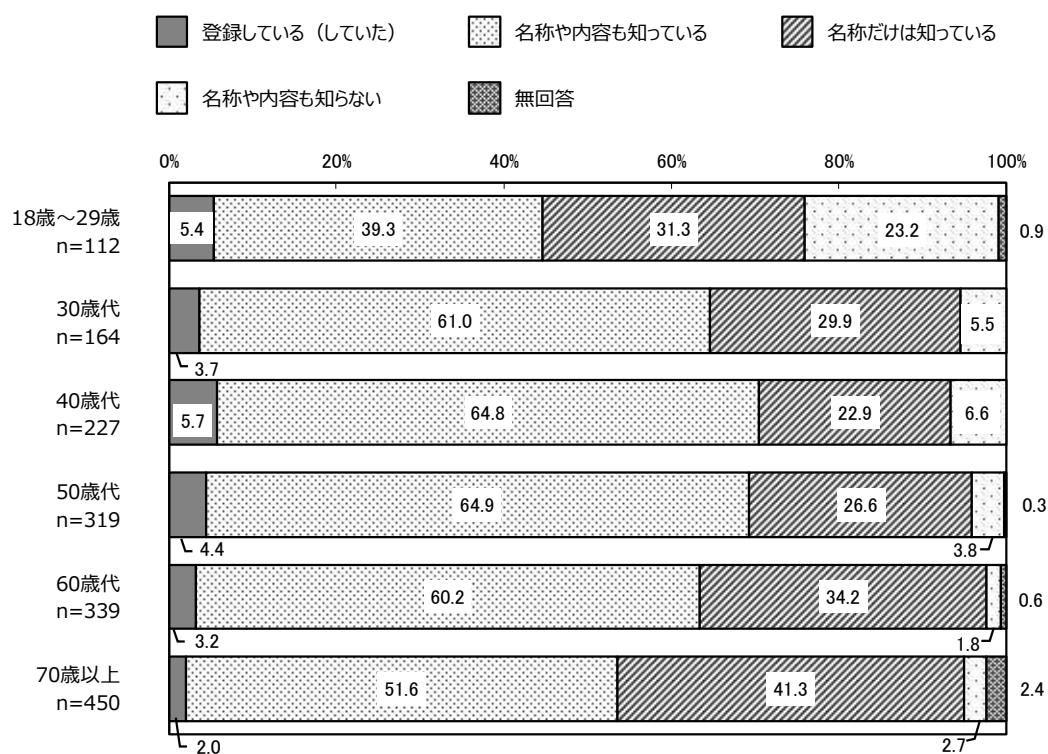
※「骨髄バンク制度」とは、白血病をはじめとする血液疾患のため骨髄移植等の造血幹細胞移植が必要な患者さんとそれを提供するドナーをつなぐ制度です。

骨髄バンク制度を「知っている」人は 94.2%

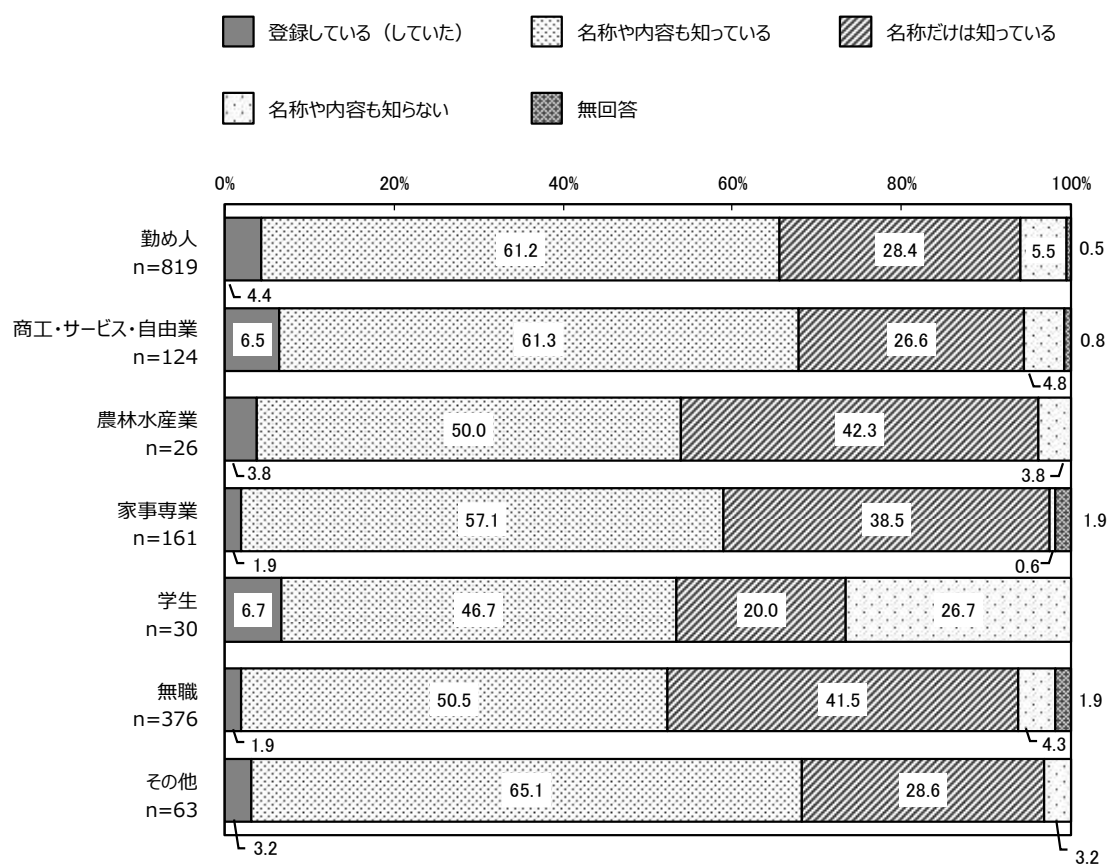


- 「登録している（していた）」と「名称や内容も知っている」、「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 94.2%となり、『名称や内容も知らない』の 4.9%を 89.3 ポイント上回った。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、60 歳代が 97.6%と最も高く、次いで 50 歳代が 95.9%となった。最も低い 18 歳～29 歳が 76.0%となり、最も高い 60 歳代とは、21.6 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『知っている』の割合は、家事専業が 97.5%と最も高くなり、最も低い学生の 73.4%と 24.1 ポイントの差がみられた。

【年代別】



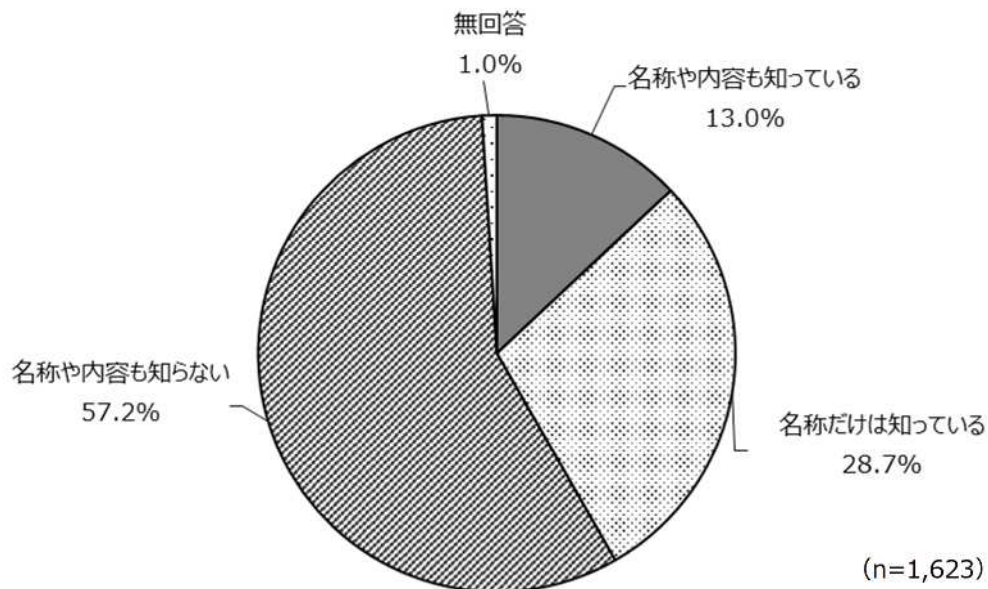
【職業別】



問 25 あなたは、「ドナー休暇制度※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

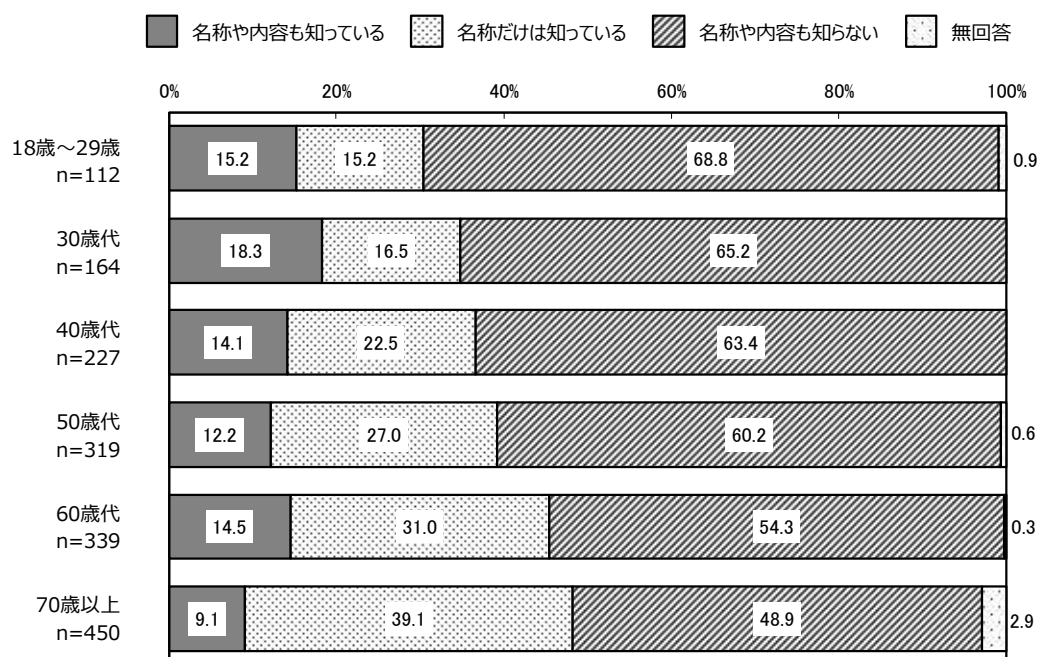
※「ドナー休暇制度」とは、骨髄等を提供するために必要な通院及び入院のための休暇を、ドナー自身の有給休暇ではなく特別休暇として認める制度です。

ドナー休暇制度を「知っている」人は 41.7%

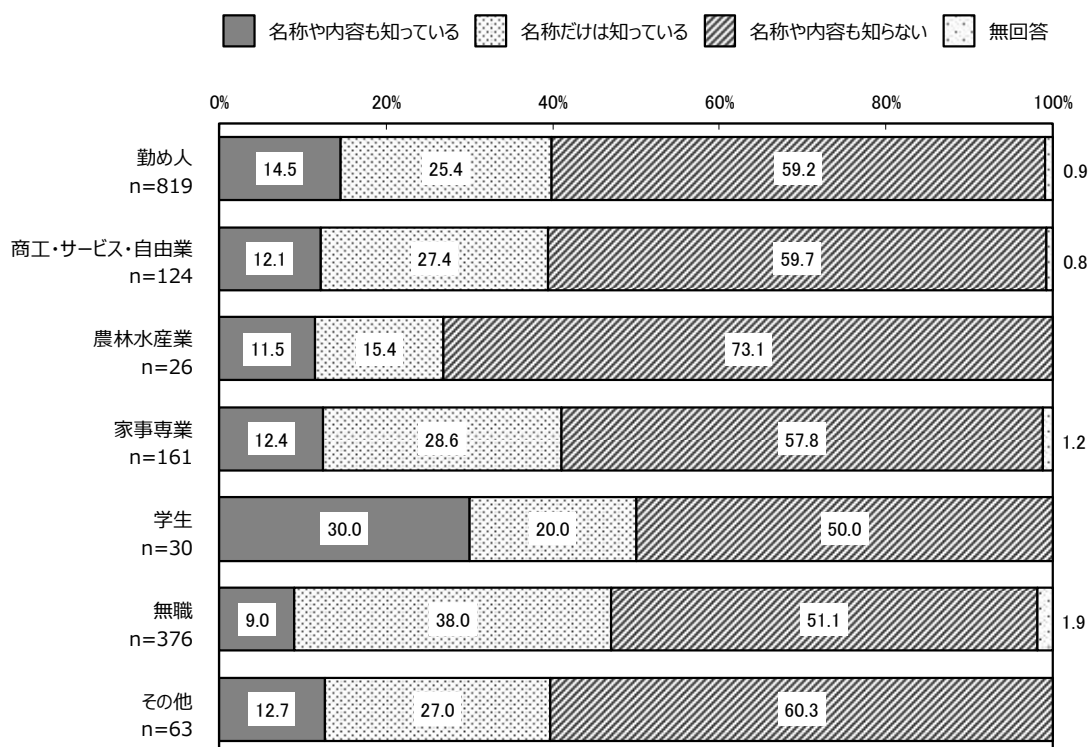


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 41.7% となり、『名称や内容も知らない』の 57.2% を 15.5 ポイント下回った。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、70 歳以上が 48.2% と最も高く、次いで 60 歳代が 45.5% となった。最も低い 18 歳～29 歳が 30.4% となり、最も高い 70 歳以上とは、17.8 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『知っている』の割合は、学生が 50.0% と最も高くなり、最も低い農林水産業の 26.9% と 23.1 ポイントの差がみられた。

【年代別】

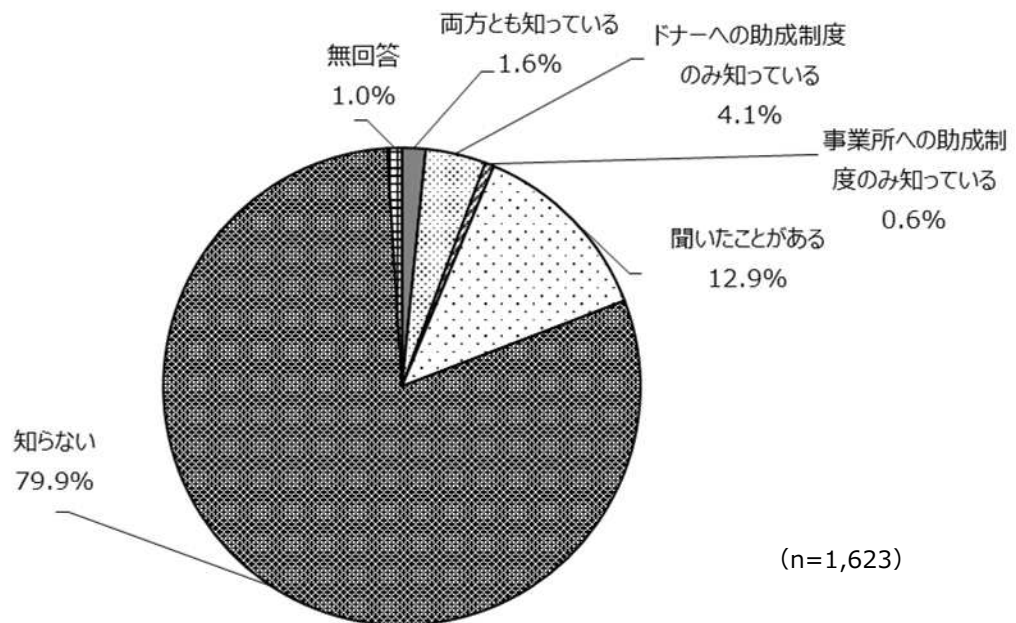


【職業別】



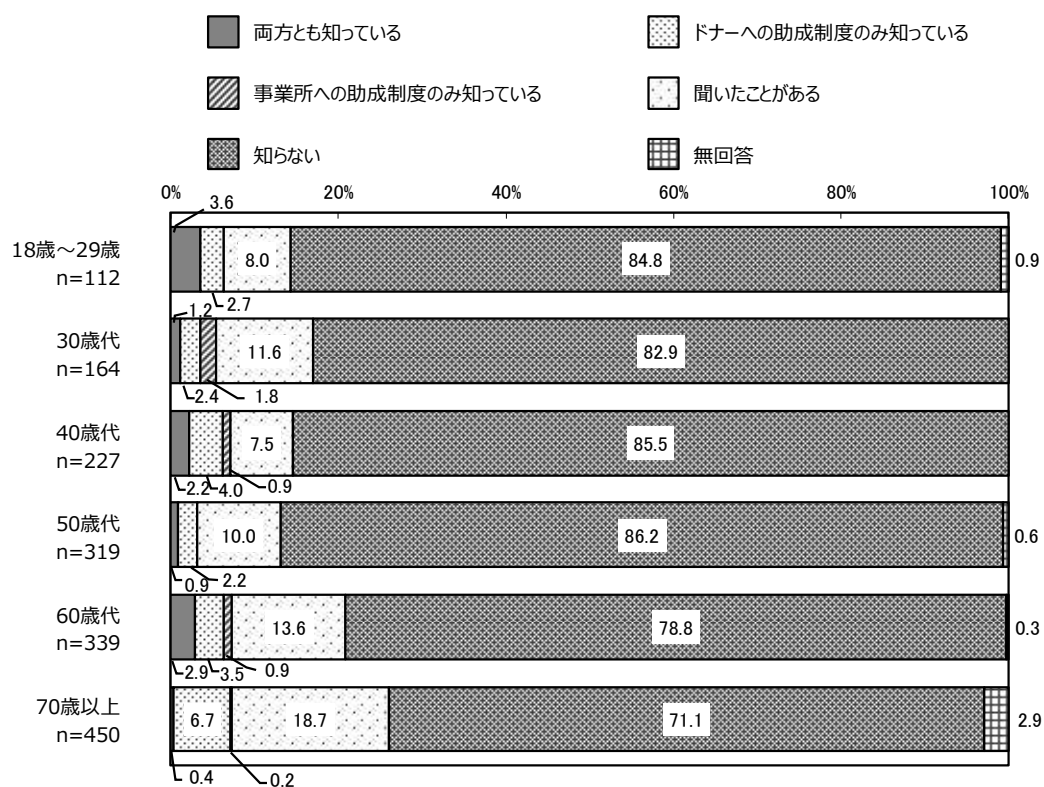
問 26 あなたは、浜松市がドナー及びドナーの勤務する事業所の両方に助成制度があることを
ご存じですか。（1 つだけ○を付けてください）

助成制度を「知っている」人は 19.2%

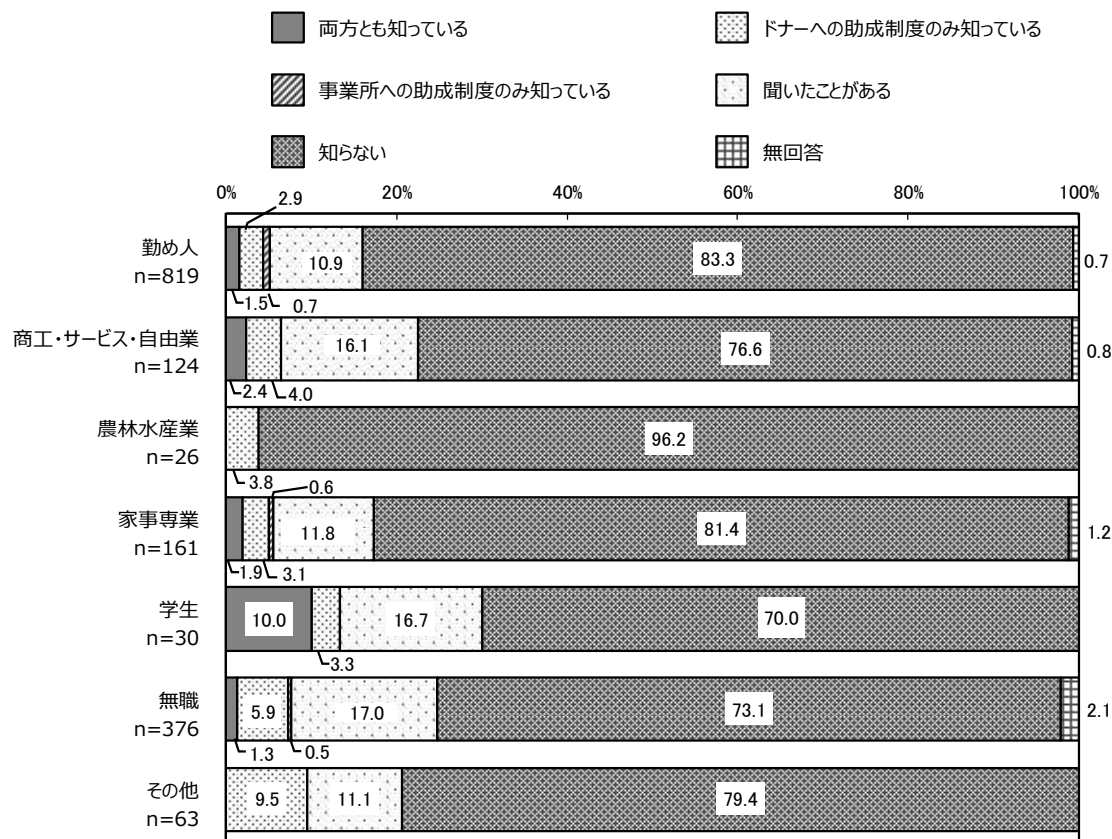


- 「両方とも知っている」と「ドナーへの助成制度のみ知っている」、「事業所への助成制度のみ知っている」、「聞いたことがある」を合わせた『知っている』は 19.2% となり、『知らない』の 79.9% を 60.7 ポイント下回った。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、70 歳以上が 26.0% と最も高く、次いで 60 歳代が 20.9% となった。最も低い 50 歳代が 13.1% となり、最も高い 70 歳以上とは、12.9 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、『知っている』の割合は、学生が 30.0% と最も高くなり、最も低い農林水産業の 3.8% と 26.2 ポイントの差がみられた。

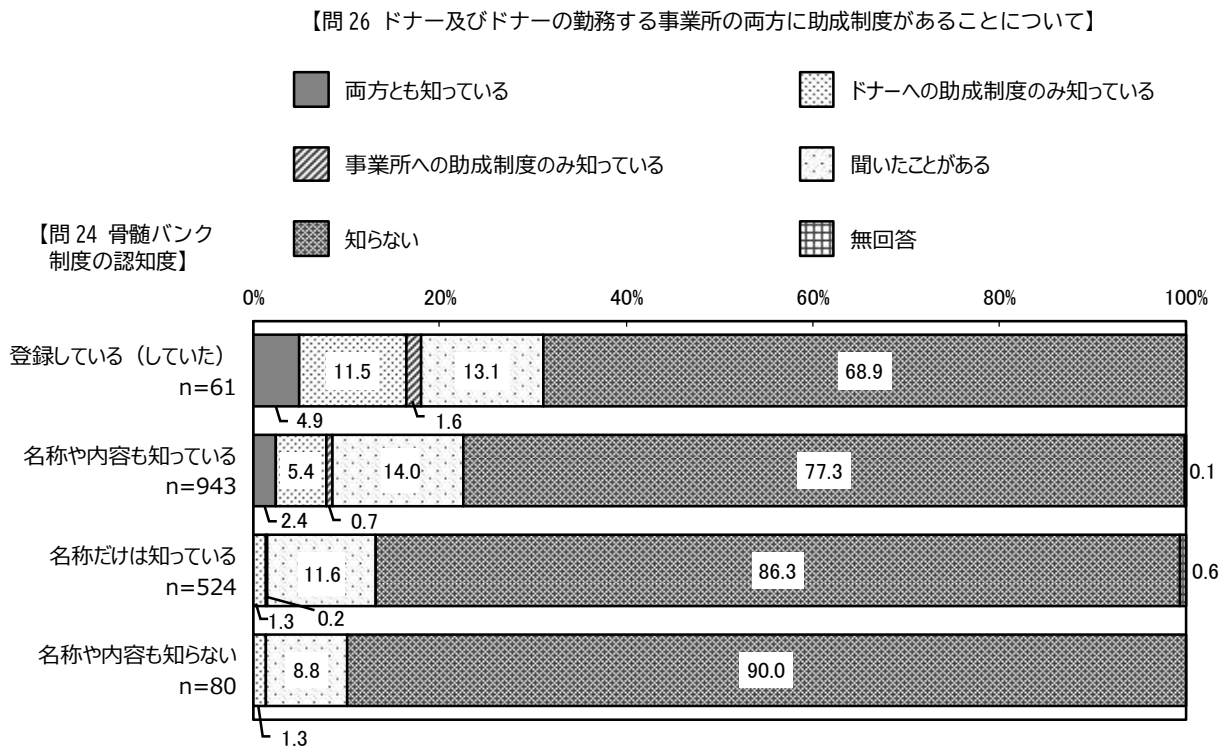
【年代別】



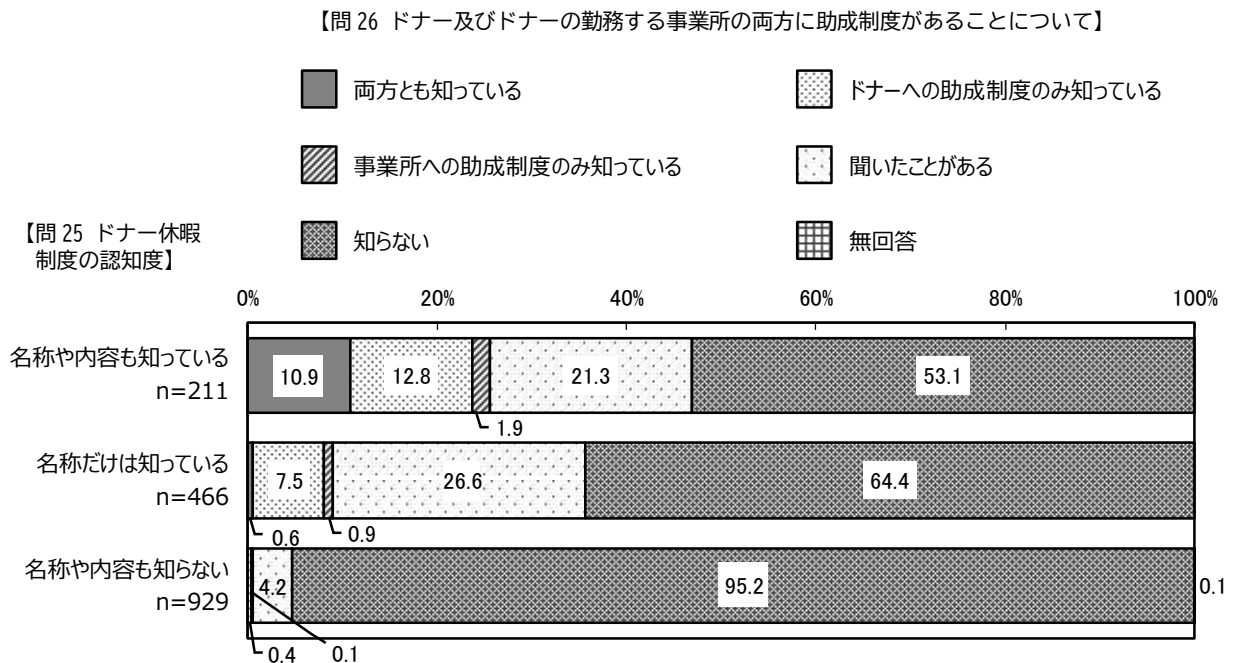
【職業別】



【問 24 と問 26 の設問間クロス集計】



【問 25 と問 26 の設問間クロス集計】



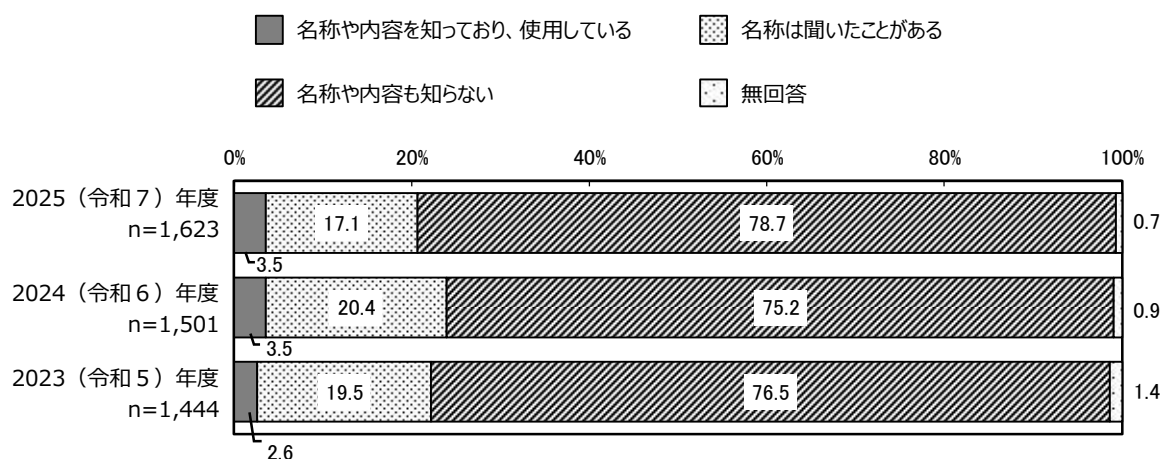
10 「はままつ健幸クラブ」について

問 27 あなたは、浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ※」をご存じですか。

（1つだけ○を付けてください）

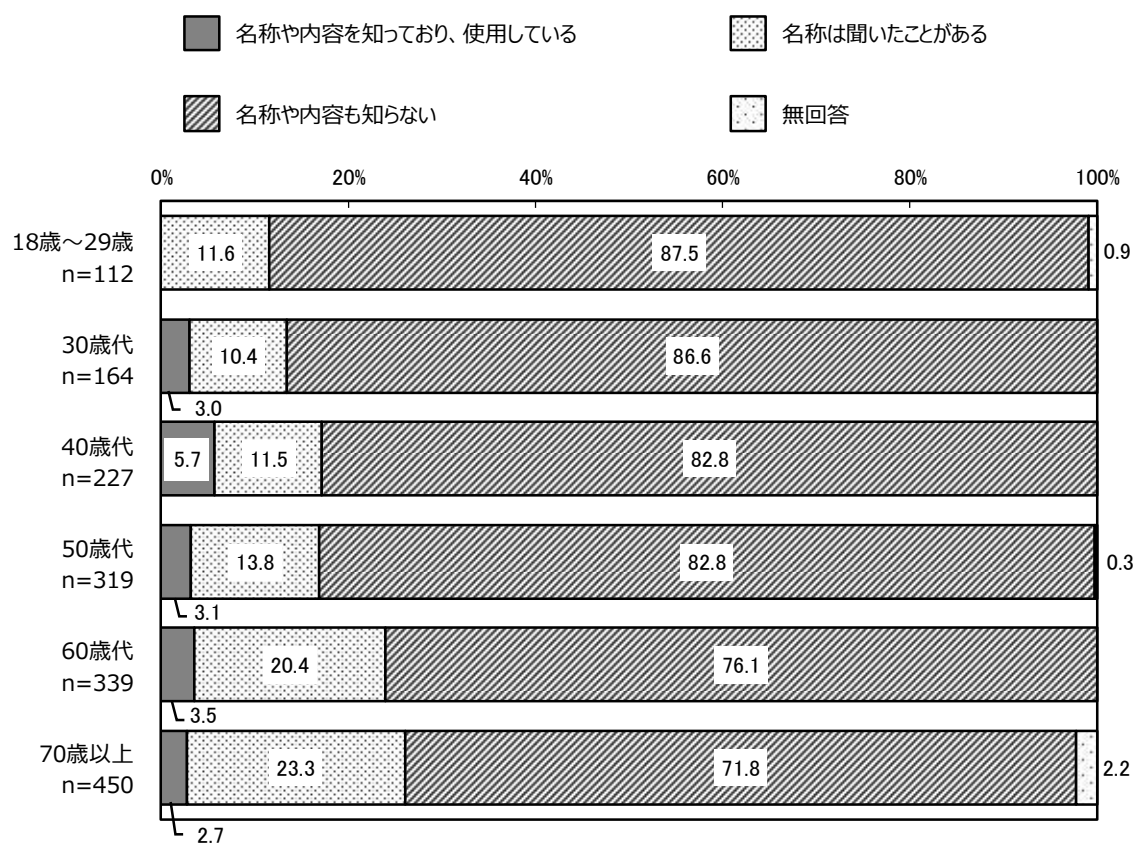
※「はままつ健幸クラブ」とは、浜松市では「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」の実現を目指す中、2022（令和4）年10月から運用を開始したスマートフォンアプリです。毎日の歩数計測のほか、指定する健康イベントへの参加などでポイントがたまり、抽選で浜松市の特産品などが当たります。

浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」を「知っている」人は20.6%

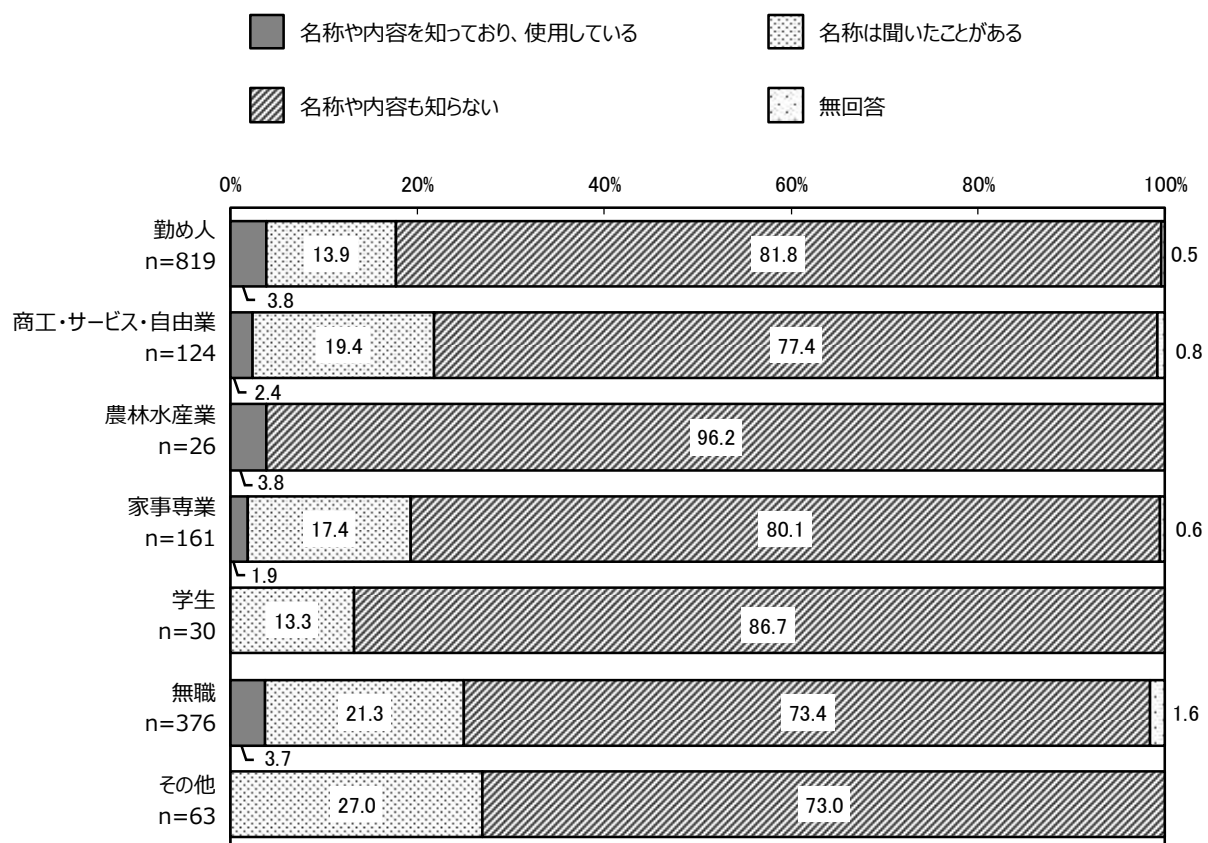


- 「名称や内容を知っており、使用している」と「名称は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は20.6%となり、「名称や内容も知らない」の78.7%を58.1ポイント下回った。2024（令和6）年度との比較では、『知っている』は3.3ポイント減少となった。
- 年代別でみると、「名称や内容を知っており、使用している」と回答した割合は40歳代の5.7%が最も高く、次いで60歳代が3.5%となった。最も低い18歳～29歳が0.0%となり、最も高い40歳代とは、5.7ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、「名称や内容を知っており、使用している」と回答した割合は勤め人と農林水産業の3.8%が最も高く、次いで無職が3.7%となった。

【年代別】

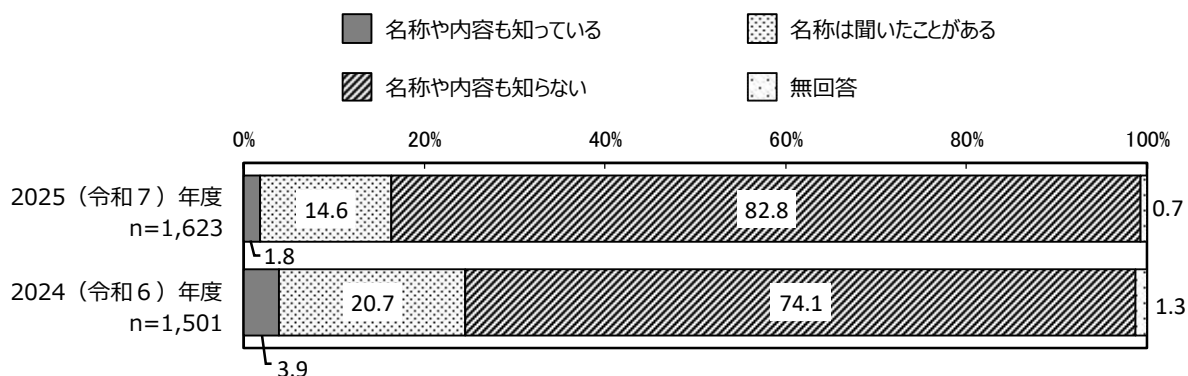


【職業別】



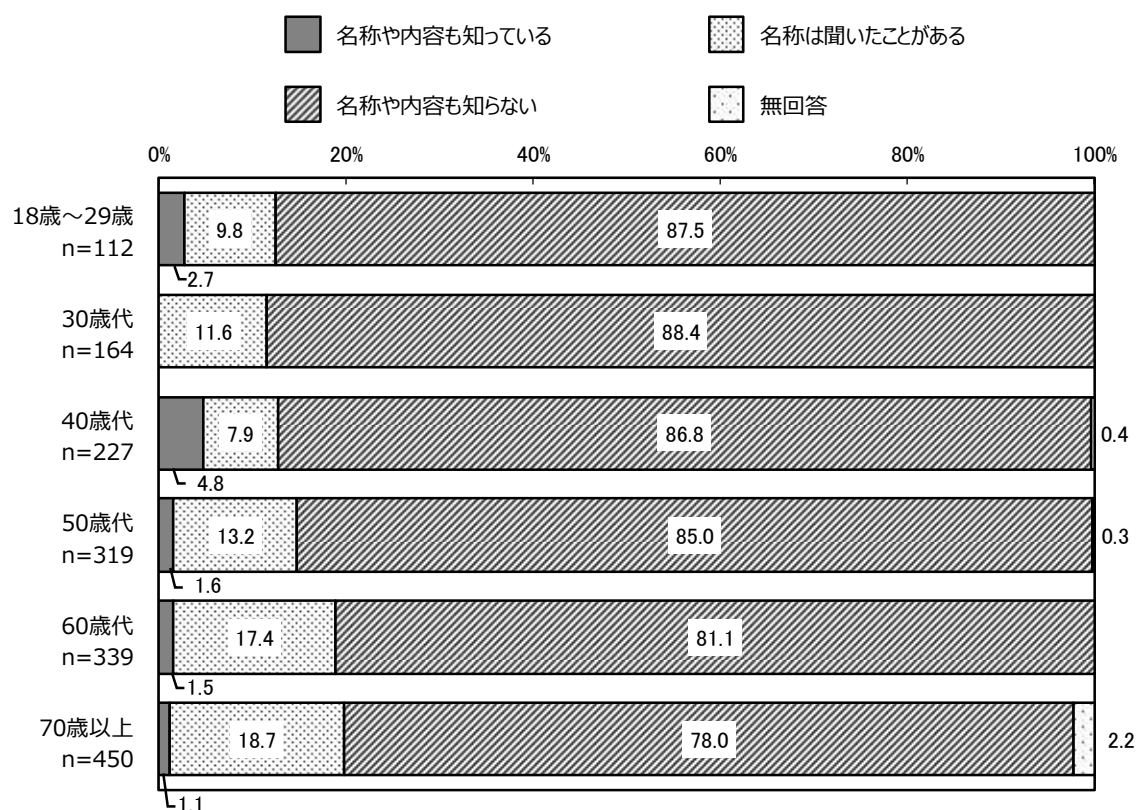
問 28 あなたは、浜松市が実現を目指している都市像「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」
をご存じですか。（1 つだけ○を付けてください）

「ウエルネスシティ」を『知っている』人は 16.4%

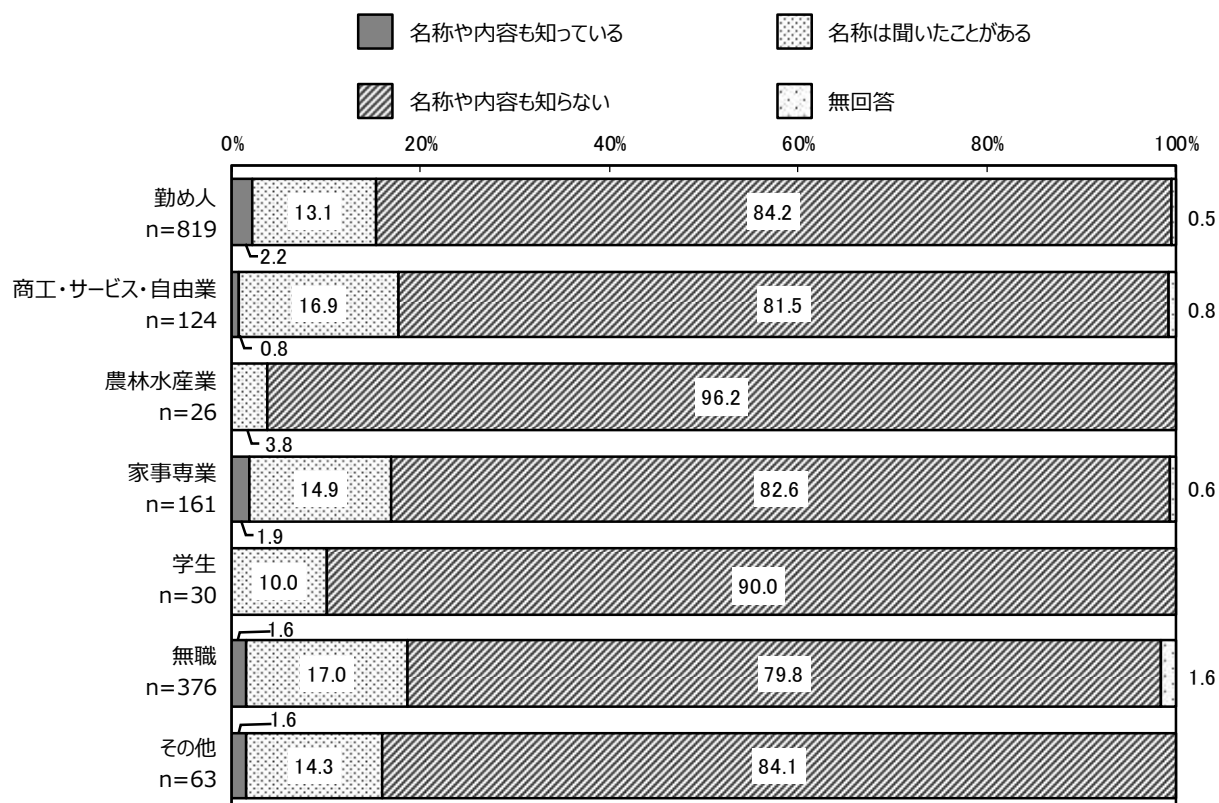


- 「名称や内容も知っている」と「名称は聞いたことがある」を合わせた『知っている』は 16.4% となり、「名称や内容も知らない」の 82.8% を 66.4 ポイント下回った。2024（令和6）年度との比較では、『知っている』は 8.2 ポイント減少となった。
- 年代別でみると、『知っている』は 70 歳以上の 19.8% が最も高く、次いで 60 歳代が 18.9% となった。「名称や内容も知らない」と回答した割合は 30 歳代が 88.4% と最も高くなった。
- 職業別にみると、『知っている』は、無職が 18.6%、次いで商工・サービス・自由業が 17.7% となった。最も低い農林水産業が 3.8% となり、最も高い無職とは 14.8 ポイントの差がみられた。

【年代別】



【職業別】



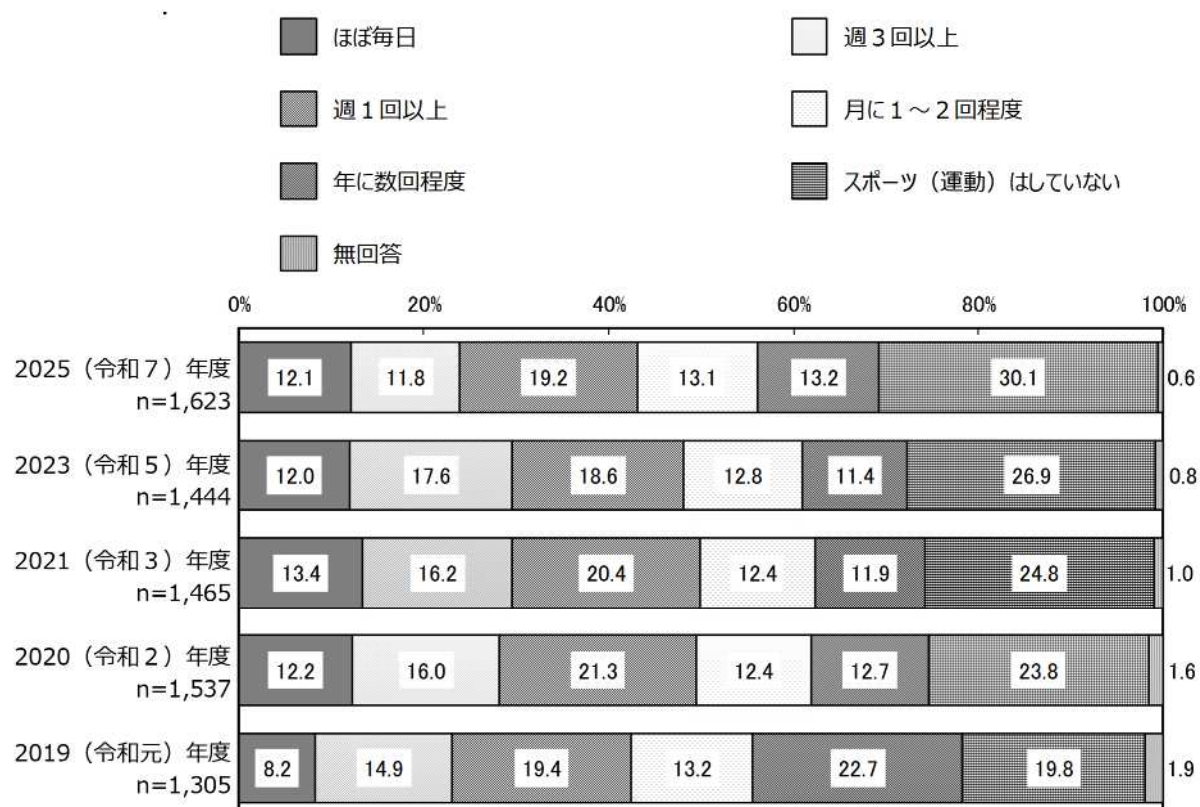
11 スポーツの推進について

問 29 あなたは、1年間でスポーツ（運動）※をどの程度行いましたか。

（1つだけ○を付けてください）

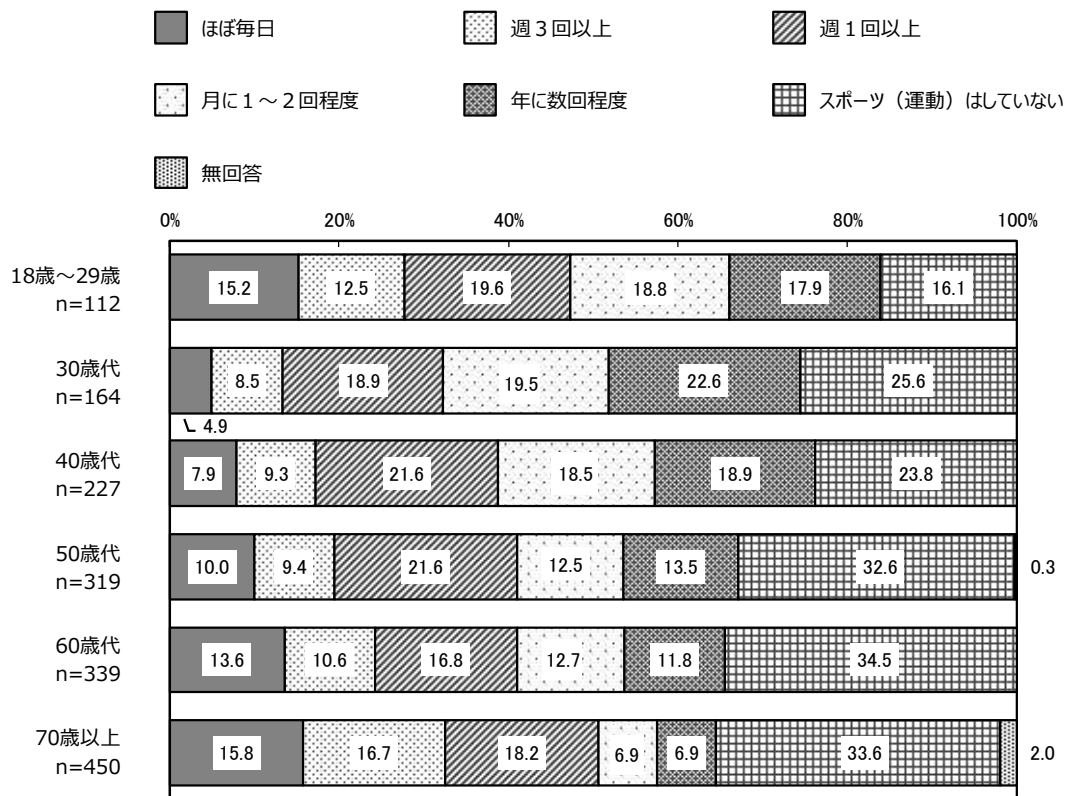
※身体を動かすことを目的としたもの（ウォーキングや階段上り下りなど）から本格的な競技スポーツまで、あらゆる運動を含みます。

「ほぼ毎日」運動しているのは 12.1%、『週1回以上』運動しているのは 43.1%

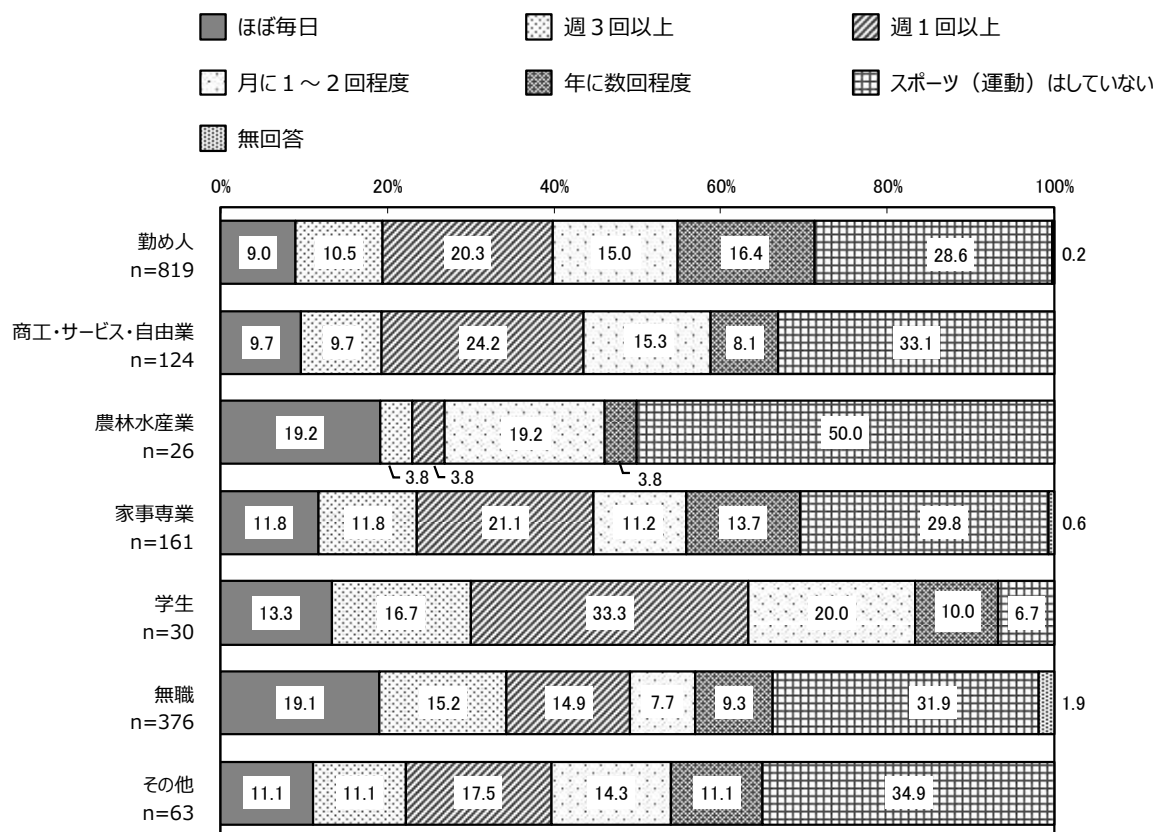


- 「ほぼ毎日」運動しているのは 12.1%で、「ほぼ毎日」と「週3回以上」、「週1回以上」を合わせた『週1回以上』運動しているのは 43.1%となった。「スポーツ（運動）はしていない」が 30.1%と項目別では最も高い割合となった。
- 年代別でみると、18歳～29歳に比べ、30歳代で「ほぼ毎日」、「週3回以上」の割合が減少しているが、その後の年代が上がるにつれて割合が高まっている。「スポーツ（運動）はしていない」の割合は50歳代以降で高くなっている。
- 職業別では「ほぼ毎日」は農林水産業が 19.2%と最も高い。次いで、無職が 19.1%と高い割合になった。最も割合が低い勤め人が 9.0%と 10.2ポイントの差がみられた。

【年代別】

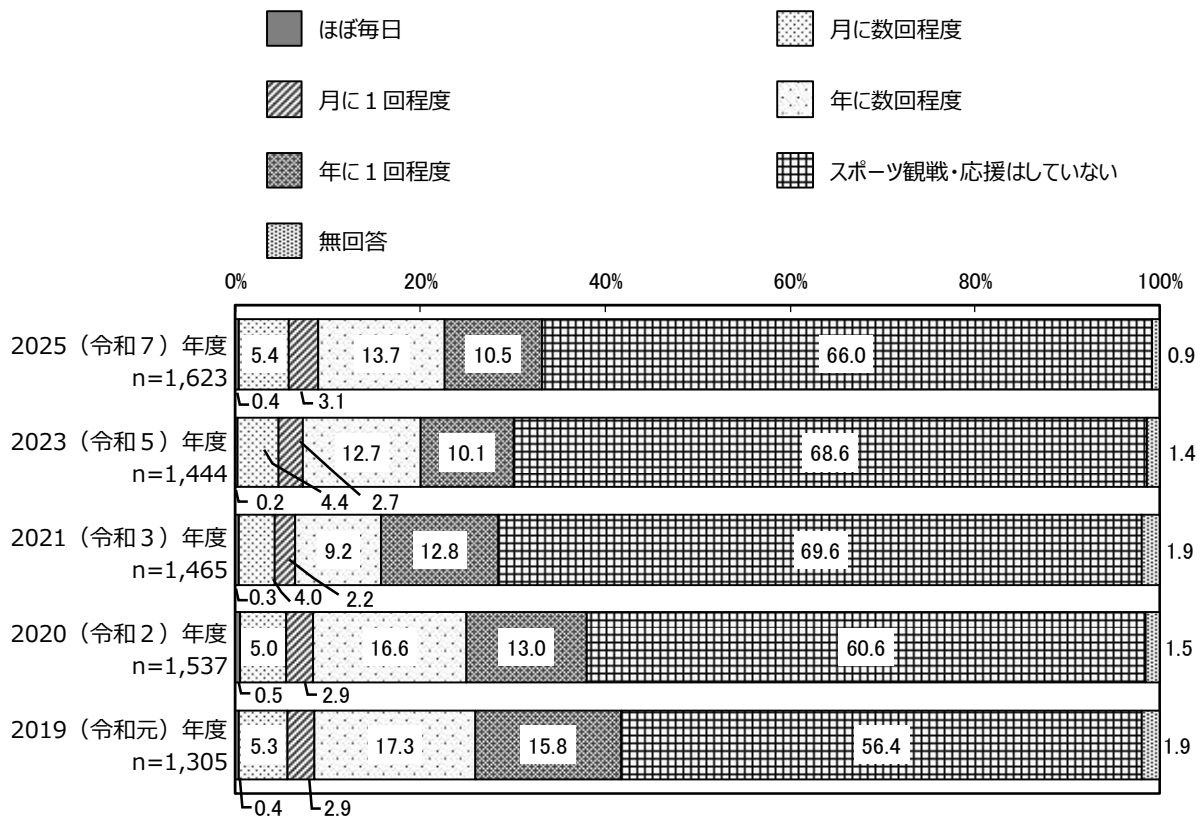


【職業別】



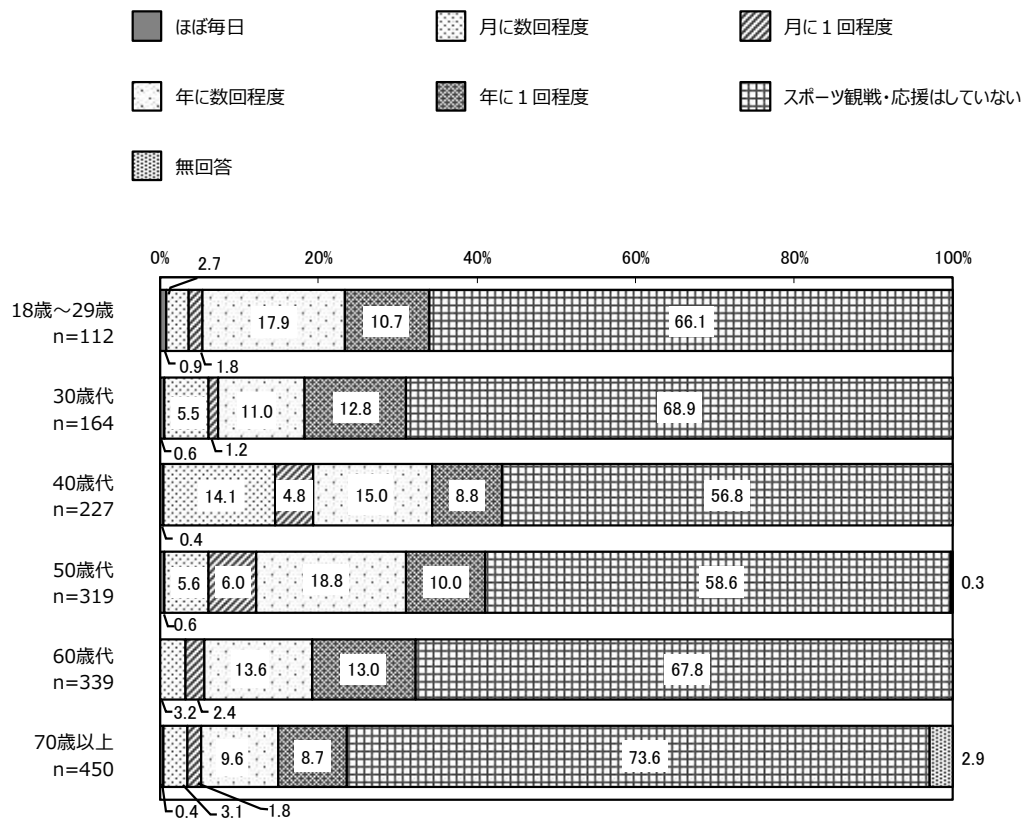
問 30 あなたは、過去 1 年間で実際に会場に出向いたスポーツ観戦・応援（プロスポーツだけでなく、地域のスポーツ活動や少年団などのスポーツ観戦・応援も含む）をどの程度行いましたか。（1 つだけ○を付けてください）

スポーツ観戦・応援を『年 1 回以上』行うのは 33.1%、「スポーツ観戦・応援はしていない」は 66.0%

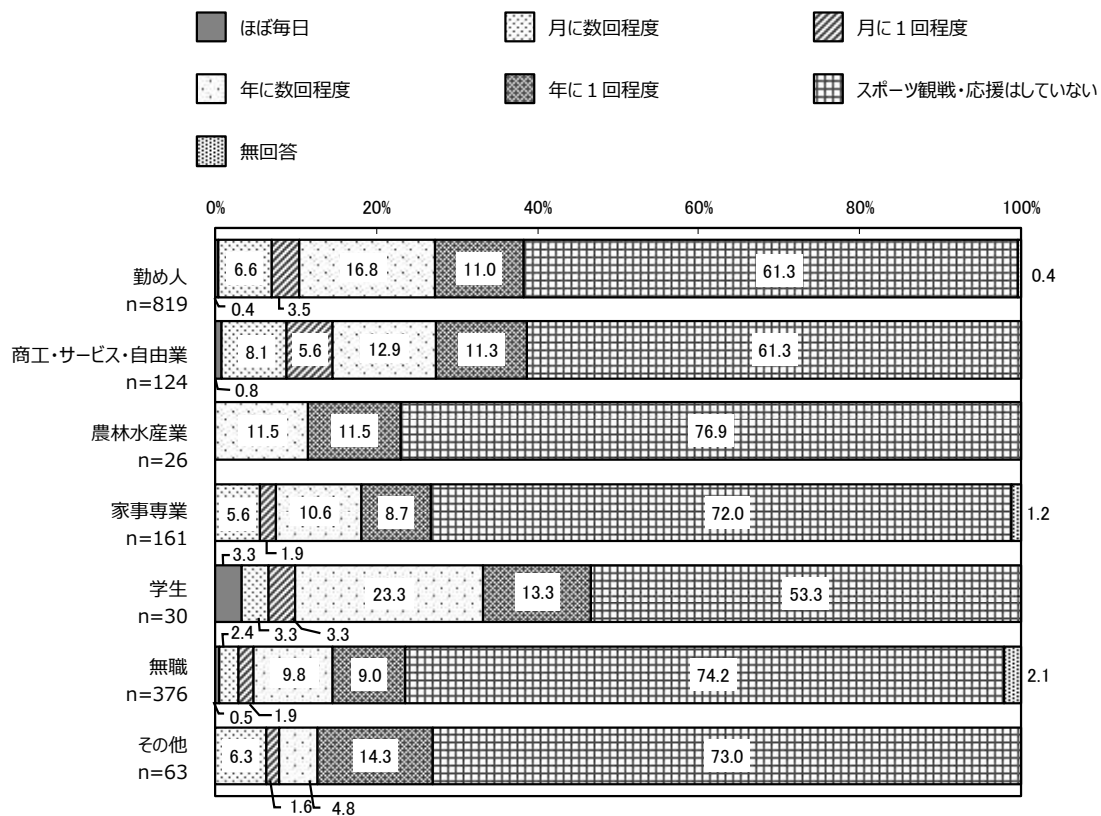


- スポーツ観戦・応援を「ほぼ毎日」と「月に数回程度」、「月に1回程度」、「年に数回程度」、「年に1回程度」を合わせて『年1回以上』は 33.1%となった。一方で「スポーツ観戦・応援はしていない」が 66.0%となった。
- 「ほぼ毎日」スポーツ観戦・応援をしていると回答した割合は全年代で低く、「月に数回程度」スポーツ観戦・応援をしている割合は 40 歳代の 14.1%が一番高く、次が 50 歳代の 5.6%となった。「スポーツ観戦・応援はしていない」と回答した割合は 70 歳以上が 73.6%と一番高く、次いで 30 歳代の 68.9%となった。「スポーツ観戦・応援はしていない」の回答は 40 歳代の 56.8%が最も低く、50 歳代の 58.6%、60 歳代の 67.8%、70 歳以上の 73.6%と年代が上がるにつれて高くなっていった。
- 職業別では「ほぼ毎日」スポーツ観戦・応援をしていると回答したのは学生の 3.3%が最も高く、「スポーツ観戦・応援はしていない」の回答も学生が 53.3%と最も低い。

【年代別】

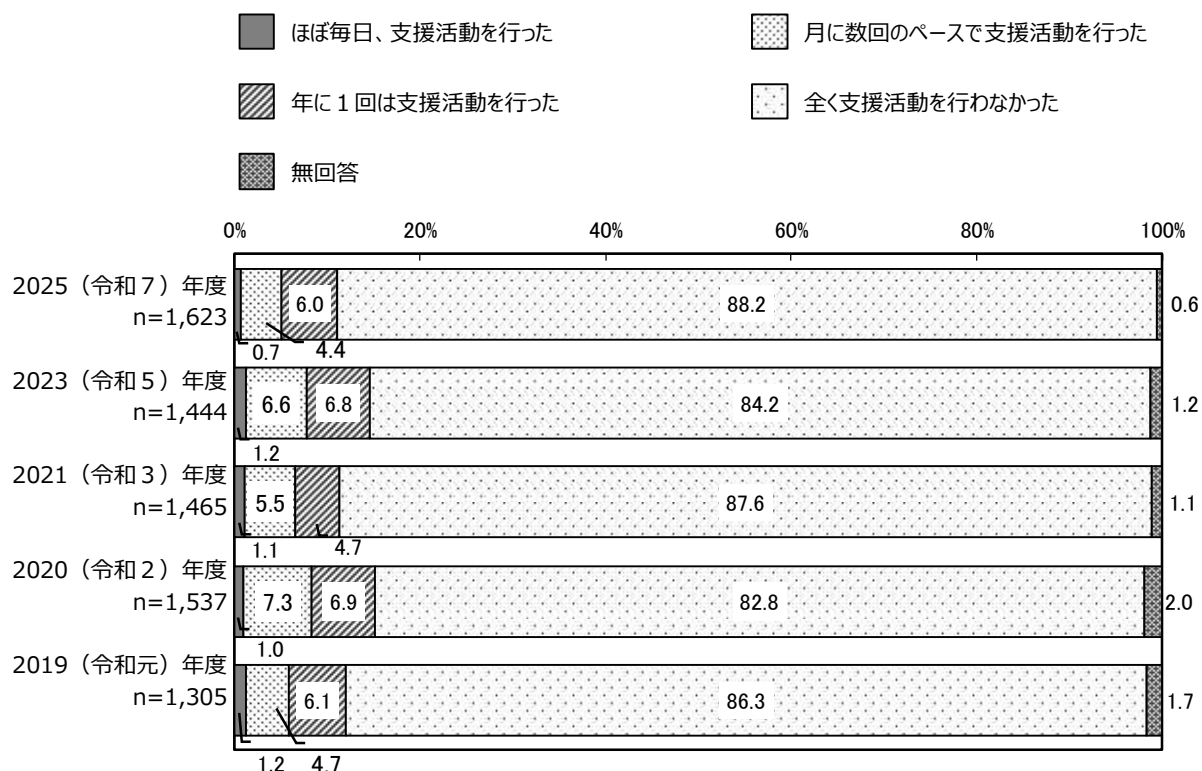


【職業別】



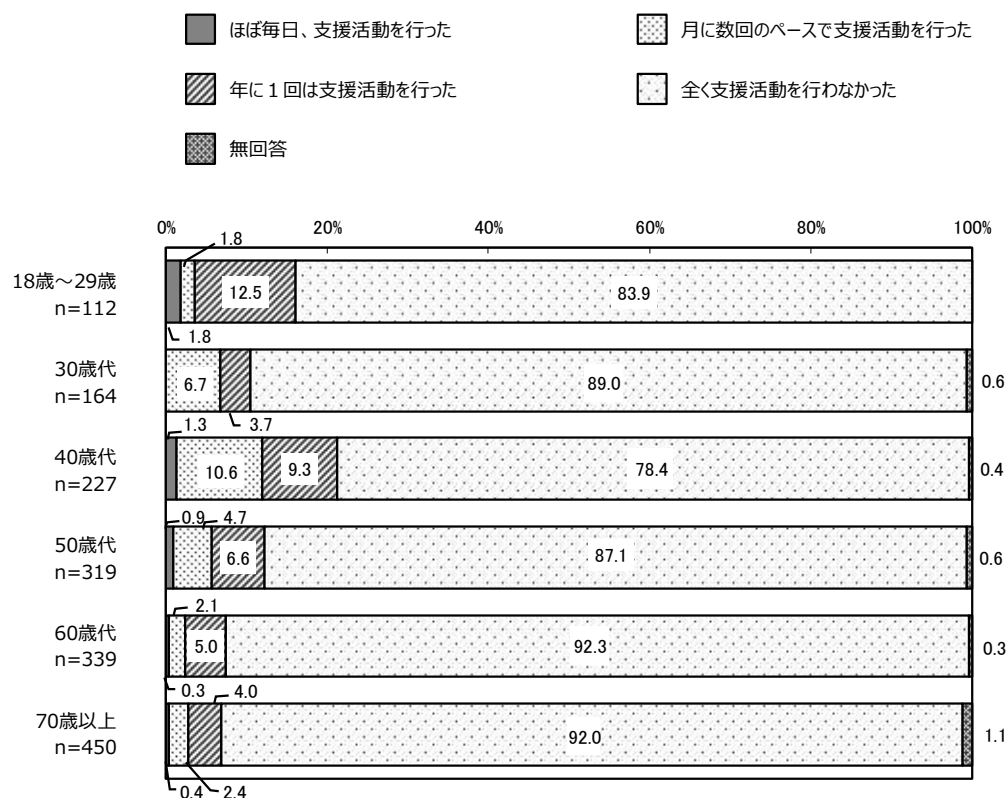
問 31 あなたは、過去 1 年間にスポーツ活動の支援（スポーツイベントや各種競技の大会におけるボランティア活動のほか、スポーツ少年団や小・中学校、高校、大学の部活動、総合型地域スポーツクラブ、地域のスポーツ活動などのお手伝いや運営、指導など、あらゆるスポーツ活動の支援を含む）をどの程度行いましたか。
（1 つだけ○を付けてください）

過去 1 年間にスポーツ活動の支援を行ったのは 11.1%、全く行わなかったは 88.2%

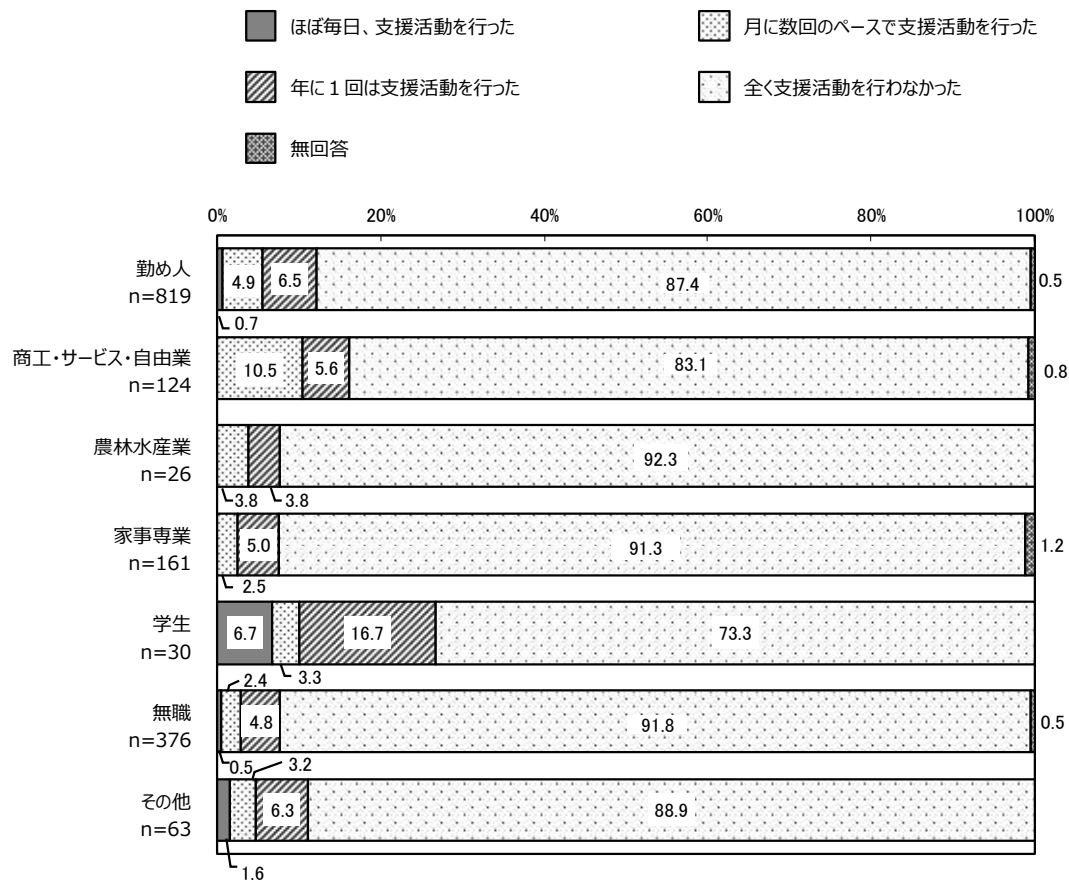


- 「ほぼ毎日、支援活動を行った」、「月に数回のペースで支援活動を行った」、「年に1度は支援活動を行った」を含めた過去1年間に支援活動を行ったと回答したのは11.1%となり、「全く支援活動を行わなかった」と回答したのは88.2%となった。
- 年代別では、過去1年間に支援活動を行ったのは40歳代が21.2%と最も高く、50歳代以上で低下傾向にあり、70歳以上が6.8%と最も低く、14.4ポイントの差がみられた。
- 職業別では、過去1年間に支援活動を行ったのは学生が26.7%と最も高く、家事専業が7.5%と最も低く、19.2ポイントの差がみられた。

【年代別】



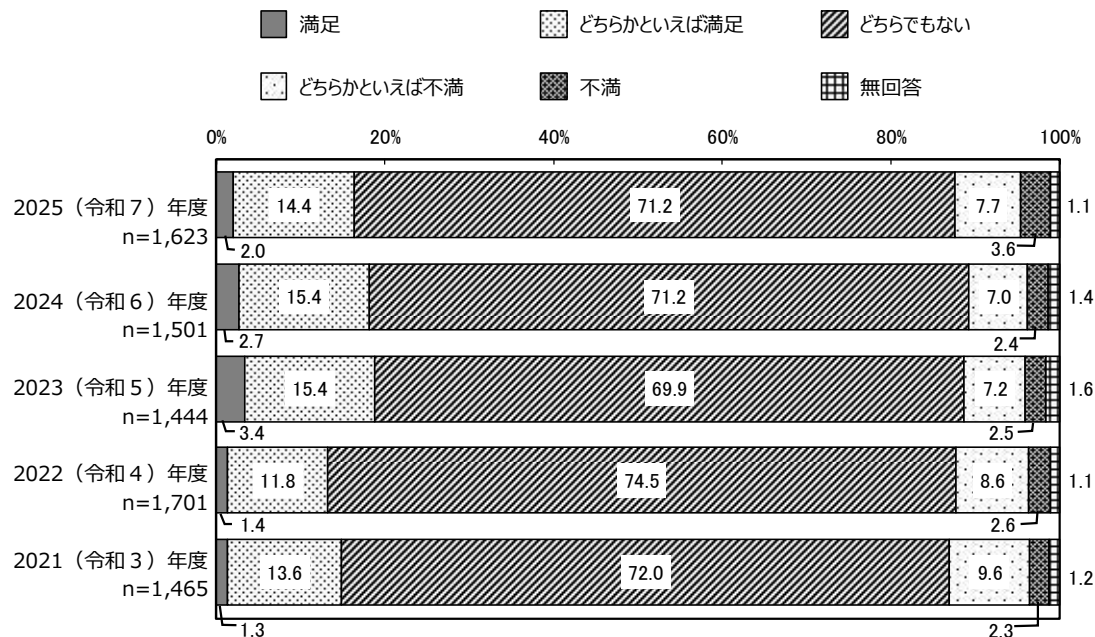
【職業別】



12 多文化共生・国際交流連携について

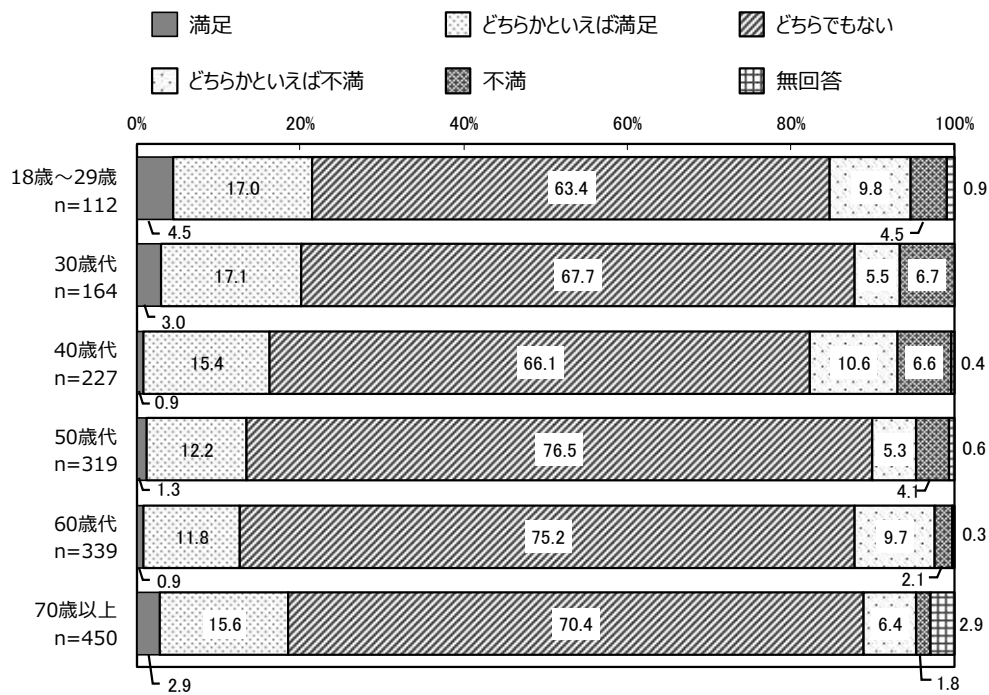
問 32 あなたは、浜松市が取り組んでいる外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりについてどのように感じていますか。（1つだけ○を付けてください）

外国人市民との共生社会づくりに向けた取り組みに『満足している』人は16.4%

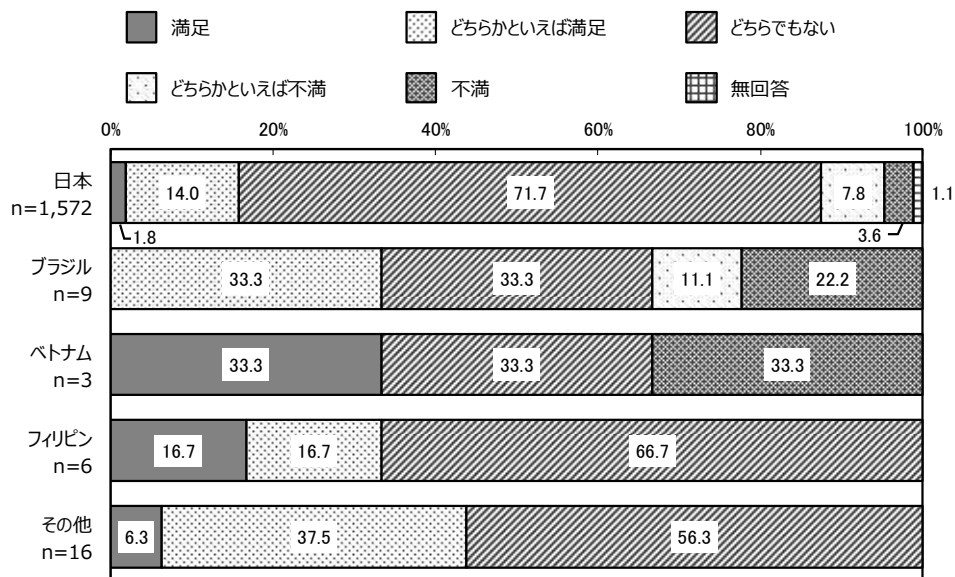


- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は16.4%となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は11.3%となり、『満足している』が『不満である』を5.1ポイント上回った。一方で「どちらでもない」が71.2%と、3分の2以上の多数を占めた。
- 年代別でみると、『満足している』の割合は18歳～29歳が21.5%と最も高く、次いで70歳以上の18.5%となった。一方で、『不満である』の割合は40歳代が17.2%と最も高く、次いで18歳～29歳の14.3%となった。
- 国籍・地域別でみると、『満足している』と回答した割合は、日本人が15.8%、外国人が38.2%となり、外国人からみた満足度は日本人と比べて高い結果となったが、外国人のサンプル数が小規模であることの留意が必要である。

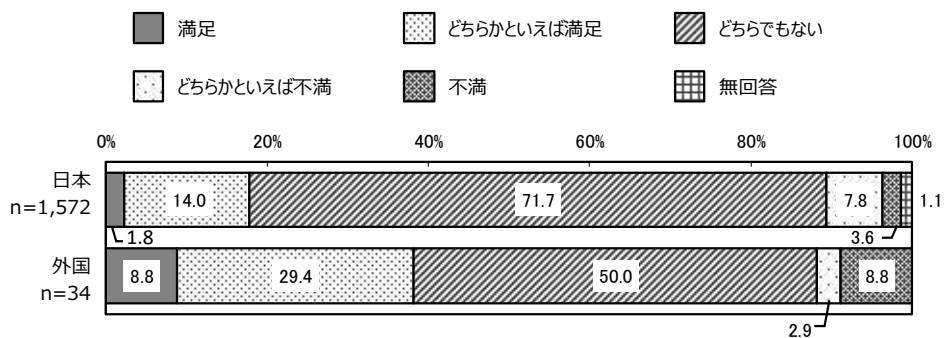
【年代別】



【国籍別】

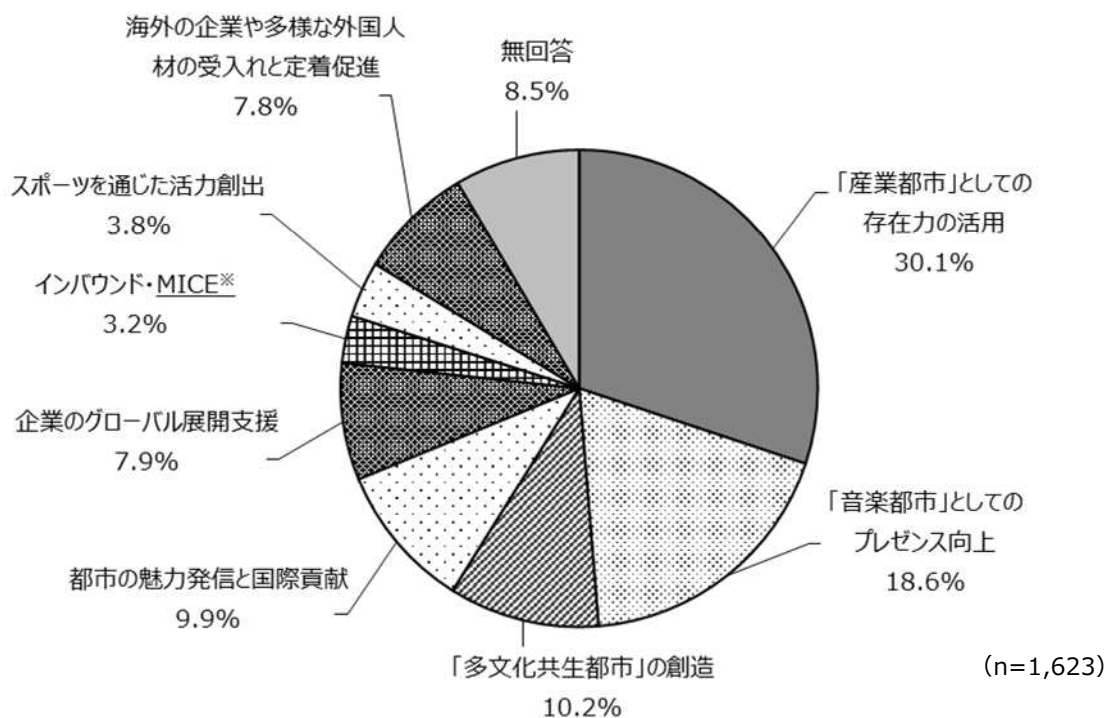


【日本と外国の比較】



問 33 あなたは、浜松市が行っている国際施策展開のうち、最も力を入れるべきものはどれ
だと考えますか。(1つだけ○を付けてください)

最も力を入れるべき取り組みは「産業都市」としての存在力の活用が 30.1%



※「MICE」とは、企業等の会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、展示会 (Exhibition/Event) の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称です。

- 「産業都市」としての存在力の活用が 30.1%と最も高く、次いで「音楽都市」としてのプレゼンス向上が 18.6%、「多文化共生都市」の創造が 10.2%と続いた。
- 年齢別では、企業のグローバル展開支援は 30 歳代が 14.6%と最も高く、最も低い 70 歳以上の 4.9%とは 9.7 ポイントの差がみられた。
- 職業別では、「多文化共生都市」の創造は農林水産業が 15.4%と最も高く、最も低い学生の 3.3%とは 12.1 ポイントの差がみられた。

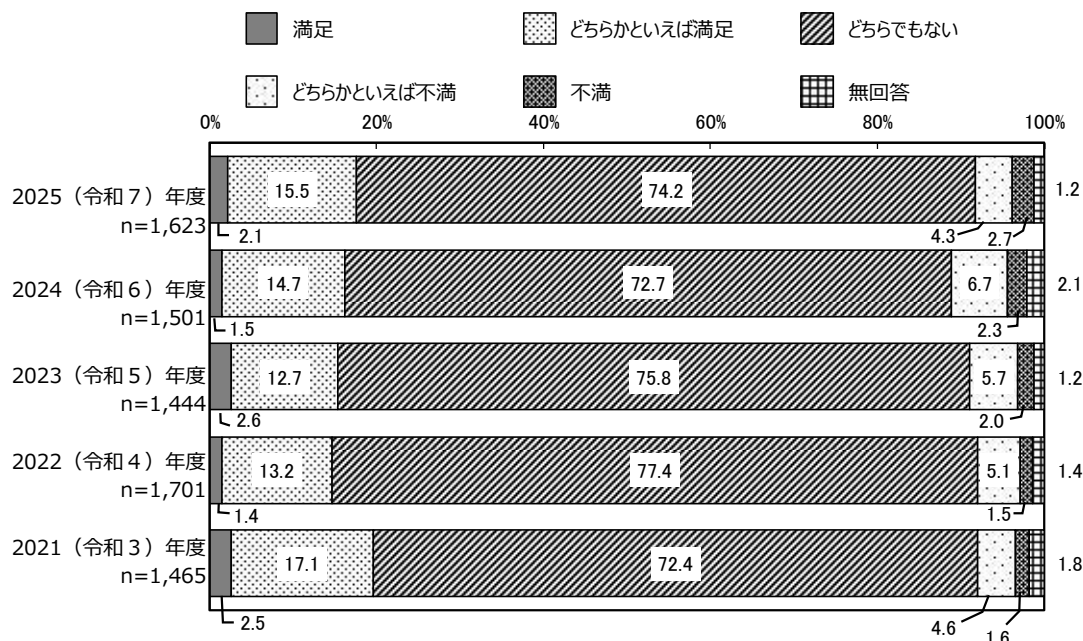
【年代別・職業別】

(単位：%)

		「産業都市」 としての存在力の活用	「音楽都市」 としてのプレゼンス向上	「多文化共生都市」 の創造	都市の魅力発信と国際貢献	企業のグローバル展開支援	海外の企業や多様な外国人材の受入れと定着促進	スポーツを通じた活力創出	インバウンド・MICE	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	32.1	19.6	8.9	8.9	8.9	10.7	3.6	2.7	4.5
	30歳代 n=164	32.9	18.9	7.3	11.0	14.6	5.5	2.4	2.4	4.9
	40歳代 n=227	26.9	19.4	7.0	9.7	10.1	9.3	4.8	7.5	5.3
	50歳代 n=319	30.1	15.7	12.5	7.2	7.8	6.3	6.3	5.0	9.1
	60歳代 n=339	31.3	18.6	9.4	11.2	7.1	7.4	2.9	1.5	10.6
	70歳以上 n=450	29.3	20.2	12.0	10.9	4.9	8.4	2.7	1.6	10.0
職業	勤め人 n=819	29.8	18.2	8.8	8.9	9.9	8.3	4.2	4.4	7.6
	商工・サービス・自由業 n=124	27.4	18.5	13.7	10.5	8.1	8.1	3.2	0.8	9.7
	農林水産業 n=26	30.8	19.2	15.4	7.7	7.7	7.7	3.8	0.0	7.7
	家事専業 n=161	31.7	19.9	9.9	10.6	6.8	8.1	3.1	0.0	9.9
	学生 n=30	33.3	26.7	3.3	13.3	3.3	6.7	10.0	3.3	0.0
	無職 n=376	31.9	18.6	12.2	10.6	5.1	7.2	3.2	2.4	8.8
	その他 n=63	25.4	15.9	11.1	14.3	3.2	4.8	3.2	7.9	14.3

問 34 あなたは、浜松市が取り組んでいる世界の人々との活発な市民交流について、どのように感じていますか。(1つだけ○を付けてください)

世界の人々との活発な市民交流に向けた浜松市の取り組みに『満足している』人は17.6%



- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は17.6%となった。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は7.0%となり、『満足している』が『不満である』と10.6ポイント上回った。一方で「どちらでもない」が74.2%と3分の2以上の多数を占めた。
- 年齢別では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は18歳から29歳が27.7%と最も高く、最も低い60歳代の14.5%と13.2ポイントの差がみられた。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』は40歳代が9.6%と最も高く、最も低い70歳以上の5.4%と4.2ポイントの差がみられた。
- 職業別では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』は学生が36.7%と最も高く、最も低い勤め人の16.2%と20.5ポイントの差がみられた。「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満である』も学生が13.3%と最も高く、最も低い農林水産業の3.8%と9.5ポイントの差がみられた。

【年代別・職業別】

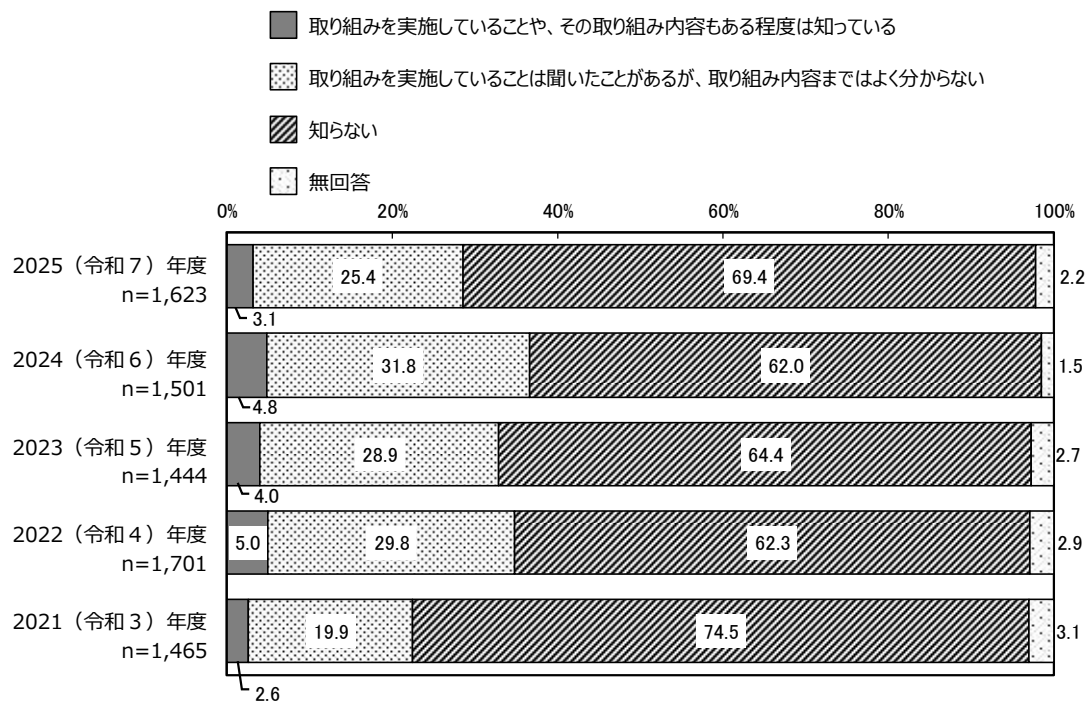
(単位：%)

		満 足	ど ち ら か と い え ば 満 足	ど ち ら で も な い	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	無 回 答
年 代	18歳～29歳 n=112	4.5	23.2	64.3	5.4	1.8	0.9
	30歳代 n=164	3.7	14.6	76.2	0.6	4.9	0.0
	40歳代 n=227	0.9	17.6	70.9	4.8	4.8	0.9
	50歳代 n=319	2.2	13.5	75.2	4.7	3.8	0.6
	60歳代 n=339	0.9	13.6	78.8	5.3	1.2	0.3
	70歳以上 n=450	2.2	15.8	74.0	3.8	1.6	2.7
職 業	勤め人 n=819	1.5	14.7	75.2	4.3	3.7	0.7
	商工・サービス・自由業 n=124	1.6	15.3	75.8	4.8	1.6	0.8
	農林水産業 n=26	0.0	26.9	69.2	3.8	0.0	0.0
	家事専業 n=161	3.1	15.5	73.3	4.3	0.6	3.1
	学生 n=30	10.0	26.7	50.0	10.0	3.3	0.0
	無職 n=376	2.4	15.7	75.0	3.5	2.1	1.3
	その他 n=63	1.6	19.0	69.8	4.8	3.2	1.6

13 デジタルを活用したまちづくりについて

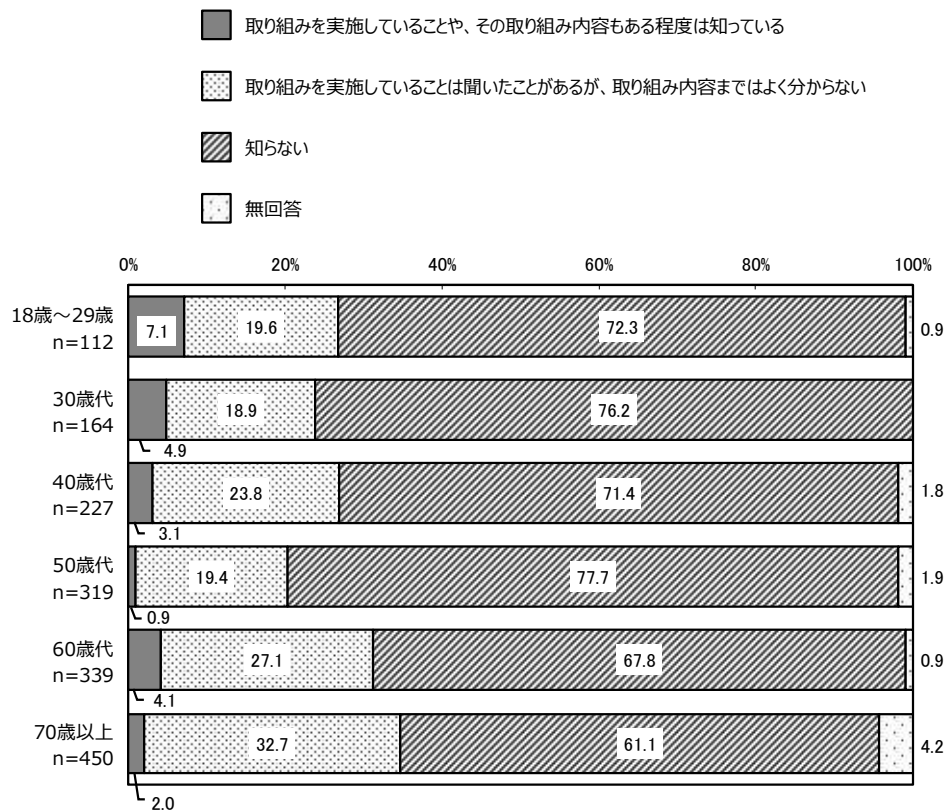
問 35 あなたは、浜松市が 2022（令和 4）年 7 月に「デジタルを活用したまちづくり推進条例」を策定するなど、「デジタルを活用したまちづくり」に取り組んでいることをご存じですか。（1 つだけ○を付けてください）

「デジタルを活用したまちづくり」に取り組んでいることを『知っている』人は 28.5%

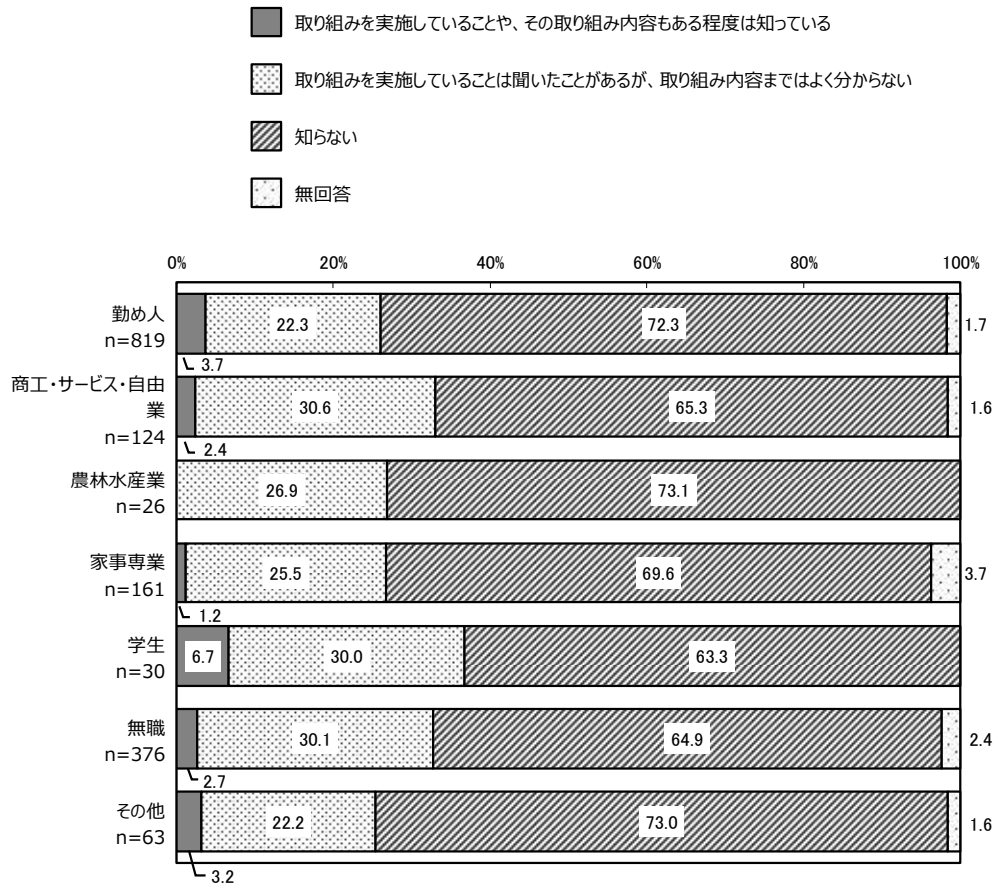


- 「取り組みを実施していることや、その取り組み内容もある程度は知っている」と「取り組みを実施していることは聞いたことがあるが、取り組み内容まではよく分からない」を合わせた『知っている』は、28.5%となった一方で、69.4%は「知らない」と回答している。2024（令和 6）年度との比較では、『知っている』は 8.1 ポイント減少した。
- 年代別でみると、『知っている』の割合は、70 歳以上が 34.7%と最も高く、次いで 60 歳代が 31.2%となった。最も低い 50 歳代が 20.3%となり、最も高い 70 歳以上とは、14.4 ポイントの差がみられた。
- 職業別でみると、学生の『知っている』が 36.7%と最も高く、次いで商工・サービス・自由業が 33.0%となった。

【年代別】

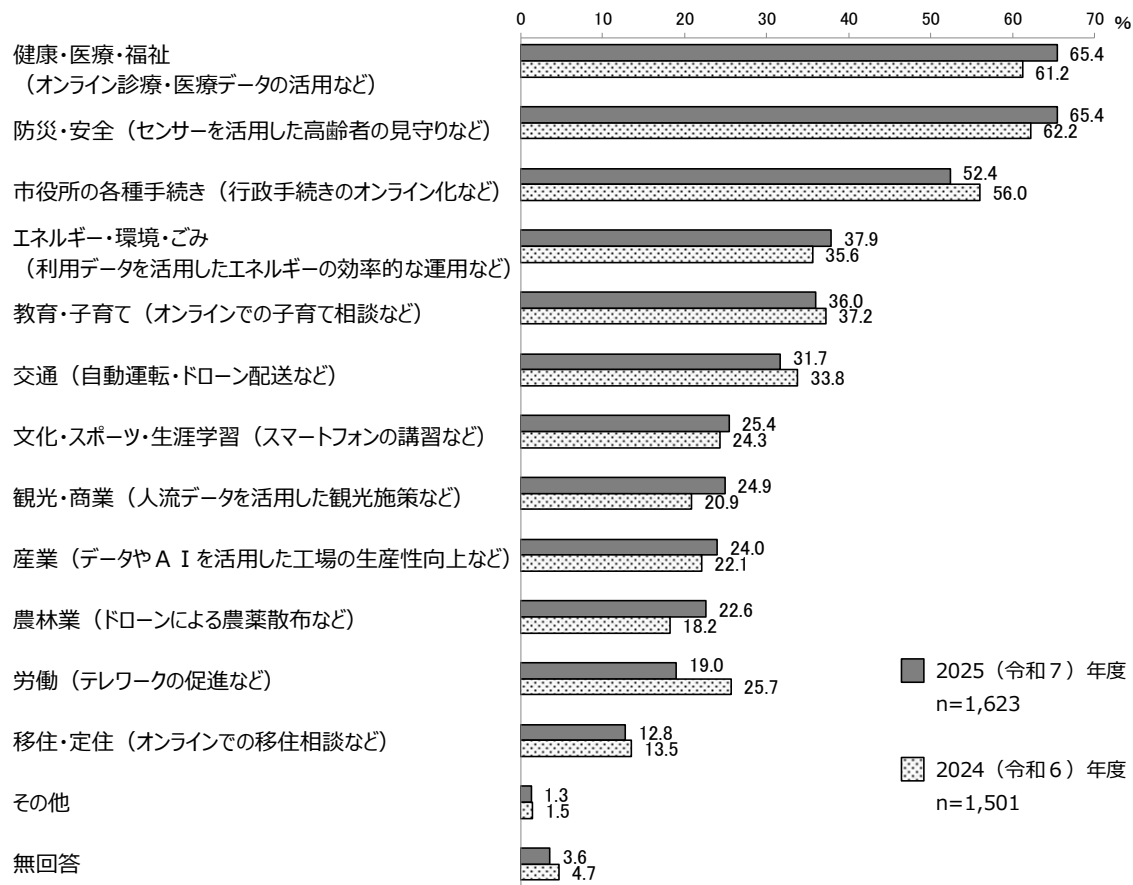


【職業別】



問 36 あなたは、「デジタルを活用したまちづくり」について、どのような分野での取り組みに期待しますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

期待する取り組みは「健康・医療・福祉（オンラインデータの活用など）」と防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）の2つが 65.4%で同率



- 「健康・医療・福祉（オンライン診療・医療データの活用など）」「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」の2つが 65.4%と高く、次いで「市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）」が 52.4%となった。
- 年代別でみると、「健康・医療・福祉（オンライン診療・医療データの活用）」が 60 歳代で 70.2%と最も高く、全体でも 6 割を超え高くなった。「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」でも 60 歳代が 72.6%と最も高く、18 歳～29 歳は 47.3%と最も低くなっている。
- 職業別でみると、「防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）」が商工・サービス・自由業で 73.4%と最も高く、最も低い農林水産業の 50.0%と 23.4 ポイントの差がみられた。また、「農林業（ドローンによる農薬散布など）」は農林水産業が 50.0%と高かったが、その他の職業では低く、家事専業が 19.9%と最も低かった。

【年代別・職業別】

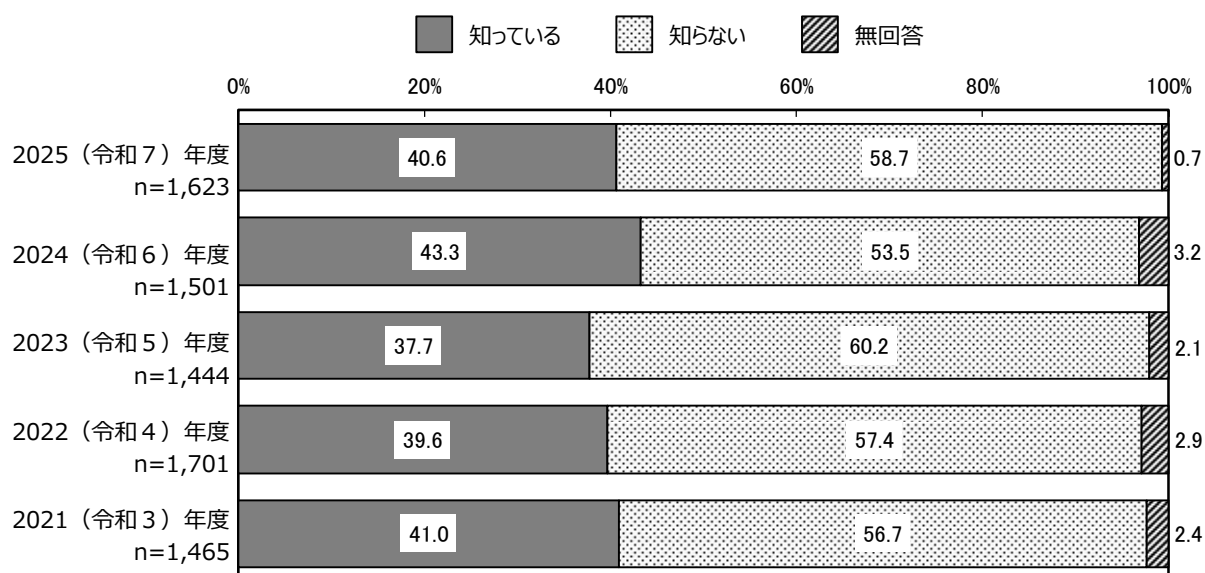
(単位：%)

		健康・医療・福祉・医療データの活用など (オンライン診療・福祉・医療データの活用など)	防災・安全 (センサーを活用した高齢者の見守りなど)	市役所の各種手続きのオンライン化など (行政手続きのオンライン化など)	エネルギー・環境・ごみ(利用データを活用したエネルギーの効率的な運用など)	教育・子育て (オンラインでの子育て相談など)	交通(自動運転・ドローン配送など)	文化・スポーツ・生涯学習 (スマートフォンの講習など)	観光・商業 (人流データを活用した観光施策など)	産業(データやAIを活用した工場の生産性向上など)	農林業(ドローンによる農薬散布など)	労働(テレワークの促進など)	移住・定住(オンラインでの移住相談など)	その他	無回答
年代	18歳～29歳 n=112	64.3	47.3	53.6	24.1	44.6	34.8	19.6	24.1	25.0	20.5	36.6	11.6	2.7	0.9
	30歳代 n=164	68.9	56.1	62.8	32.9	57.9	37.2	20.1	34.1	27.4	24.4	38.4	18.9	1.2	1.2
	40歳代 n=227	63.0	60.8	63.0	37.9	45.4	43.6	28.2	29.1	33.5	29.5	24.2	14.5	0.0	1.3
	50歳代 n=319	63.6	67.1	59.2	35.4	35.4	35.1	23.8	26.0	22.6	23.2	19.4	13.5	0.9	2.8
	60歳代 n=339	70.2	72.6	55.2	38.3	34.8	32.7	26.0	23.6	23.6	22.7	12.7	10.0	2.4	2.9
	70歳以上 n=450	64.0	69.1	36.9	44.4	22.4	19.8	28.4	20.2	19.1	18.7	9.8	11.6	1.1	7.1
職業	勤め人 n=819	65.6	61.9	58.9	34.8	40.4	37.5	24.3	26.4	25.6	22.3	23.0	14.0	1.1	2.1
	商工・サービス・自由業 n=124	65.3	73.4	54.8	34.7	37.1	34.7	25.0	33.9	31.5	27.4	18.5	11.3	0.8	4.0
	農林水産業 n=26	42.3	50.0	38.5	26.9	30.8	30.8	23.1	30.8	15.4	50.0	15.4	11.5	3.8	7.7
	家事専業 n=161	66.5	72.0	51.6	47.2	39.1	21.7	26.1	21.7	17.4	19.9	17.4	9.3	1.9	5.6
	学生 n=30	73.3	60.0	60.0	40.0	50.0	53.3	30.0	33.3	40.0	30.0	40.0	13.3	3.3	0.0
	無職 n=376	66.5	68.4	40.7	43.4	26.6	22.1	27.9	19.4	21.3	20.5	11.4	13.0	0.5	5.9
	その他 n=63	65.1	71.4	44.4	30.2	22.2	27.0	27.0	27.0	19.0	23.8	17.5	7.9	6.3	1.6

14 市制記念日について

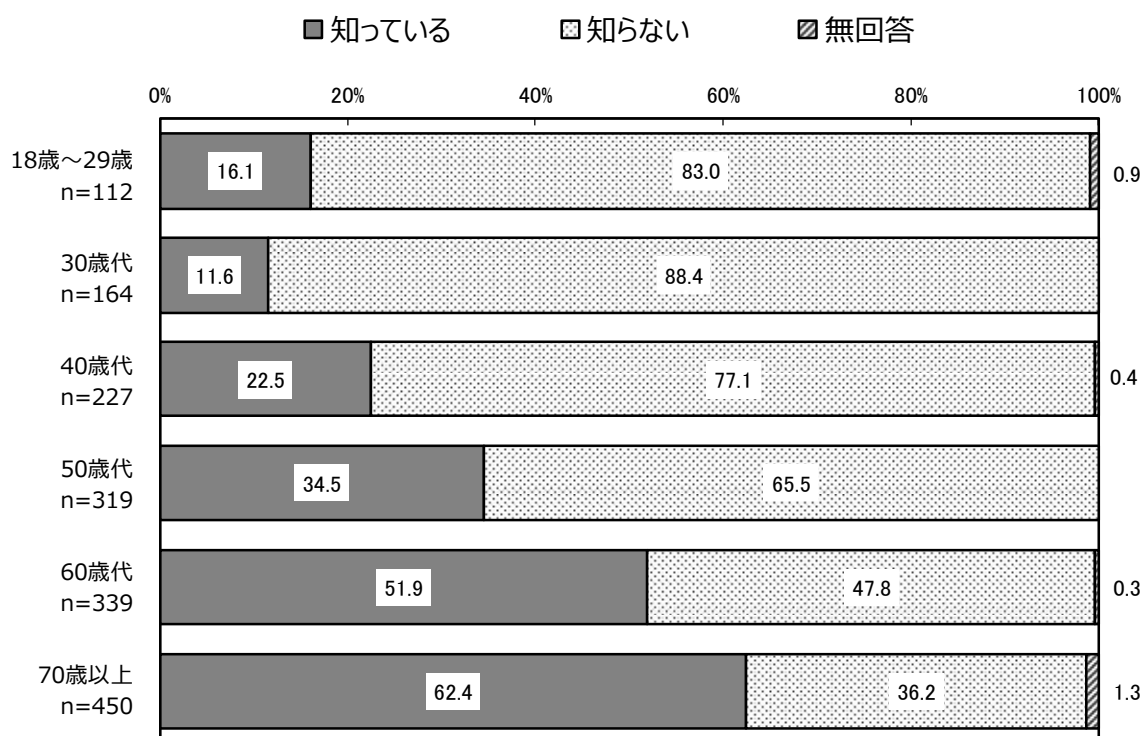
問 37 あなたは、浜松市の市制記念日が7月1日であることをご存じですか。
(1つだけ○を付けてください)

浜松市の市制記念日が7月1日と「知っている」人は40.6%

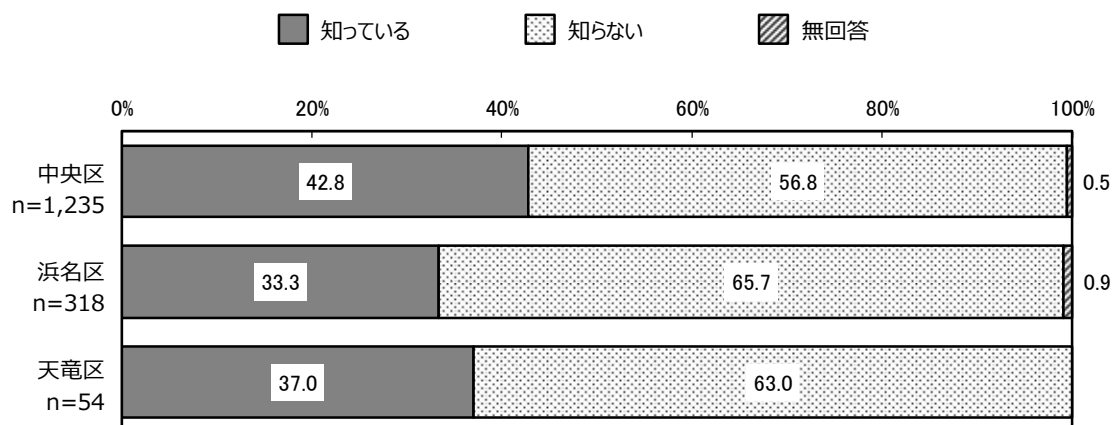


- 「知っている」が40.6%となり、「知らない」の58.7%を18.1ポイント下回った。2024（令和6）年度との比較では、「知っている」が2.7ポイント減少した。
- 年代別でみると、「知っている」と回答した割合は、70歳以上の62.4%が最も高く、次いで60歳代が51.9%となった。年齢が高いほど「知っている」割合が高い傾向がみられたが、30歳代以下は8割以上が「知らない」と回答している。
- 行政区別でみると、「知っている」と回答した割合は「中央区」が42.8%で最も高く、次いで「天竜区」が37.0%、「浜名区」が33.3%となった。

【年代別】



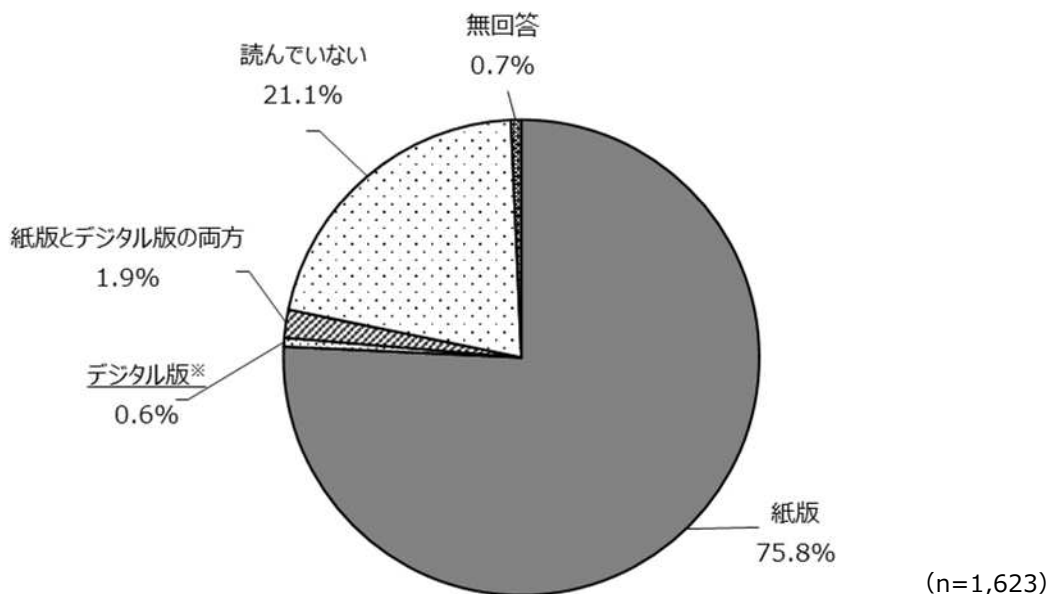
【行政区別】



15 広報はままつについて

問 38 あなたは、広報はままつを何で読んでいますか。（1つだけ○を付けてください）

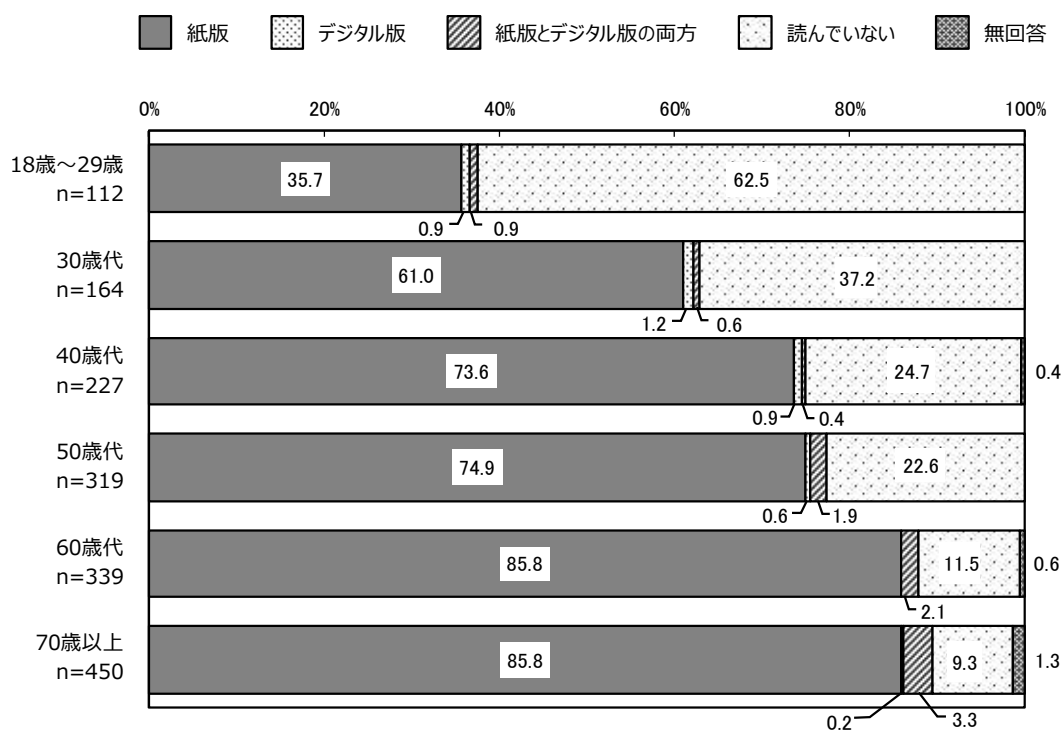
広報はままつを『読んでいる』人は 78.3% で、「紙版」が 75.8%



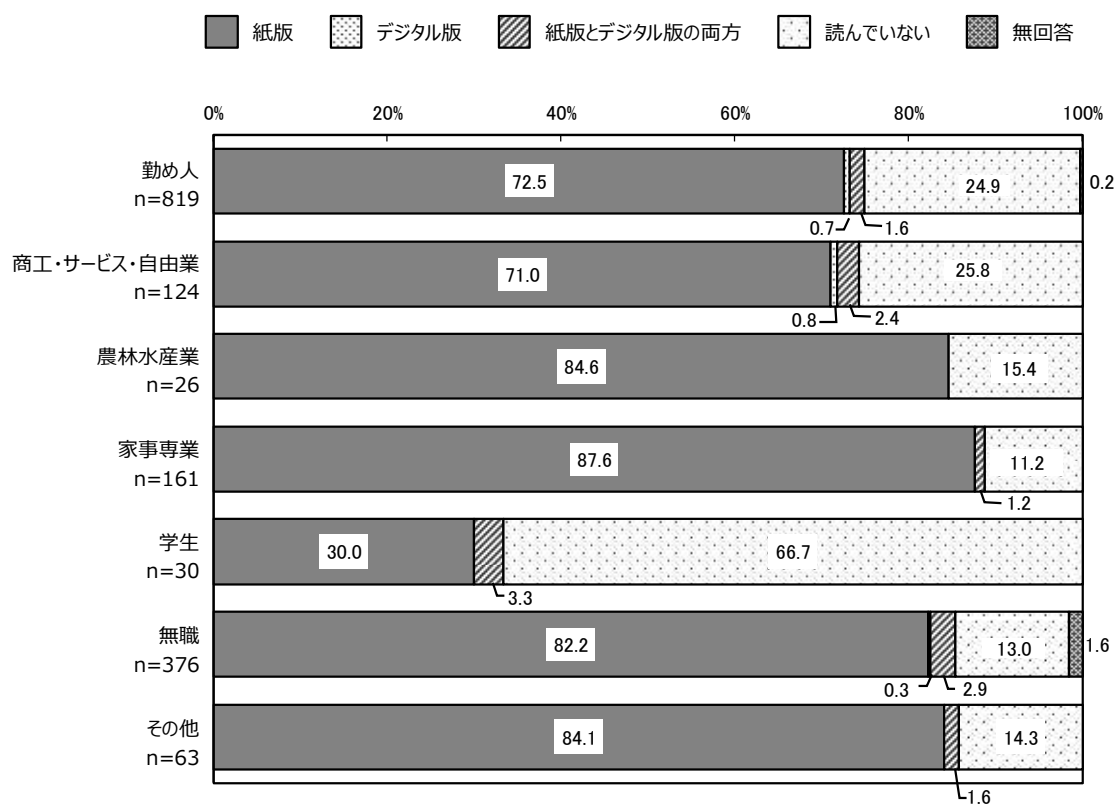
※「デジタル版」とは、広報はままつ専用アプリ・Web サイト「広報プラスはままつ」、「広報はままつ HTML 版」、「広報はままつ PDF 版」などインターネットを介して閲覧することができる広報はままつです。

- 「紙版」と「デジタル版」、「紙とデジタル版の両方」を合わせた広報はままつを『読んでいる』と回答した割合は 78.3% となり、「読んでいない」の 21.1% を 57.2 ポイント上回った。広報はままつを「紙版」で読んでいると答えたのが 75.8% と最も高く、次いで「読んでいない」が 21.1%、「紙版とデジタル版の両方」が 1.9% となった。
- 年代別でみると、年齢が上がるにつれて「読んでいない」の回答が低くなり、18 歳～29 歳では 62.5% であったが、70 歳以上で 9.3% となった。全世代で「デジタル版」と「紙版とデジタル版の両方」と回答した人は少なかった。職業別でみると、学生を除くすべての職業で「紙版」が最も高く、7 割を超えた。一方で学生は「読んでいない」が最も高く 66.7% となった。
- 職業別でみると、学生を除くすべての職業で「紙版」が最も高く、7 割を超えた。一方で学生は「読んでいない」が最も高く 66.7% となった。

【年代別】

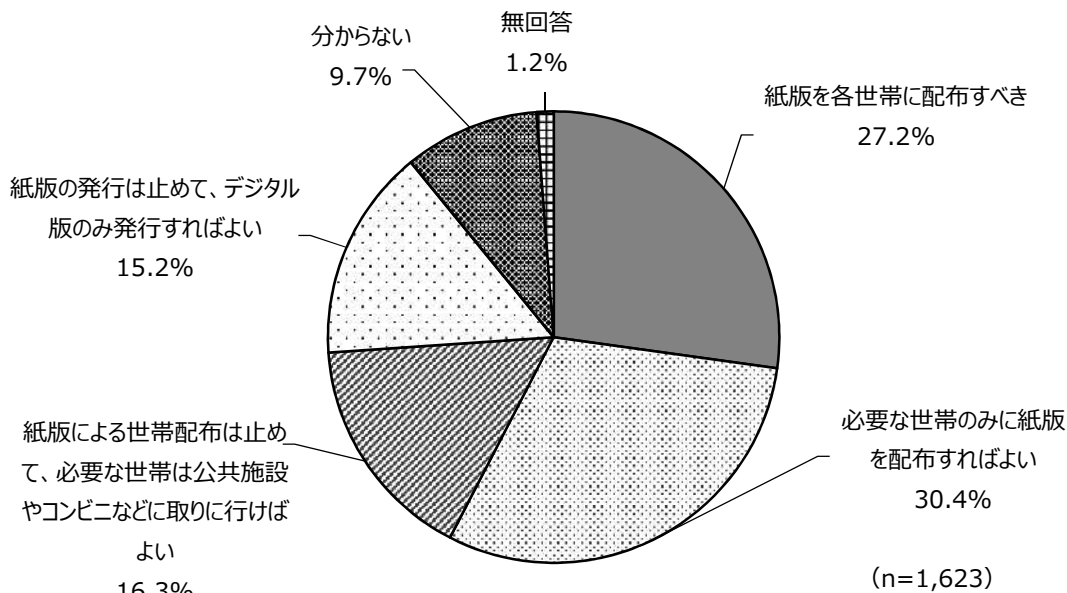


【職業別】



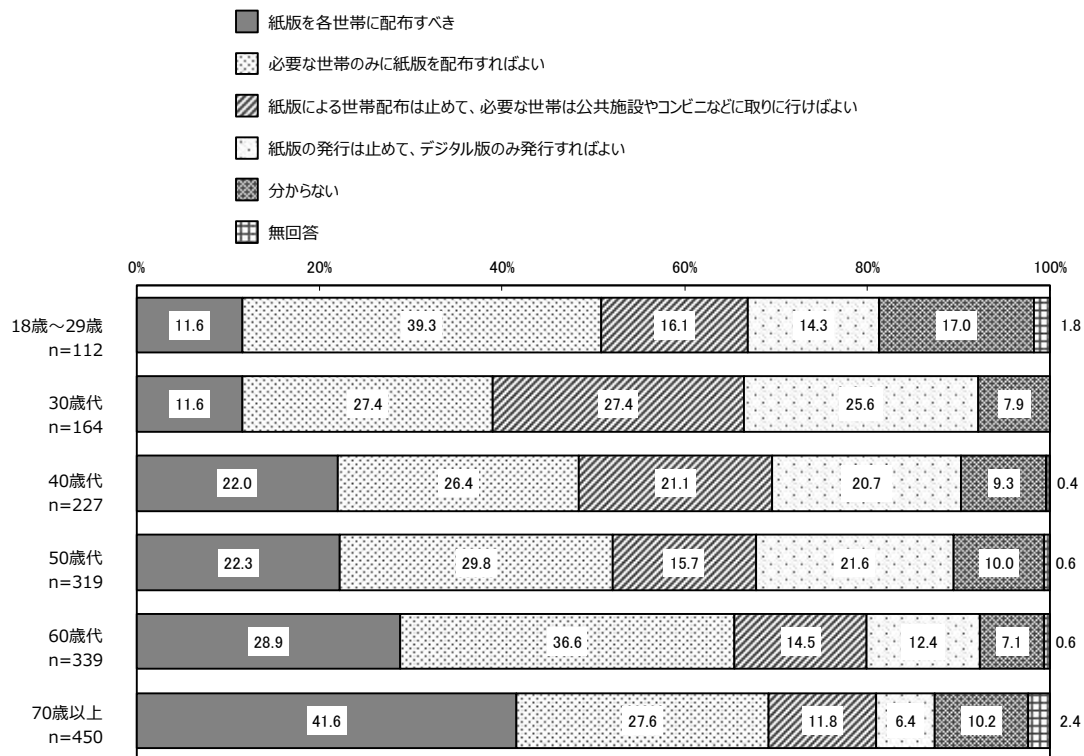
問 39 あなたは、広報はままつの配布を今後どうすべきだと思いますか。
(1つだけ○を付けてください)

「必要な世帯のみに紙版を配布すればよい」が 30.4%

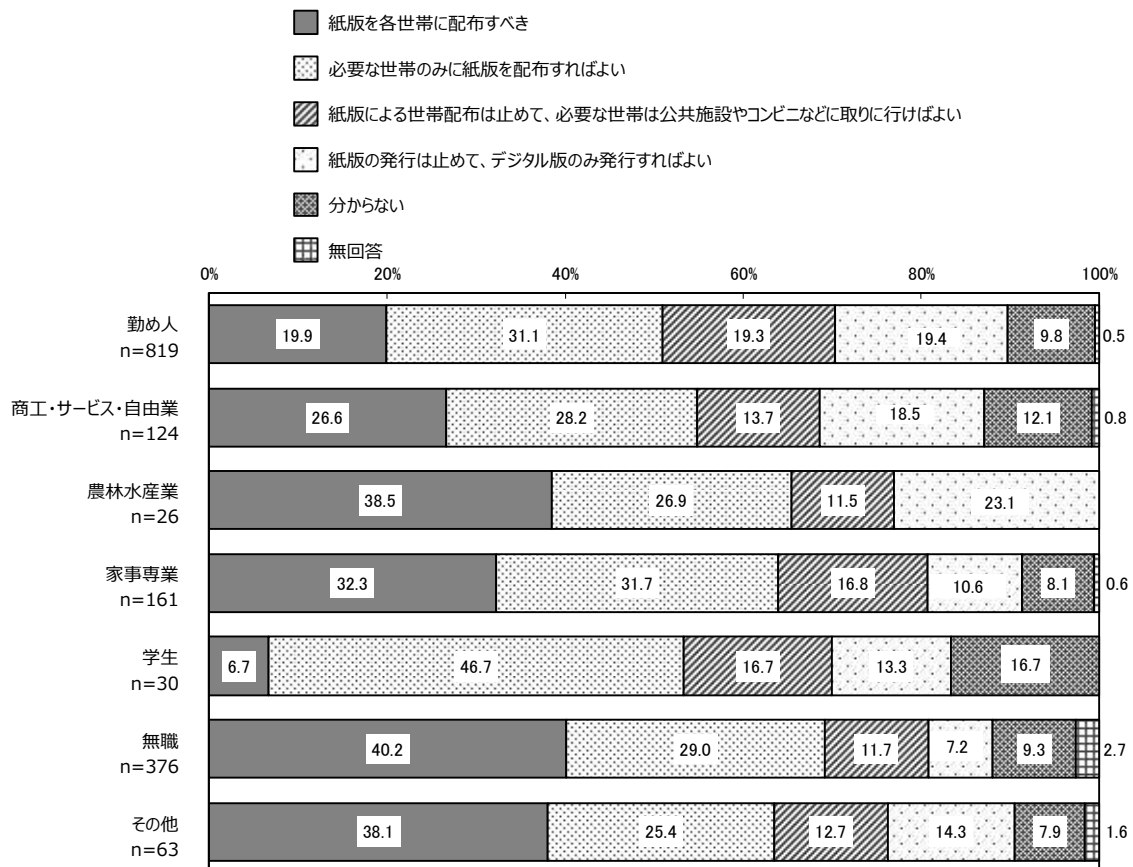


- 広報はままつを「必要な世帯にのみ紙版で配布すればよい」と答えたのは 30.4%と最も高く、次いで、「紙版を各世帯に配布すべき」が 27.2%、「紙版による世帯配布は止めて、必要な世帯は公共施設やコンビニなどに取りに行けばよい」が 16.3%となった。
- 年代別では、70 歳以上を除く他の世代全てで「必要な世帯のみに紙版を配布すればよい」の回答が最も多くなった。「紙版の発行は止めて、デジタル版のみ発行すればよい」は 30 歳代で 25.6%と最も高く、最も低い 70 歳以上の 6.4%と 19.2 ポイントの差がみられた。
- 職業別では、「紙版を各世帯に配布すべき」が無職で 40.2%と最も高く、最も低い学生は 6.7%と 33.5 ポイントの差がみられた。「必要な世帯のみに紙版を配布すればよい」の回答が「紙版を各世帯に配布すべき」を上回ったのは勤め人、商工・サービス・自由業、学生で、その中でも学生が最も高く、46.7%となった。

【年代別】



【職業別】

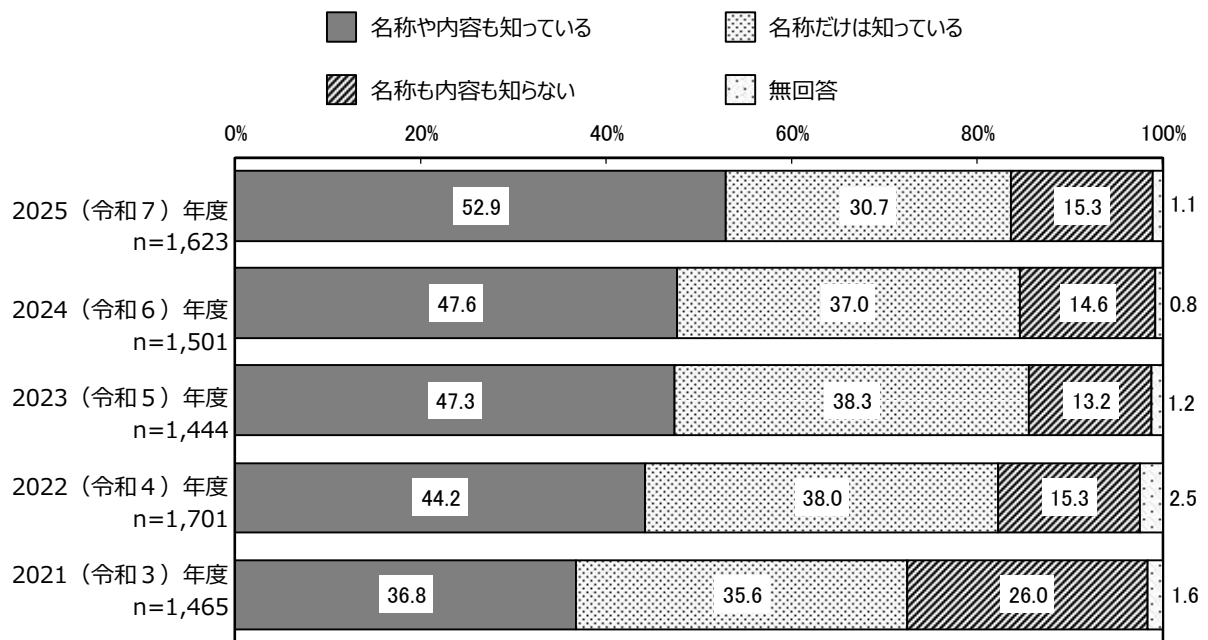


16 SDGsについて

問 40 あなたは、「SDGs※」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

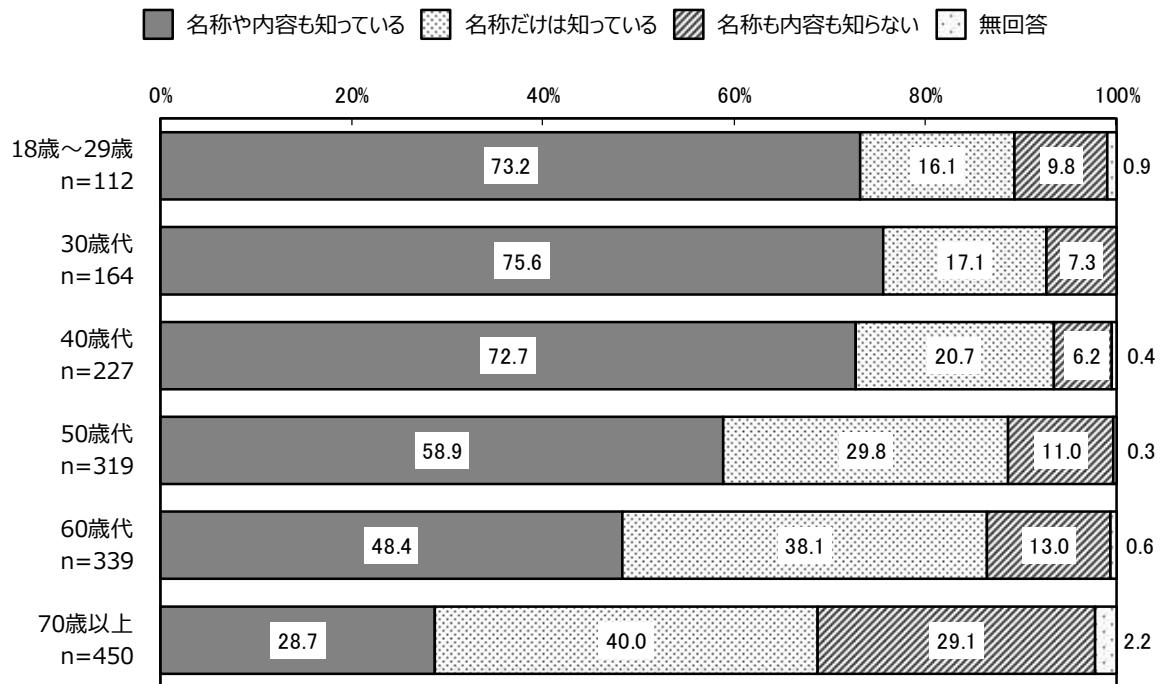
※「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals」の略で、2015（平成 27）年に開催された国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」のことで、2030（令和 12）年までに達成すべき 17 の国際社会共通の目標です。

「SDGs」を『知っている』人は 83.6%

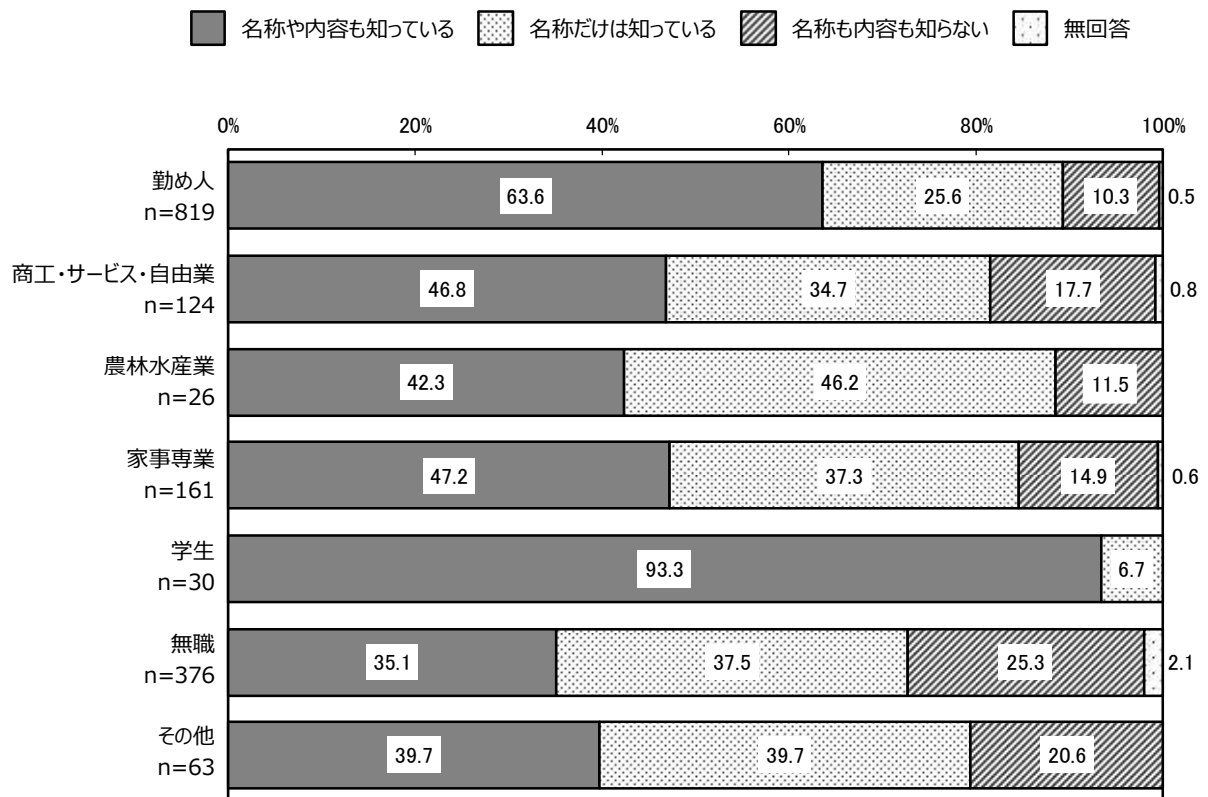


- 「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 83.6% となり、「名称も内容も知らない」の 15.3% を 68.3 ポイント上回った。2024 年（令和 6）年度との比較では、『知っている』が 1.0 ポイント下回ったが、「名称や内容も知っている」は 5.3 ポイント上回った。
- 年齢別でみると、「名称や内容も知っている」と回答した割合は 30 歳代の 75.6% が最も高く、次いで 18 歳～29 歳の 73.2% となった。「名称や内容も知らない」と回答した割合は 70 歳以上の 29.1% が最も高く、最も低いのは 40 歳代の 6.2% となった。
- 職業別でみると、「名称や内容も知っている」と回答した割合は学生の 93.3% が最も高く、無職の 35.1% と 58.2 ポイントの差がみられた。また、学生の「名称や内容も知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた『知っている』は 100.0% となった。

【年代別】



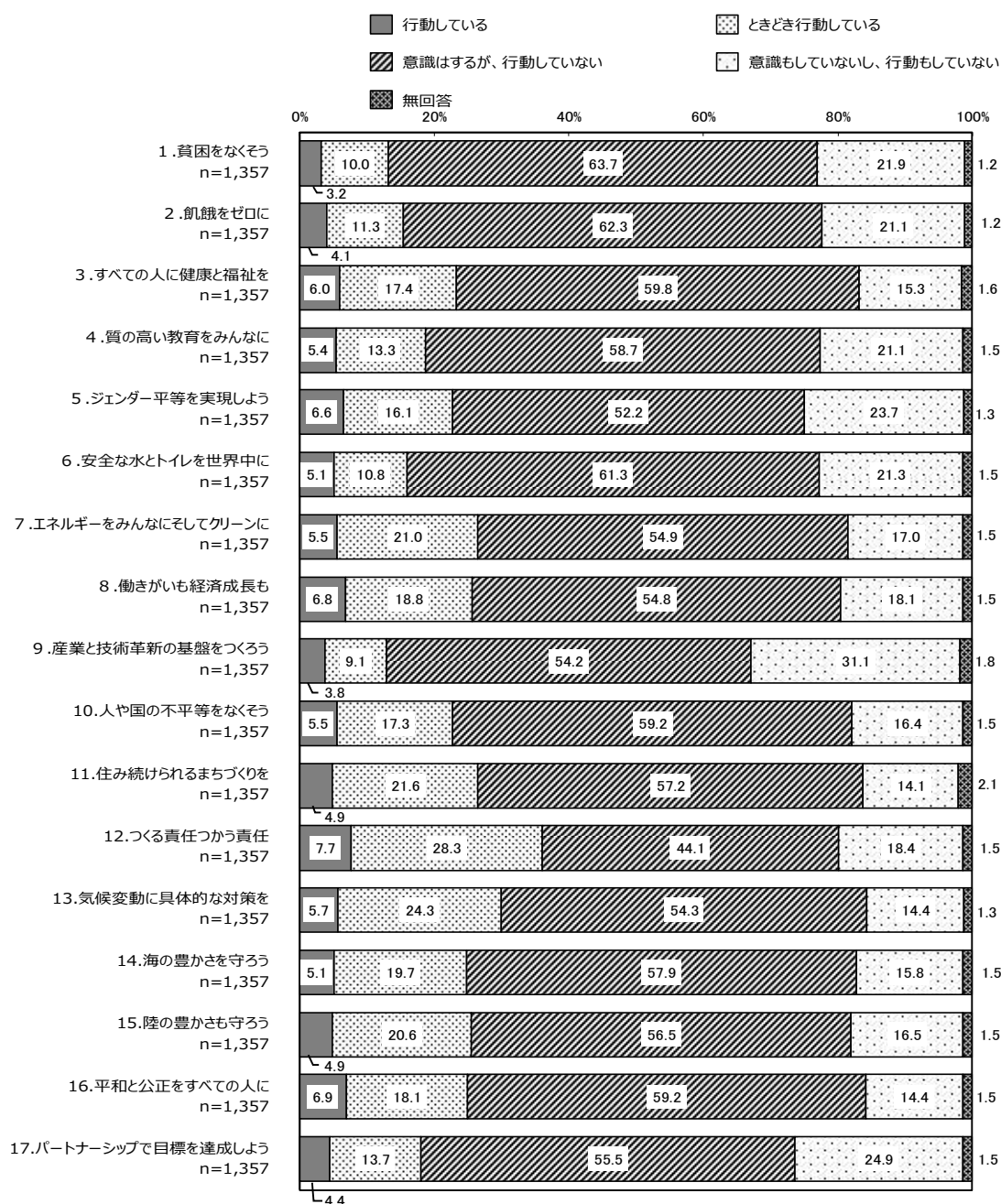
【職業別】



問 41 あなたは、普段の生活の中で次にあげるSDG s の 17 ゴールで意識して行動に移していることはありますか。SDG s の 17 のゴールごとに、1～4のうちから1つずつ選び○を付けてください。

(問 40 で「名称や内容を知っている」または「名称だけは知っている」と回答された方)

「つくる責任つかう責任」を意識して『行動している』人は 36.0%



- 「行動している」と「ときどき行動している」を合わせた『行動している』と回答した割合は「12. つくる責任つかう責任」が 36.0%と最も高く、次いで「13. 気候変動に具体的な対策を」が 30.0%、「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と「11. 住み続けられるまちづくりを」が 26.5%となった。

付録 調査票

【調査票】令和7年度 市民アンケート調査（第52回）

～ 市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」の実現に向けて～

本アンケートの各設問に、総合計画基本計画における分野別計画を表記しています。

※浜松市の総合計画について詳しくお知りになりたい方は、浜松市公式HP内の浜松市総合計画のページをご覧ください。こちらの2次元コードからもご覧いただけます。



浜松市総合計画

分野別計画：産業経済

《FSC®森林認証について》

浜松市では、FSC®森林認証に基づく持続可能かつ適切な森林経営と、天竜材・天竜材製品の流通・販路拡大に取り組んでおり、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）でも浜松市の「FSC®森林認証」の森林から生産された天竜材が使用されています。



問1 あなたは「FSC®森林認証※」をご存じですか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称も内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※「FSC®森林認証」とは森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。

問2 あなたは、浜松市が「FSC®森林認証」の森林を市町村別で最も広い面積（約49,859ha※）を有していることをご存じですか。※2025（令和7）年4月1日現在

（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

分野別計画：こども・教育

《子育て情報について》

子育て家庭や子育て支援関係者などに対し、子育て支援に関する施策や制度をHP、SNS、情報誌等で発信することで、より利用しやすく、よりタイムリーに必要な情報を提供しています。

問3 あなたは「浜松市子育て情報サイトぴっぴ※」をご存じですか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らない | |

※「浜松市子育て情報サイトぴっぴ」とは、行政情報と民間情報をミックスし、子育ての情報をまとめて得ることができる官民融合Webサイトです。

問4 あなたは「はままつ子育てガイド※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らない | |

※「はままつ子育てガイド」とは、浜松の子育て関連情報を紹介する冊子です。

問5 あなたは、子育てに関する情報を入手しようとする場合、どのような方法が最も有効だと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. インターネットからの検索 | 2. SNSやメール登録のプッシュ型通知 |
| 3. 情報誌などの紙媒体 | |

分野別計画：安全・安心・快適

《みどりについて》

浜松市では、「花と緑のまち・浜松」の実現に向け、市民が花と緑の活動に参加しやすい環境の整備や人材育成等を通じ、市民活動の活性化や拡大に取り組んでいます。



問6 あなたは、次世代に残したいと思うみどり※がありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | | | |
|-----------------|-------------|----------------|------------|
| 1. 赤石山脈 | 2. 猪鼻湖 | 3. 遠州灘の海岸林 | 4. 旧東海道松並木 |
| 5. 県立森林公園 | 6. 佐鳴湖 | 7. 天竜川 | 8. 天竜美林 |
| 9. 富塚椎ノ木谷 | 10. 浜名湖 | 11. 浜名湖ガーデンパーク | 12. 浜松城公園 |
| 13. 姫街道松並木 | 14. フラワーパーク | 15. フルーツパーク | 16. 万葉の森公園 |
| 17. 都田川桜堤 | 18. 都田総合公園 | 19. 雄踏総合公園 | 20. 四ツ池公園 |
| 21. その他（具体的に：) | | | |
| 22. ない | | | |

※湖や川などの自然や、公園なども含みます。

問7 あなたは、市内の公園を利用しますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日利用する | 2. よく利用する（週1回以上） |
| 3. 利用する（月1回以上） | 4. たまに利用する（年1回以上） |
| 5. ほとんど利用しない（数年に1回程度） | 6. 全く利用しない |

問8 問7で「1. ほぼ毎日利用する」と回答された方にお聞きます。主にどのような目的で利用しますか。

(3つまで○を付けてください)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 軽い運動の場 | 2. 子供の遊び場 |
| 3. 休憩・散策などの場 | 4. 花や鳥など身近な動植物と親しむ場 |
| 5. 森林浴やピクニックなど自然を楽しむ場 | 6. 祭やイベントなど催しの場 |
| 7. 花壇づくりや清掃美化活動の場 | 8. 近所の方との交流の場 |
| 9. 通勤・通学時の経路地 | |
| 10. その他（具体的に：) | |

《みちづくりについて》

浜松市では、「浜松市のみちづくり計画」に基づき、市民の安全・安心・快適な生活基盤づくりを目指して、道路事業を推進しています。



浜松市のみちづくり計画

問9 あなたは、浜松市の道路状況について、どの程度満足していると感じていますか。1～5のうちから1つずつ選び「○」を付けてください。

浜松市の道路状況	選択肢				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
1. 浜松市の道路は災害に強いと感じますか ※災害時に車や徒歩で移動（避難、救助等）できるなど	1	2	3	4	5
2. 普段の道路の交通状況（車での移動のしやすさ）についてどのように感じますか	1	2	3	4	5
3. 自転車の走行しやすさについてどのように感じますか	1	2	3	4	5
4. 道路の維持管理についてどのように感じますか ※舗装の状況や修繕の対応状況など	1	2	3	4	5
5. 道路（歩道など）の歩きやすさについてどのように感じますか	1	2	3	4	5

《カーボンニュートラルについて》

浜松市では、政府が掲げる目標でもある2050（令和32）年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルの実現に向けて、市民や事業者の皆さまとともに地球温暖化対策の取り組みを進めています。

問10 あなたは、地球温暖化の影響を受けて、記録的な猛暑や豪雨が発生している近年の気候変動について、どのくらい心配をしていますか。

（1つだけ○を付けてください）

1. 非常に心配している 2. 心配している 3. 少しだけ心配している 4. 心配していない

問11 あなたは、地球上の温室効果ガスを減らすために、現在の生活スタイルを変えることについて、どう思いますか。

（1つだけ○を付けてください）

1. すでに変えている 2. すぐにでも変えたい 3. 少しずつ変えたい
4. 変えたくない 5. よくわからない

問 12 あなたは、家庭で行うことができる温室効果ガスを減らすための取り組み「愛称：デコ活※」のうち、どのようなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 断熱・省エネ住宅に住む | 2. LED・省エネ家電などを選ぶ |
| 3. 食品を食べきる、食材を無駄なく使う | 4. テレワークを実践する |
| 5. 高効率の給湯器、節水機器を選ぶ | 6. 次世代自動車を選ぶ |
| 7. 再生可能エネルギーを取り入れる | 8. サステナブルファッションを実践する |
| 9. ごみの減量、分別・再利用をする | 10. 地元産の旬の食材を選ぶ |
| 11. 公共交通や自転車を利用する | 12. はかり売りの利用など、必要な分だけ買う |
| 13. 配達日時の指定や置き配を活用する | 14. 特に実践していない |

※「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)、環境に良いエコ(Eco)と活動・生活を組み合わせた言葉です。

分野別計画：環境・暮らし

《消費生活について》

浜松市では、私たちの消費行動が、現在及び将来の社会・経済や環境に影響を及ぼすことを自覚して、公正かつ持続可能な社会となるよう積極的に関わる「消費者市民社会」の形成に取り組んでいます。



国際フェアトレード
認証ラベル

問 13 あなたは、「エシカル消費※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称も内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※「エシカル消費」とは、人や社会、地域、環境に配慮した買い物などの消費行動のことです。

問 14 あなたは、買い物をするときにエシカル消費を意識して製品やサービスを選んでいますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 常に意識している | 2. ときどき意識している | 3. 全く意識していない |
|-------------|---------------|--------------|

問 15 あなたは、「フェアトレード※」をご存じですか。また、フェアトレード商品を買ったことがありますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 名称または内容を知っており、フェアトレード商品を買ったことがある |
| 2. 名称または内容を知っているが、フェアトレード商品を買ったことがない |
| 3. 知らない |

※「フェアトレード」とは、開発途上国で作られた作物や製品を「適正な価格」で「継続的に取り引き」する「貿易のしくみ」により、立場の弱い小規模生産者や労働者の生活改善と自立を目指す取り組みです。

問 16 あなたは、浜松市が「フェアトレードタウン※」であることをご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

※「フェアトレードタウン」とは、市民団体や商店・企業・行政などが連携し、「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げていく自治体のことです。

《ユニバーサルデザイン・男女共同参画について》

浜松市では、誰もが安全、安心で快適に暮らすことができる「思いやりの心が結ぶ優しいまち」の実現を目指し、ユニバーサルデザインや男女共同参画社会の推進に取り組んでいます。



問 17 あなたは、「ユニバーサルデザイン※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称も内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※「ユニバーサルデザイン」とは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全、安心で快適な暮らしができるように「人づくり」や「ものづくり」、「環境づくり」を行っていかこうとする考え方のことです。

問 18 あなたは、浜松市のユニバーサルデザインによるまちづくりについてどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | | |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|

問 19 あなたは、浜松市の「男女共同参画社会※」の実現に向けた取り組みについてどのように感じていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | | |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|

※男女共同参画社会とは、男女がともに、対等の立場で、自らの意志によって社会のあらゆる分野に参画できる社会のことです。

問 20 男女共同参画に関わる意識の変化についてお聞きします。

あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | | |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 |
|-------|---------------|---------------|-------|

《人権について》

人権は「誰もが幸せに生きていく権利」で身近で大切なものです。浜松市では、お互いの人権が尊重された「多様性を認め合う差別のない社会の実現」に向けた取り組みを進めています。

問 21 あなたは、人権を尊重することは重要だと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に重要 | 2. どちらかといえば重要 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり重要ではない | 5. 重要ではない | 6. 分からない |

問 22 あなたは、浜松市は人権尊重の意識が生活に定着していると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|------------|---------------|--------------|
| 1. 思う | 2. どちらかといえば思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. 全く思わない | 6. 分からない |

問 23 あなたは、日常生活の中で、あなた自身またはあなたの周りの方（家族や友人、職場の同僚など）の人権が侵害されたと感じたことはありますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 分からない |
|-------|-------|----------|

分野別計画：健康・福祉

《骨髄移植推進補助金制度について》

浜松市では、骨髄等移植の推進を図るため、ドナー及びその者が勤務する事業所に対し助成金を交付し、ドナーの経済的負担の軽減とともに雇用主の協力を得やすい環境整備に向けた取り組みを進めています。



問 24 あなたは、「骨髄バンク制度※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 登録している（していた） | 2. 名称や内容も知っている |
| 3. 名称だけは知っている | 4. 名称や内容も知らない |

※「骨髄バンク制度」とは、白血病をはじめとする血液疾患のため骨髄移植等の造血幹細胞移植が必要な患者さんとそれを提供するドナーをつなぐ制度です。

問 25 あなたは、「ドナー休暇制度※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称や内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※「ドナー休暇制度」とは、骨髄等を提供するために必要な通院及び入院のための休暇を、ドナー自身の有給休暇ではなく特別休暇として認める制度です。

問 26 あなたは、浜松市がドナー及びドナーの勤務する事業所の両方に助成制度があることをご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 両方とも知っている | 2. ドナーへの助成制度のみ知っている |
| 3. 事業所への助成制度のみ知っている | 4. 聞いたことがある |
| 5. 知らない | |

分野別計画：健康・福祉

《「はままつ健幸クラブ」について》

浜松市では、市民が病気を未然に予防することにより、健康で幸せに暮らすことができ、産業など地域の発展を市民の健康が支える都市（ウエルネスシティ（予防・健幸都市））を実現するため、市民の健康増進と健康寿命の延伸、地域企業における健康経営の促進、ヘルスケア産業の創出などの取り組みを進めています。



はままつ
健幸クラブ

問 27 あなたは、浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ※」をご存じですか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 名称や内容を知っており、使用している | 2. 名称は聞いたことがある |
| 3. 名称や内容も知らない | |

※「はままつ健幸クラブ」とは、浜松市では「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」の実現を目指す中、2022（令和4）年10月から運用を開始したスマートフォンアプリです。毎日の歩数計測のほか、指定する健康イベントへの参加などでポイントがたまり、抽選で浜松市の特産品などが当たります。

問 28 あなたは、浜松市が実現を目指している都市像「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」をご存じですか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称は聞いたことがある | 3. 名称や内容も知らない |
|----------------|----------------|---------------|

分野別計画：文化・スポーツ

《スポーツの推進について》

浜松市では、浜松市スポーツ推進ビジョンに基づき、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の連鎖を生む政策の推進や、スポーツの基盤を支える施設の整備運営に取り組んでいます。



問 29 あなたは、過去1年間でスポーツ（運動）※をどの程度行いましたか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週3回以上 | 3. 週1回以上 |
| 4. 月に1～2回程度 | 5. 年に数回程度 | 6. スポーツ（運動）はしていない |

※身体を動かすことを目的としたもの（ウォーキングや階段上り下りなど）から本格的な競技スポーツまで、あらゆる運動を含みます。

問 30 あなたは、過去1年間で実際に会場に出向いたスポーツ観戦・応援（プロスポーツだけでなく、地域のスポーツ活動や少年団などのスポーツ観戦・応援も含む）をどの程度行いましたか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | | |
|-----------|-----------|--------------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 月に数回程度 | 3. 月に1回程度 |
| 4. 年に数回程度 | 5. 年に1回程度 | 6. スポーツ観戦・応援はしていない |

問 31 あなたは、過去1年間にスポーツ活動の支援（スポーツイベントや各種競技の大会におけるボランティア活動のほか、スポーツ少年団や小・中学校、高校、大学の部活動、総合型地域スポーツクラブ、地域のスポーツ活動などのお手伝いや運営、指導など、あらゆるスポーツ活動の支援を含む）をどの程度行いましたか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. ほぼ毎日、支援活動を行った | 2. 月に数回のペースで支援活動を行った |
| 3. 年に1回は支援活動を行った | 4. 全く支援活動を行わなかった |

分野別計画：地方自治

《多文化共生・国際交流連携について》

浜松市では、3万人を超える外国人市民の文化的多様性を生かした多文化共生のまちづくりを推進するとともに、国際機関への参画や海外諸都市との交流連携による世界とのつながりを通じた都市ブランドの向上に取り組んでいます。

問 32 あなたは、浜松市が取り組んでいる外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりについてどのように感じていますか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | | | | |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|

問 33 あなたは、浜松市が行っている国際施策展開のうち、最も力を入れるべきものはどれだと考えますか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 「産業都市」としての存在力の活用 | 2. 「音楽都市」としてのプレゼンス向上 |
| 3. 「多文化共生都市」の創造 | 4. 都市の魅力発信と国際貢献 |
| 5. 企業のグローバル展開支援 | 6. インバウンド・MICE※誘致の推進 |
| 7. スポーツを通じた活力創出 | 8. 海外の企業や多様な外国人材の受入れと定着促進 |

※「MICE」とは、企業等の会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議（Convention）、展示会（Exhibition/Event）の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称です。

問 34 あなたは、浜松市が取り組んでいる世界の人々との活発な市民交流について、どのように感じていますか。

（1つだけ○を付けてください）

- | | | | | |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 |
|-------|---------------|------------|---------------|-------|

分野別計画：地方自治

《デジタルを活用したまちづくりについて》

浜松市では、全ての市民が安全・安心で幸せに暮らし続けることができる持続可能な都市を築くため、デジタルを活用したまちづくりを推進しています。



問 35 あなたは、浜松市が 2022（令和 4）年 7 月に「デジタルを活用したまちづくり推進条例」を策定するなど、「デジタルを活用したまちづくり」に取り組んでいることをご存じですか。
（1 つだけ○を付けてください）

1. 取り組みを実施していることや、その取り組み内容もある程度は知っている
2. 取り組みを実施していることは聞いたことがあるが、取り組み内容まではよく分からない
3. 知らない

問 36 あなたは、「デジタルを活用したまちづくり」について、どのような分野での取り組みに期待しますか。

（あてはまるものすべてに○を付けてください）

1. 健康・医療・福祉（オンライン診療・医療データの活用など）
2. 防災・安全（センサーを活用した高齢者の見守りなど）
3. 教育・子育て（オンラインでの子育て相談など）
4. 交通（自動運転・ドローン配送など）
5. 観光・商業（人流データを活用した観光施策など）
6. エネルギー・環境・ごみ（利用データを活用したエネルギーの効率的な運用など）
7. 農林業（ドローンによる農薬散布など）
8. 産業（データや AI を活用した工場の生産性向上など）
9. 文化・スポーツ・生涯学習（スマートフォンの講習など）
10. 労働（テレワークの促進など）
11. 移住・定住（オンラインでの移住相談など）
12. 市役所の各種手続き（行政手続きのオンライン化など）
13. その他（具体的に： _____）

分野別計画：地方自治

《市制記念日について》

浜松市では市制施行を記念して、7 月 1 日を市制記念日として定めています。

問 37 あなたは、浜松市の市制記念日が 7 月 1 日であることをご存じですか。

（1 つだけ○を付けてください）

1. 知っている
2. 知らない



分野別計画：地方自治

《広報はままつについて》

浜松市では、広報はままつを毎月5日に発行しています。広報はままつは、紙版とデジタル版を発行しています。



広報はままつ

問 38 あなたは、広報はままつを何で読んでいますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 紙版 | 2. デジタル版※ |
| 3. 紙版とデジタル版の両方 | 4. 読んでいない |

※「デジタル版」とは、広報はままつ専用アプリ・Web サイト「広報プラスはままつ」、「広報はままつ HTML 版」、「広報はままつ PDF 版」などインターネットを介して閲覧することができる広報はままつです。

問 39 あなたは、広報はままつの配布を今後どうすべきだと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- | |
|---------------------------------------------|
| 1. 紙版を各世帯に配布すべき |
| 2. 必要な世帯のみに紙版を配布すればよい |
| 3. 紙版による世帯配布は止めて、必要な世帯は公共施設やコンビニなどに取りに行けばよい |
| 4. 紙版の発行は止めて、デジタル版のみ発行すればよい |
| 5. 分からない |

分野別計画：地方自治

《SDGsについて》

浜松市は、2018年6月にSDGsの達成に向けて先進的な取り組みを行っている自治体として国より、「SDGs未来都市」に選ばれ、SDGsが目指す社会の実現を図っています。

問 40 あなたは、「SDGs※」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 名称や内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 名称も内容も知らない |
|----------------|---------------|---------------|

※「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals」の略で、2015（平成 27）年に開催された国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」のことで、2030（令和 12）年までに達成すべき 17 の国際社会共通の目標です。

問 41 あなたは、普段の生活の中で次にあげるSDG sの 17 ゴールで意識して行動に移していることはありますか。SDG sの 17 のゴールごとに、1～4のうちから1つずつ選び○を付けてください。

(問 40 で「1. 名称や内容も知っている」または「2. 名称だけは知っている」と回答された方)

SDG sのゴール	選択肢			
	行動している	たまたま行動している	意識はするが、行動していない	意識もしていないし、行動もしていない
 1. 貧困をなくそう	1	2	3	4
 2. 飢餓をゼロに	1	2	3	4
 3. すべての人に健康と福祉を	1	2	3	4
 4. 質の高い教育をみんなに	1	2	3	4
 5. ジェンダー平等を実現しよう	1	2	3	4
 6. 安全な水とトイレを世界中に	1	2	3	4
 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	1	2	3	4
 8. 働きがいも経済成長も	1	2	3	4
 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	1	2	3	4
 10. 人や国の不平等をなくそう	1	2	3	4
 11. 住み続けられるまちづくりを	1	2	3	4
 12. つくる責任つかう責任	1	2	3	4
 13. 気候変動に具体的な対策を	1	2	3	4
 14. 海の豊かさを守ろう	1	2	3	4
 15. 陸の豊かさも守ろう	1	2	3	4
 16. 平和と公正をすべての人に	1	2	3	4
 17. パートナリーシップで目標を達成しよう	1	2	3	4

最後にあなたのことについて記入してください。

(項目別に1つだけ○を付けてください)

性別	1. 女性	2. 男性	3. その他	4. 答えたくない
年齢	1. 10 歳代 4. 40 歳代 7. 65～69 歳	2. 20 歳代 5. 50 歳代 8. 70～74 歳	3. 30 歳代 6. 60～64 歳 9. 75 歳以上	
国籍・地域	1. 日本 4. フィリピン	2. ブラジル 5. その他 ()	3. ベトナム	
職業	1. 勤め人 3. 農林水産業 (自営・家族従事者) 4. 家事専業 6. 無職	2. 商工・サービス・自由業 (自営・家族従事者) 5. 学生 7. その他 ()		
居住年数	あなたは浜松市 (合併前の旧市町村当時からも含みます) に住んで何年になりますか 1. 3 年未満 2. 3 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上			
家族数	あなたを含めて何人で住んでいますか 1. 1 人 2. 2 人 3. 3 人 4. 4 人 5. 5 人 6. 6 人以上			
居住形態	あなたのお住まいは 1. 持ち家 (一戸建て) 2. 持ち家 (集合住宅) 3. 借家 4. 賃貸アパート・賃貸マンション 5. 公営住宅 6. 社宅・寮 7. その他			
行政区	あなたがお住まいの行政区は 1. 中央区 2. 浜名区 3. 天竜区 行政区が分からない場合は、町名をご記入ください → ()			

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、8月18日(月)までにご投函ください。



令和7年度 市民アンケート調査 報告書

2025（令和7）年12月発行

発 行	浜松市 市長公室 広聴広報課
住 所	〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
電 話	053-457-2023
F A X	053-457-2028
U R L	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp